



Document Solutions

> PRINT

ECOSYS P6230cdn

使用説明書



使用説明書 メニュー

本説明書は、次の章で構成されています。下記のボタンを選択すると該当する章のトップページにジャンプします。
章のトップページには目次がありますので、目的の項目を選択して参照してください。

▶ 目次

▶ 索引

▶ 1 正しくお使いいただくために

▶ 6 さまざまな機能を使う

▶ 2 設置と機械のセットアップ

▶ 7 システムメニュー

▶ 3 本機を使用する前に

▶ 8 ユーザー認証、集計管理（ユーザー管理、部門管理）

▶ 4 パソコンからの印刷

▶ 9 こんなときには

▶ 5 本体側の操作

▶ 10 付録

はじめに

本製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、およびかんたんなトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

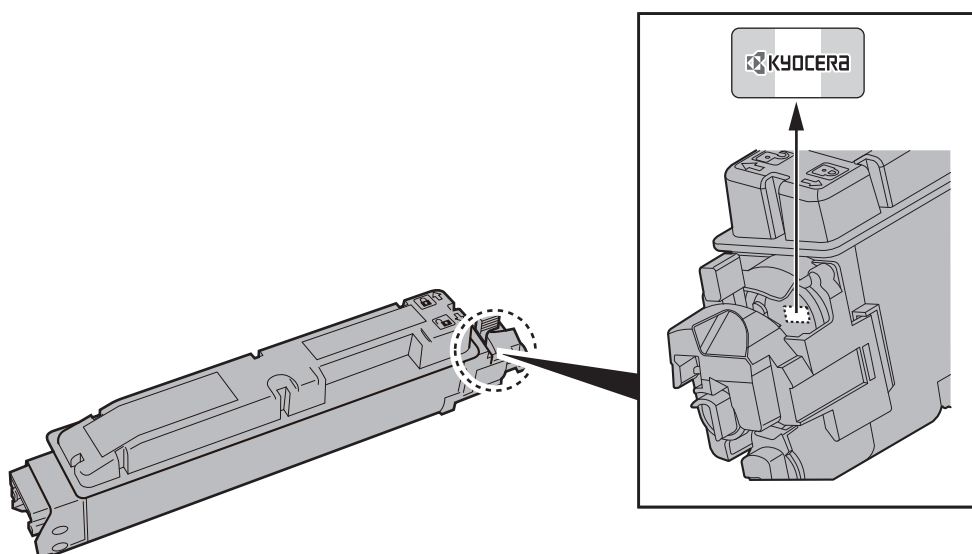
ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

品質維持のため、トナーコンテナは数々の品質検査に合格した弊社純正品の使用をお勧めします。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

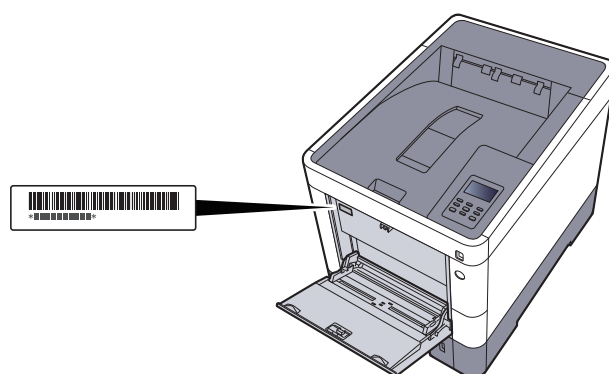
純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

弊社交換用純正トナーコンテナには、以下のホログラムシールが貼り付いています。



シリアル番号の記載位置について

本体のシリアル番号は、図の位置に記載しています。



本機のシリアル番号はお問い合わせの際に必要な場合があります。お問い合わせの際は、シリアル番号の確認を行ってからご連絡をお願いいたします。

目次

はじめに	i
目次	ii
本機の特長	vi
付属マニュアルの紹介	viii
使用説明書（本書）について	ix
本書の構成について	ix
本書の読みかた	x
オプションの表記について	xii
メニューマップ	xiii

1 正しくお使いいただくために 1-1

注意事項	1-2
本書中の注意表示について	1-2
設置環境について	1-3
取り扱い上のご注意	1-4
法律上のご注意	1-5
本製品の省エネ制御機能について	1-9
自動両面機能について	1-9
印刷用紙	1-9
電力管理	1-9
国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム	1-9
無線LAN使用時のご注意	1-10
電波の種類と干渉距離	1-10
無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意	1-10
本製品の使用限定	1-11

2 設置と機械のセットアップ 2-1

各部の名称	2-2
本体外観	2-2
コネクター・内部	2-3
オプション装着時	2-5
本機とその他デバイスを接続する	2-6
ケーブルの接続	2-7
ネットワークケーブルの接続	2-7
USBケーブルの接続	2-8
電源コードの接続	2-8
電源の入/切	2-9
電源を入れる	2-9
電源を切る	2-9
操作パネルの使いかた	2-10
操作パネルキー	2-10
操作方法	2-11
メニューの選択	2-12
メニューの設定	2-12
メニュー操作の中断	2-12
ヘルプ画面の使いかた	2-12
ログイン・ログアウト	2-13
ログイン	2-13
ログアウト	2-13
機械の初期設定について	2-14
日付と時刻の設定	2-14

ネットワークを設定する	2-16
有線でネットワークを設定する	2-16
ワイヤレスネットワークを設定する	2-18
Wi-Fiダイレクトを設定する	2-23
省エネ機能について	2-26
スリープとオートスリープ	2-26
ソフトウェアをインストールする	2-28
収録ソフトウェア (Windows)	2-28
Windowsにソフトウェアをインストールする	2-29
ソフトウェアをアンインストールする	2-35
Macintoshにインストールする	2-36
カウンターの確認	2-38
管理者に準備していただきたいこと	2-39
セキュリティを強化するには	2-39
Command Center RXとは	2-40
Command Center RX へアクセスする	2-41
セキュリティ設定を変更する	2-42
デバイス情報を変更する	2-44
メール設定	2-46
ユーザーボックスを作成する	2-50
ユーザーボックスに保存されている文書を印刷する	2-51

3 本機を使用する前に 3-1

用紙のセット	3-2
用紙の取り扱い上の注意	3-3
カセットにセットする	3-4
手差しトレイにセットする	3-7
用紙サイズと用紙種類の設定	3-10
排紙ストッパー	3-13

4 パソコンからの印刷 4-1

パソコンから印刷する	4-2
不定形サイズの用紙に印刷する	4-4
プリンタードライバの印刷設定画面について	4-5
プリンタードライバのヘルプの見かた	4-6
プリンタードライバの初期設定値を変更する (Windows 8.1の場合)	4-6
パソコンで印刷を中止する	4-6
AirPrintで印刷	4-7
Google Cloud Printで印刷	4-7
Mopriaで印刷	4-7
Wi-Fiダイレクトで印刷	4-7
本体に保存したデータを印刷する	4-8
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する	4-8
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する	4-9
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する	4-11
クイックコピーボックスからジョブを印刷する	4-13
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する	4-15
ジョブボックス設定	4-17
ステータスマニター	4-18
ステータスマニターの起動	4-18
ステータスマニターの終了	4-18
ステータスマニターの表示	4-18

5	本体側の操作	5-1
	ジョブのキャンセル	5-2
	文書ボックスとは	5-3
	ユーザーボックスの使いかた	5-5
	ボックスを作成する(新規作成)	5-5
	ボックスの変更と削除	5-5
	文書を保存する(文書保存)	5-5
	文書を印刷する(印刷)	5-6
	文書を編集する	5-6
	文書を削除する	5-7
	リストを印刷する	5-8
	USBメモリーからの印刷	5-9
	USBメモリーの取り外しかた	5-11
6	さまざまな機能を使う	6-1
	本機に用意されている機能	6-2
	各機能について	6-3
	静音モード	6-3
	印刷後削除	6-3
7	システムメニュー	7-1
	本機の初期設定(システムメニュー)	7-2
	操作方法	7-2
	メニューの項目	7-3
	レポート印刷	7-4
	用紙の設定	7-6
	印刷設定	7-9
	Wi-Fiダイレクト設定	7-12
	Wi-Fi設定	7-12
	有線ネットワーク	7-14
	ネットワーク設定	7-15
	オプションネットワーク	7-19
	デバイス全般	7-20
	時間	7-24
	セキュリティ	7-25
	ユーザー/部門管理	7-27
	管理者	7-27
	調整/メンテナンス	7-28
	オプション機能	7-28
	ソフトウェア	7-28
	有線状況	7-28
	オプションネットワークステータス	7-29
	Wi-Fi状況	7-29
	Wi-Fiダイレクト	7-30
8	ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理)	8-1
	ユーザー管理について	8-2
	ユーザー管理を有効にする	8-3
	キーログイン	8-4
	ユーザー管理の使いかた	8-5
	ログイン/ログアウト	8-5

部門管理について	8-6
部門管理を有効にする	8-7
部門管理方式	8-8
部門管理の設定	8-9
部門の新規登録	8-9
使用制限	8-10
部門の編集	8-12
部門の削除	8-13
印刷の部門管理	8-14
部門管理の運用	8-16
制限超過時設定	8-16
使用枚数の集計	8-17
部門管理リストの印刷	8-18
部門管理の使いかた	8-19
ログイン/ログアウト	8-19
ID不明ジョブ処理	8-20
管理者の設定	8-21

9 こんなときには 9-1

日常のお手入れ	9-2
清掃	9-2
トナーコンテナの交換	9-3
廃棄トナーボックスの交換	9-7
こまったときは	9-9
一般的な問題について	9-9
こんな表示がでたら	9-13
調整/メンテナンスメニューについて	9-21
紙づまりが発生したら	9-26

10 付録 10-1

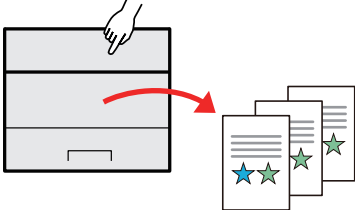
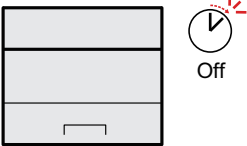
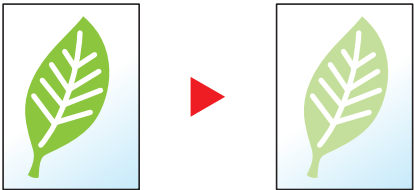
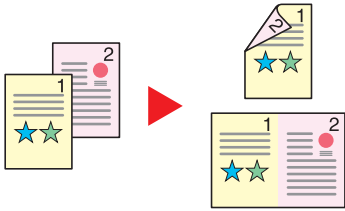
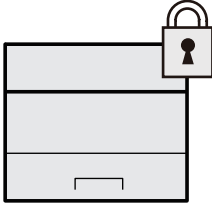
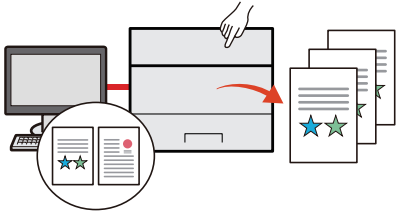
オプションについて	10-2
オプション構成	10-2
オプションのアプリケーションについて	10-6
用紙について	10-9
用紙の基本仕様	10-9
適正な用紙の選択	10-10
特殊な用紙	10-13
仕様	10-18
本体	10-18
プリンター機能	10-20
ペーパーフィーダー (500枚×1)	10-20
環境設定コマンド	10-21
環境設定コマンドの設定	10-21
FRPOパラメーター	10-21
補修用性能部品について	10-28
廃棄について	10-28
使用済み製品の廃棄	10-28
初期化について	10-28
トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄	10-28
用語集	10-29
索引	索引-1

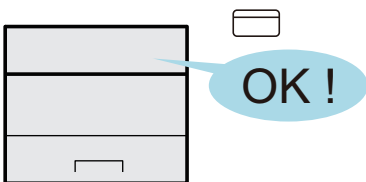
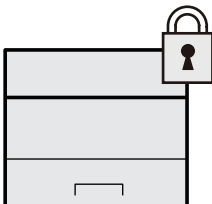
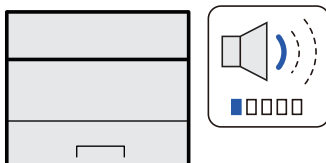
本機の特長

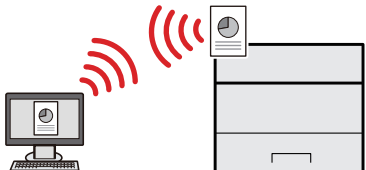
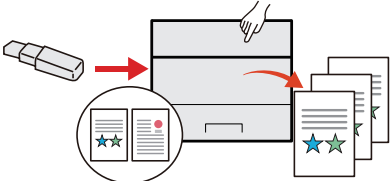
本機はさまざまなべんりな機能を搭載しています。

➡ [さまざまな機能を使う \(6-1ページ\)](#)

ここでは一例を紹介します。

効率よく作業したい	経費を節約したい	
よく使う文書を本機に保存する (ユーザーボックス)  よく使う文書を本機に保存し、必要なときに操作パネルから印刷します。 ➡ ユーザーボックスの使いかた (5-5ページ)	使いかたに合わせて節電する (省エネ機能)  本機はスリープ状態になる省エネ機能を備えています。 ➡ 省エネ機能について (2-26ページ)	トナーの消費をおさえて印刷する (エコプリント)  トナーを節約したいときに便利です。 試し印刷や社内での確認用資料など、内容が確認できればいい程度の資料を作成するときに使用すると、トナーを節約できます。 高品質な印刷が必要でないときに利用できます。 ➡ エコプリントモード (7-10ページ)
経費を節約したい	セキュリティを強化したい	
用紙を節約して印刷する (用紙節約印刷)  用紙の両面に印刷したり、2枚以上の複数枚の原稿を1枚の用紙にまとめて印刷したりすることができます。	SSD内のデータを守る (暗号化/上書き消去)  SSD内に残った不要なデータを自動的に上書き消去します。 データを暗号化してSSDに書き込み、外部への流出を防ぎます。 ➡ データセキュリティ (7-27ページ)	印刷した原稿の持ち去りを防ぐ (プライベートプリント)  プリンターから印刷するデータを一時的に本体のボックスに保存し、本体側で印刷を実行することで、印刷した用紙の持ち去りを防ぐことができます。 ➡ プライベートプリントボックスからジョブを印刷する (4-9ページ)

セキュリティを強化したい	セキュリティを強化する (管理者向け各種設定)	もっと使いこなしたい
ICカードでログインする (ICカード認証)  管理者IDやパスワードを入力することなく、ICカードをタッチするだけでログインできます。 ➡ ICカード認証キット(B) <ICカード認証キット> (10-3ページ)	セキュリティを強化する (管理者向け各種設定)  本機では、セキュリティを強化するために、管理者が設定できる機能をいろいろ用意しています。 ➡ セキュリティを強化するには (2-39ページ)	静かに使用する (静音モード)  本機の動作音を抑えて静かに使用することができます。ジョブごとに設定することができます。 ➡ 静音モード (6-3ページ)

もっと使いこなしたい	もっと使いこなしたい	もっと使いこなしたい
ネットワーク配線を気にせずに設置したい(ワイヤレスネットワーク)  無線LAN環境があれば、ネットワーク配線を気にせずに本機を設置することができます。また、Wi-Fi Directにも対応しています。 ➡ ワイヤレスネットワークを設定する (2-18ページ) Wi-Fiダイレクトを設定する (2-23ページ)	USBメモリーを使う (USBメモリー)  外出先で文書を印刷したり、パソコンが使えないときなどに便利です。USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されている文書を印刷します。 ➡ USBメモリーからの印刷 (5-9ページ)	リモートで本機を操作する (Command Center RX)  パソコンからリモートで、本機にアクセスし、データの印刷、送信、ダウンロードなどの操作ができます。 管理者は、本機の動作設定や管理設定を効率的に行うことができます。 ➡ Command Center RXとは (2-40ページ)

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルが付属しています。必要に応じて参照してください。
マニュアルに記載されている内容は、機械性能改善のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

印刷物のマニュアル

本機をセットアップするには	 セットアップガイド 本機で印刷できるまでのセットアップ手順について説明しています。
早く使ってみたい	 クイックガイド 本機のかんたんな操作のしかたや、便利な使いかた、お手入れのしかた、トラブルでこまったときの対処方法などについて説明しています。
安全に使うためには	 セーフティーガイド 本機の設置環境や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。 セーフティーガイド (ECOSYS P6230cdn) 本機の設置スペース、注意ラベルなどについて説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

DVD (Product Library) 収録のマニュアル (PDF)

本機を使いこなすには	 使用説明書 (本書)*1 用紙の補給や基本的な操作、各種初期設定などについて説明しています。
ICカードを使うには	 ICカード認証キット (B) 使用説明書 ICカードで認証を行うための操作手順について説明しています。
セキュリティを強化したい	 Data Security Kit (E) 使用説明書 Data Security kit (E) の導入・運用手順とデータの上書き消去、暗号化について説明しています。
登録・設定をかんたんにしたい	 Command Center RX 操作手順書 パソコンから Web ブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。
パソコンから印刷したい	 プリンタードライバ操作手順書 プリンタードライバをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。
PDFを直接印刷したい	 KYOCERA Net Direct Print 操作手順書 Adobe Acrobat/Reader を起動せずに PDF ファイルを印刷できる機能について説明しています。
ネットワーク上の本機やプリンターの整理をしたい	 KYOCERA Net Viewer 操作手順書 KYOCERA Net Viewer で、ネットワーク上のプリントシステム (本機) を監視する方法について説明しています。
プリンタードライバを介さずに印刷したい	 プリスクライプコマンドリファレンスマニュアル ネイティブプリンター言語 (プリスクライプコマンド) について説明しています。 プリスクライプコマンドテクニカルリファレンス プリスクライプコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。
印刷位置を調整したい	 Maintenance Menu 操作手順書 Maintenance Menu から、印刷の設定を行う手順について説明しています。

*1 弊社のホームページからダウンロードすることができます。
(<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/manual/>)

DVD のマニュアルをご覧になるためには Adobe Reader の以下のバージョンをインストールする必要があります。

バージョン 8.0 以上

使用説明書(本書)について

本書の構成について

本説明書は、次の章で構成されています。

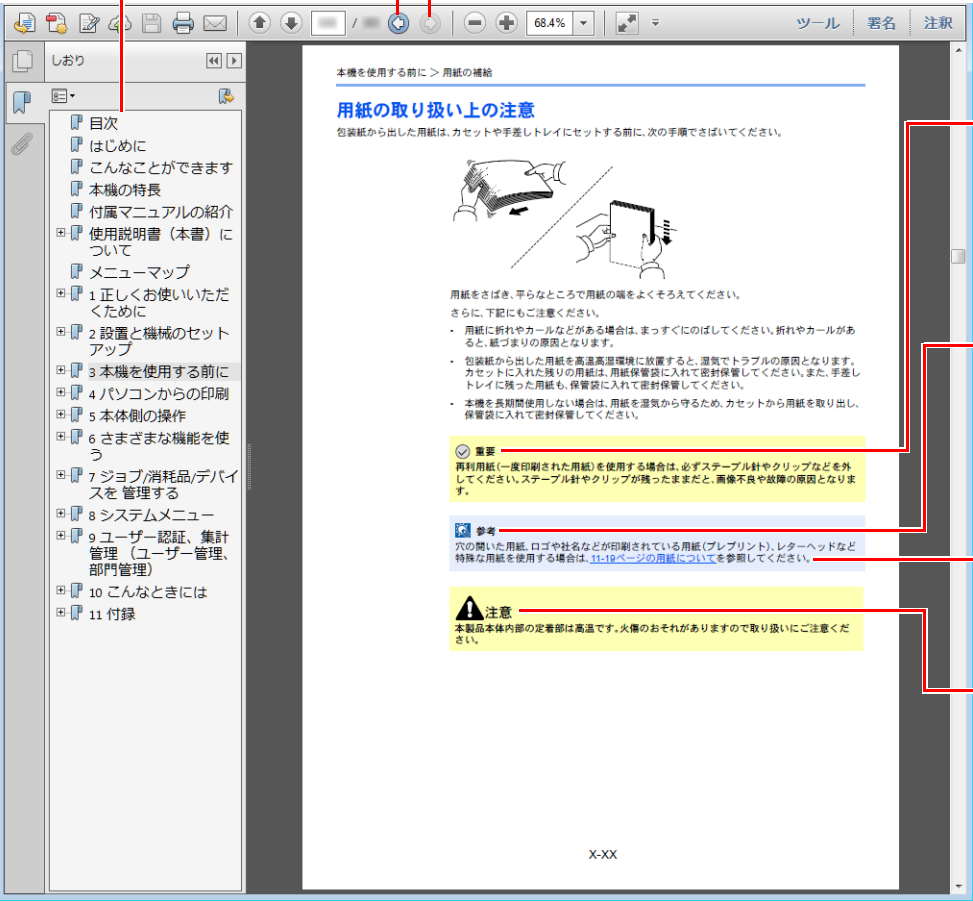
章		内容
1	正しくお使いいただくために	本機の使用に関する注意事項や商標について説明しています。
2	設置と機械のセットアップ	各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストール、ログイン・ログアウトなど、本機の管理者用の情報について説明しています。
3	本機を使用する前に	操作パネルの使いかた、用紙の補給など、ご使用前に必要な準備・設定について説明しています。
4	パソコンからの印刷	基本的な印刷方法を説明しています。
5	本体側の操作	文書ボックスの基本的な使いかたなどを説明しています。
6	さまざまな機能を使う	本機に用意されている便利な機能を説明しています。
7	システムメニュー	本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明しています。
8	ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理)	ユーザー管理、部門管理について説明しています。
9	こんなときには	トナーがなくなったときやエラーが表示されたとき、紙づまりなど、トラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。
10	付録	本製品で利用できる便利なオプション機器の紹介や、用紙についての説明や用語集を収録しています。また、本機の仕様などについても説明しています。

本書の読みかた

ここでは、Adobe Reader XIを例に説明しています。

しおり(目次)をクリックすると
該当ページにジャンプします。

クリックすると、現在の表示内容から、直前に表示していた内容に戻ります。ジャンプ先から元のページに戻るときに便利です。



重要

誤った操作によるトラブルを防ぐために、操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項を示しています。

参考

補足説明や操作の参考となる情報です。

参照

下線のついた文字をクリックすると、参照ページへジャンプします。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

参考

Adobe Readerの表示は、お使いの状況によって異なります。しおり(目次)やツールが表示されていない場合は、Adobe Readerのヘルプを参照してください。

本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明
[太字]	キーおよびボタンを示します。
「標準」	メッセージおよび設定項目を示します。

操作手順の表記について

本書中では、連続して操作する手順を、次のように>でつないで表記しています。

実際の手順	本書の表記
[メニュー]キーを選択する ▼ [▲]または[▼]キーを押して、[デバイス全般]を選択する ▼ [▶]キーを選択する	[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー

オプションの表記について

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明しています。

オプション品の正式な商品名称は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
PF-5100	ペーパーフィーダー(500枚×1)
Data Security Kit(E)	セキュリティーキット
IC カード認証キット(B)	IC カード認証キット
HD-6/HD-7	SSD
IB-50	ネットワークインターフェイスキット
IB-36/IB-51	ワイヤレスインターフェイスキット
UG-33	ThinPrint Option

メニューマップ

メッセージディスプレイに表示されるメニューの一覧です。お客様の設定状況によっては、表示されない場合があります。また、参照先のタイトルはメニューの名称と異なる場合があります。

☰ メニュー



レポート印刷	メニューマップの印刷 (7-4ページ)	
	設定情報リストの印刷 (7-4ページ)	
	ステータスページの印刷 (7-5ページ)	
	フォントサンプルの印刷 (7-5ページ)	
	RAMディスクファイルリストの印刷 (7-5ページ)	
	SSDファイルリストの印刷 (7-5ページ)	
	SDカードファイルリストの印刷 (7-5ページ)	
	セキュリティデータの完全消去レポートの印刷 (7-5ページ)	
USBメモリー	ファイルの印刷 (5-6ページ)	
	部数 (5-6ページ)	
	給紙元 (5-6ページ)	
	静音モード (7-28ページ)	
	デバイスの取り外し (5-11ページ)	
	ファイルリストの印刷 (5-10ページ)	
ユーザーボックス	ボックスの選択	すべての文書を印刷 (5-6ページ)
		(データの選択) (5-6ページ)
		すべての文書を削除 (5-7ページ)
		ファイルリストの印刷 (5-8ページ)
	ボックスリストの印刷 (5-8ページ)	
ジョブボックス	クイックコピージョブ (4-13ページ)	
	プライベート/ジョブ保留 (4-9ページ)	
	ジョブボックス詳細設定	クイックコピーの個数 (4-17ページ)
		削除 (4-17ページ)
		保存先 (4-17ページ)
カウンター (2-38ページ)		

用紙の設定	手差しトレイ用紙サイズ (7-6ページ)	
	手差しトレイ用紙種類 (7-6ページ)	
	カセット1用紙サイズ (7-6ページ)	
	カセット2用紙サイズ (7-6ページ)	
	カセット3用紙サイズ (7-6ページ)	
	カセット4用紙サイズ (7-6ページ)	
	カセット1用紙種類 (7-6ページ)	
	カセット2用紙種類 (7-6ページ)	
	カセット3用紙種類 (7-6ページ)	
	カセット4用紙種類 (7-6ページ)	
	種類の属性	用紙の重さ (7-8ページ)
		両面印刷の給紙 (7-8ページ)
	種類の属性のリセット (7-7ページ)	
	用紙セット時の確認 (7-7ページ)	
印刷設定	給紙元 (7-9ページ)	
	自動カセット切替 (7-9ページ)	
	手差しトレイ優先 (7-9ページ)	
	給紙指定動作 (7-9ページ)	
	両面印刷 (7-9ページ)	
	A4/LT 共通 (7-9ページ)	
	エミュレーション	
		エラーレポート (7-9ページ)
	カラーモード	
	印刷品質	KIRモード (7-10ページ)
		光沢モード (7-10ページ)
		エコプリントモード (7-10ページ)
		エコプリント節約レベル (7-10ページ)
		解像度 (7-10ページ)
	印刷環境	コピー枚数 (7-10ページ)
		縮小印刷 (7-10ページ)
		印刷の向き (7-10ページ)
		ワイドA4 (7-10ページ)
		XPS印刷範囲設定 (7-10ページ)
		TIFF/JPEGサイズ (7-10ページ)
	印刷範囲補正 (7-11ページ)	
	ユーザー名 (7-11ページ)	
	ジョブ名 (7-11ページ)	

Wi-Fiダイレクト設定	Wi-Fiダイレクト (7-12ページ)	
	自動切断設定	タイマー (日:時間:分) (7-12ページ)
Wi-Fi設定	Wi-Fi (7-12ページ)	
	簡単セットアップ (7-12ページ)	
	TCP/IP	DHCP (7-13ページ)
		Auto-IP (7-13ページ)
		IPアドレス (7-13ページ)
		サブネットマスク (7-13ページ)
		デフォルトゲートウェイ (7-13ページ)
	TCP/IP (IPv6)	RA (Stateless) (7-14ページ)
		DHCPv6 (7-14ページ)
	ネットワークの再起動 (7-14ページ)	
有線ネットワーク	TCP/IP	DHCP (7-13ページ)
		Auto-IP (7-13ページ)
		IPアドレス (7-13ページ)
		サブネットマスク (7-13ページ)
		デフォルトゲートウェイ (7-13ページ)
	TCP/IP (IPv6)	RA (Stateless) (7-14ページ)
		DHCPv6 (7-14ページ)
	LANインターフェイス (7-14ページ)	
	ネットワークの再起動 (7-14ページ)	
ネットワーク設定	通信 (7-15ページ)	
	SSLサーバー (7-15ページ)	
	IPSec (7-15ページ)	
	Bonjour (7-15ページ)	
	IPフィルター (IPv4) (7-15ページ)	
	IPフィルター (IPv6) (7-15ページ)	
	NetBEUI (7-15ページ)	
	SNMPv3 (7-15ページ)	
	FTP (Server) (7-15ページ)	
	SNMP (7-16ページ)	
	SMTP (7-16ページ)	
	POP3 (7-16ページ)	

ネットワーク設定	RAW Port (7-16ページ)	
	LPD (7-16ページ)	
	IPP (7-16ページ)	
	IPP over SSL (7-16ページ)	
	HTTP (7-16ページ)	
	HTTPS (7-17ページ)	
	ThinPrint (7-17ページ)	
	ThinPrint over SSL (7-17ページ)	
	WSD-PRINT (7-17ページ)	
	Enhanced WSD (7-17ページ)	
	REST (7-18ページ)	
	REST over SSL (7-18ページ)	
オプションネットワーク	TCP/IP	DHCP (7-13ページ)
		Auto-IP (7-13ページ)
		IPアドレス (7-13ページ)
		サブネットマスク (7-13ページ)
		デフォルトゲートウェイ (7-13ページ)
		Bonjour (7-15ページ)
	TCP/IP (IPv6)	RA (Stateless) (7-14ページ)
		DHCPv6 (7-14ページ)
	Netware (7-19ページ)	
	AppleTalk (7-19ページ)	
	IPSec (7-19ページ)	
	LANインターフェイス (7-19ページ)	
	MACアドレスフィルター (7-19ページ)	
	ネットワークの再起動 (7-19ページ)	

デバイス全般	表示言語 (7-20ページ)	
	日時設定	日時(年/月/日) (7-20ページ)
		時刻(時:分:秒) (7-20ページ)
		日付形式 (7-20ページ)
		時差 (7-20ページ)
		サマータイム (7-20ページ)
	ブザー	キー操作 (7-21ページ)
		印刷完了 (7-21ページ)
		準備完了 (7-21ページ)
		警告 (7-21ページ)
	RAMディスクモード	
		RAMディスクサイズ (7-21ページ)
	SSD	SSDフォーマット (7-21ページ)
	SDカード	SDカードフォーマット (7-22ページ)
	エラー処理	両面印刷処理 (7-22ページ)
		用紙ミスマッチエラー (7-22ページ)
		手差し紙なし表示 (7-22ページ)
	カラートナーなし時印刷 (7-22ページ)	
	スリープレベル設定	スリープレベル (7-23ページ)
		ICカードリーダ接続時 (7-23ページ)
		アプリケーション起動時 (7-23ページ)
	状況/履歴の表示	ジョブ状況の詳細 (7-23ページ)
		ジョブ履歴 (7-23ページ)
	トナー残量少の通知 (7-23ページ)	
時間	オートパネルリセット (7-24ページ)	
	パネルリセット時間 (7-24ページ)	
	スリープ時間 (7-24ページ)	
	オートエラークリア (7-24ページ)	
	エラークリア時間 (7-24ページ)	
	改ページ待ち時間 (7-24ページ)	

時間	週間予約設定	リトライ (7-24ページ)
		リトライ回数 (7-24ページ)
		リトライ間隔 (7-24ページ)
	電源オン時間(月曜日) (7-24ページ)	
	電源オフ時間(月曜日) (7-24ページ)	
	電源オン時間(火曜日) (7-24ページ)	
	電源オフ時間(火曜日) (7-24ページ)	
	電源オン時間(水曜日) (7-24ページ)	
	電源オフ時間(水曜日) (7-24ページ)	
	電源オン時間(木曜日) (7-24ページ)	
	電源オフ時間(木曜日) (7-24ページ)	
	電源オン時間(金曜日) (7-24ページ)	
	電源オフ時間(金曜日) (7-24ページ)	
	電源オン時間(土曜日) (7-24ページ)	
	電源オフ時間(土曜日) (7-24ページ)	
	電源オン時間(日曜日) (7-24ページ)	
	電源オフ時間(日曜日) (7-24ページ)	
セキュリティー	インターフェイスブロック	USBホスト (7-25ページ)
		USBデバイス (7-25ページ)
		オプションインターフェイス (7-25ページ)
		USBストレージ (7-25ページ)
	セキュリティーレベル (7-25ページ)	
	SSD初期化	セキュリティーパスワード (7-26ページ)
		初期化 (7-26ページ)
	セキュリティーデータ消去	今すぐ実行 (7-27ページ)
		タイマー予約 (7-27ページ)
		実行後の機器使用 (7-27ページ)
ユーザー/部門管理	ユーザー管理設定	認証方法 (8-3ページ)
		キーログイン (8-4ページ)
	部門管理 (8-6ページ)	
	部門管理方式 (8-8ページ)	
	部門の選択	カウンターの表示 (8-17ページ)
		カラーカウンターの表示 (8-17ページ)
		制限の種類 (8-10ページ)
		カラー制限種類 (8-10ページ)
		印刷制限 (8-10ページ)
		カラー印刷制限 (8-10ページ)
		カウンターの初期化 (8-17ページ)

ユーザー/部門管理	部門の登録 (8-9ページ)
	部門の削除 (8-13ページ)
	制限超過時設定 (8-16ページ)
	部門管理リストの印刷 (8-18ページ)
	ID不明ジョブ処理 (8-20ページ)
管理者	IDの変更 (8-21ページ)
	パスワードの変更 (8-21ページ)
調整/メンテナンス	静音モード (7-28ページ)
	カラー調整の実行 (7-28ページ)
	カラー位置補正 標準 (7-28ページ)
	カラー位置補正 詳細 (7-28ページ)
	プリンターの再起動 (7-28ページ)
	サービス (7-28ページ)
オプション機能 (7-28ページ)	
ソフトウェア	バージョン (7-28ページ)
有線状況 (7-28ページ)	
オプションネットワークステータス (7-29ページ)	
Wi-Fi状況	ネットワーク名 (SSID) (7-29ページ)
Wi-Fiダイレクト	ブッシュボタン接続 (7-30ページ)
	デバイス名 (7-30ページ)
	ネットワーク名 (SSID) (7-30ページ)
	パスワード (7-30ページ)
	IPアドレス (7-30ページ)
	ネットワーク認証 (7-30ページ)
	データの暗号化 (7-30ページ)
	すべて切断 (7-30ページ)

1 正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、最初に必ずお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

注意事項	1-2
本書中の注意表示について	1-2
設置環境について	1-3
取り扱い上のご注意	1-4
法律上のご注意	1-5
本製品の省エネ制御機能について	1-9
自動両面機能について	1-9
印刷用紙	1-9
電力管理	1-9
国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム	1-9
無線LAN使用時のご注意	1-10
電波の種類と干渉距離	1-10
無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意	1-10
本製品の使用限定	1-11

注意事項

本書中の注意表示について

この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」



「高温注意」

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」



「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」



「電源プラグをコンセントから抜け」



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取扱店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。(有償)

設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

温度	10～32.5℃
湿度	10～80%

また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。

取り扱い上のご注意

消耗品の取り扱いについて



トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーの入った容器およびユニットは、子供の手に触れることのないように保管してください。

トナーの入った容器およびユニットよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーの入った容器およびユニットは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

使用后、不要となったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシス、ECOSYSは、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDLは、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows ServerおよびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCLは、米国ヒューレット・パカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems, Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- Novell、NetWareは、Novell社の登録商標です。
- IBMおよびIBM PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
- AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべてMonotype Imaging Inc.からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Timesは、Linotype GmbH.の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbatsは、International Typeface Corporationの登録商標です。
- MTHSGOTHIC-W5とMTHSMINCHO-W3は平成書体です。これらの書体は(財)日本規格協会と京セラドキュメントソリューションズ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- ThinPrintはCortado AGのドイツ及びその他の国における商標です。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc.からのUFST™ MicroType®のフォントを搭載しています。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品には、Independent JPEG Groupのソフトウェアが含まれています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnnを使用しています。
"Multilingual Advanced Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2005-2012 All Rights Reserved
- iPad、iPhone、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴはApple Inc.の商標です。
- iOSはCiscoの米国およびその他の国の商標または登録商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- iPhoneはアイホン株式会社の商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- GoogleおよびGoogle Cloud Print™はGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- Mopria™は、Mopria™Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にはTMおよび®は明記していません。

GPL/LGPL

本製品のファームウェアは、一部にGPL (<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>) もしくは LGPL (<http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html>) が適用されたソフトウェアを使用しています。お客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLの条件に従い、複製、再配布及び改変する権利があります。これらのソースコードの入手方法については、<http://www.kyoceradocumentsolutions.com/gpl/>にアクセスしてください。

OpenSSLライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナルSSLeyライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Monotype Imagingライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェイス」）のウェイト、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imagingの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がMonotype Imagingからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Monotype Imagingは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべてMonotype Imagingに返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imagingは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがMonotype Imagingの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。

8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段およびMonotype Imagingの唯一の責任は、欠陥のある部品をMonotype Imagingに返却した時点で修理または交換することです。

いかなる場合もMonotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。

9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。

10. お客様は、Monotype Imagingの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピューターソフトウェアに関する権利」の(b)(3)(ii)項または(c)(1)(ii)項に定められた制限を受けます。
さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2)項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。

「スリープ」

最後にご使用になってから1分を経過しますと自動的に「スリープ」に移行します。なお「スリープ」への移行時間は、延長が可能です。

➔ [スリープとオートスリープ \(2-26ページ\)](#)

自動両面機能について

本製品は用紙の両面に印刷できる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面に印刷することで、紙の使用量を軽減することができます。

両面印刷することにより用紙の使用量を削減でき、森林資源の節約に貢献できます。さらに、用紙の購入量が減少することで、経費の節約にも繋がります。したがって、両面印刷が可能な製品においては、印刷モードの初期値を両面印刷に設定して使用されることをお勧めします。

印刷用紙

森林資源の保護と持続可能な活用のために、EN 12281:2002* や同等の品質基準を満たしている、環境管理イニシアティブ認定紙やエコラベルの認定を受けたバージン紙および再生紙の使用を推奨します。

また、本製品は64 g/m² 用紙への印刷が可能であり、このようなうすい用紙を使用することで、より一層の森林資源の節約に繋がります。

* :印刷及びビジネス用紙 — 乾式トナー画像形成プロセス用コピー用紙の要件

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

電力管理

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に使用してから一定時間経過すると自動的に省電力モードに移行する電力管理を行っています。省電力モードに移行した状態では、すぐに使用可能な状態になるまでに若干の時間が必要ですが、余分な電力を大きく削減することができます。省電力モードへの移行時間は、出荷時の設定値のままで使用されることをお勧めします。

国際エネルギースター(ENERGY STAR®)プログラム



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

エネルギースター・プログラムは、地球温暖化防止対策の一環としてエネルギー効率の高い製品の開発と普及を目的とした自主的な省エネルギーラベル制度です。エネルギースター認証製品を購入することで、製品使用時における地球温暖化ガスの排出削減に繋がるとともに、お客様の電力関連コストの削減にも貢献します。

無線LAN使用時のご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発信を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先:弊社お客様相談窓口

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。

「DS」:変調方式がDS-SS方式であることを表す。(IEEE802.11bのとき)

「OF」:変調方式がOFDM方式であることを表す。(IEEE802.11g/nのとき)

「4」:想定される干渉距離が40 m以下であることを表す。

「---」:全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意

無線LANでは、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下のような通信内容を盗み見られる可能性があります。

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような不正な行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本製品の使用限定

- 本製品から発信する電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品から発信する電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器の指示や注意に従ってご使用ください。

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェイルセーフ設計や冗長性設計の対応をとるなど、システム全体の安全設計を考慮いただいた上で本製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図していませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様ご自身で十分ご確認の上、ご判断ください。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」
に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

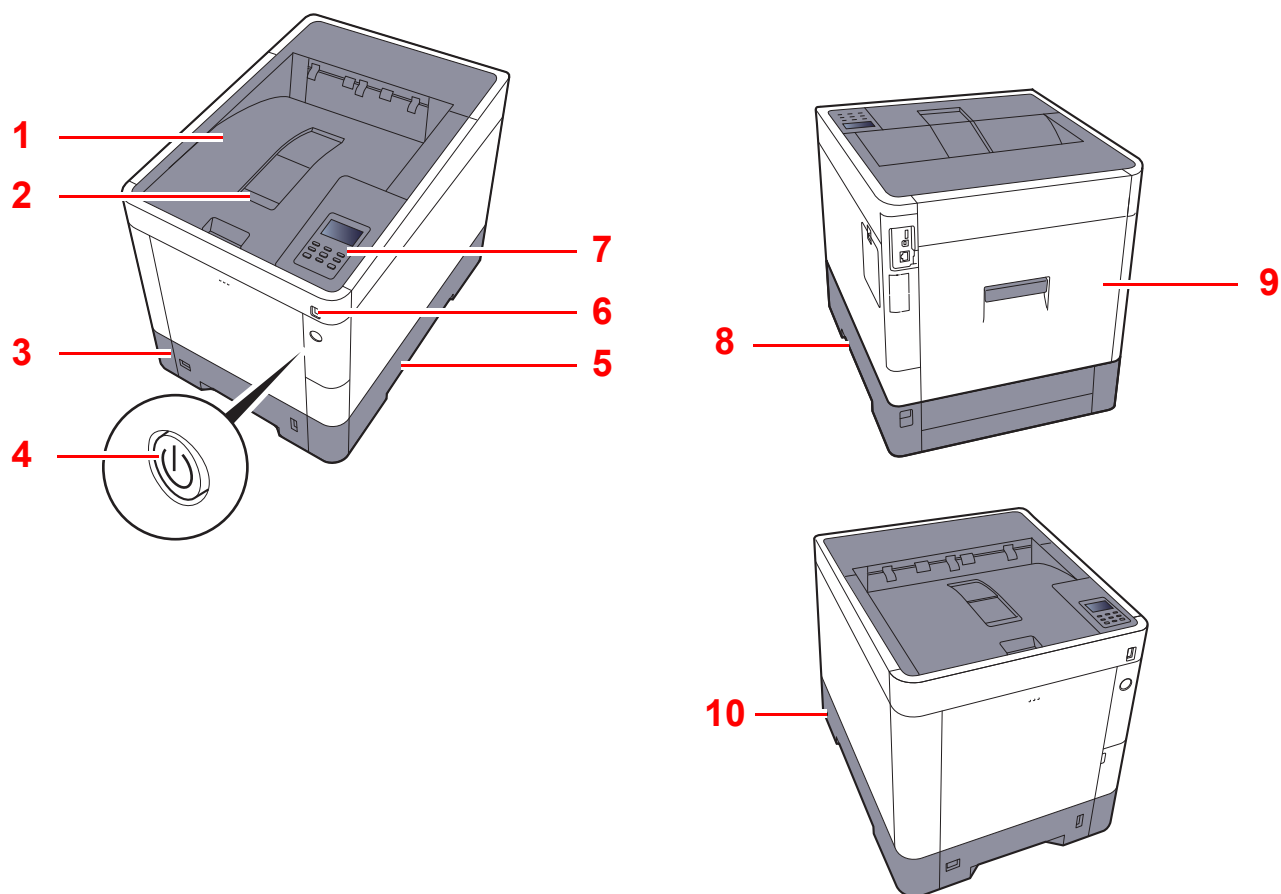
2 設置と機械のセットアップ

この章では、各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストールなど、本機の管理者用の情報について説明しています。

各部の名称	2-2	Command Center RXとは	2-40
本体外観	2-2	Command Center RX へアクセスする	2-41
コネクター・内部	2-3	セキュリティー設定を変更する	2-42
オプション装着時	2-5	デバイス情報を変更する	2-44
本機とその他デバイスを接続する	2-6	メール設定	2-46
ケーブルの接続	2-7	ユーザーボックスを作成する	2-50
ネットワークケーブルの接続	2-7	ユーザーボックスに保存されている文書を	
USBケーブルの接続	2-8	印刷する	2-51
電源コードの接続	2-8		
電源の入/切	2-9		
電源を入れる	2-9		
電源を切る	2-9		
操作パネルの使いかた	2-10		
操作パネルキー	2-10		
操作方法	2-11		
メニューの選択	2-12		
メニューの設定	2-12		
メニュー操作の中断	2-12		
ヘルプ画面の使いかた	2-12		
ログイン・ログアウト	2-13		
ログイン	2-13		
ログアウト	2-13		
機械の初期設定について	2-14		
日付と時刻の設定	2-14		
ネットワークを設定する	2-16		
有線でネットワークを設定する	2-16		
ワイヤレスネットワークを設定する	2-18		
Wi-Fiダイレクトを設定する	2-23		
省エネ機能について	2-26		
スリープとオートスリープ	2-26		
ソフトウェアをインストールする	2-28		
収録ソフトウェア (Windows)	2-28		
Windowsにソフトウェアを			
インストールする	2-29		
ソフトウェアをアンインストールする	2-35		
Macintoshにインストールする	2-36		
カウンターの確認	2-38		
管理者に準備していただきたいこと	2-39		
セキュリティーを強化するには	2-39		

各部の名称

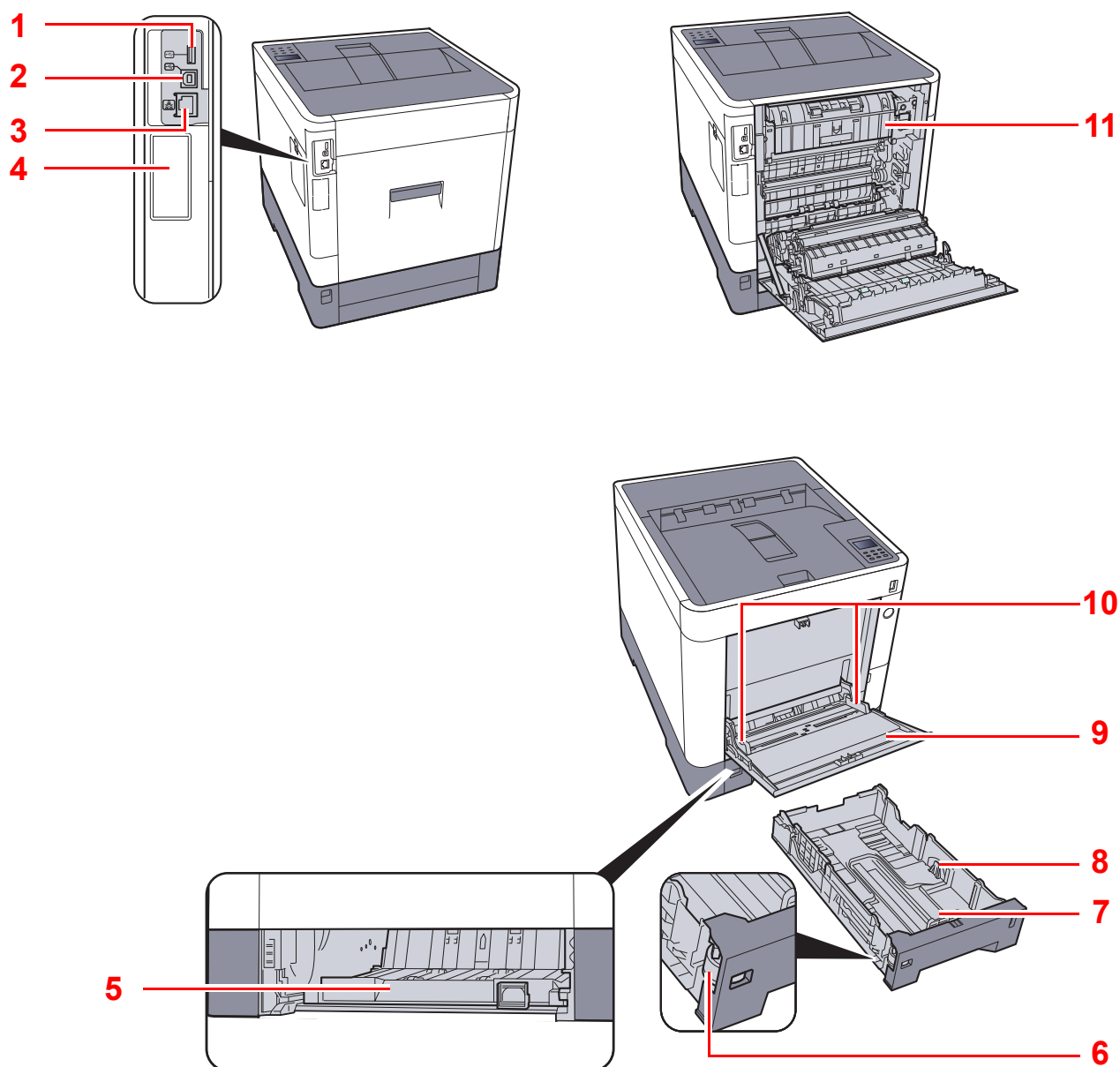
本体外観



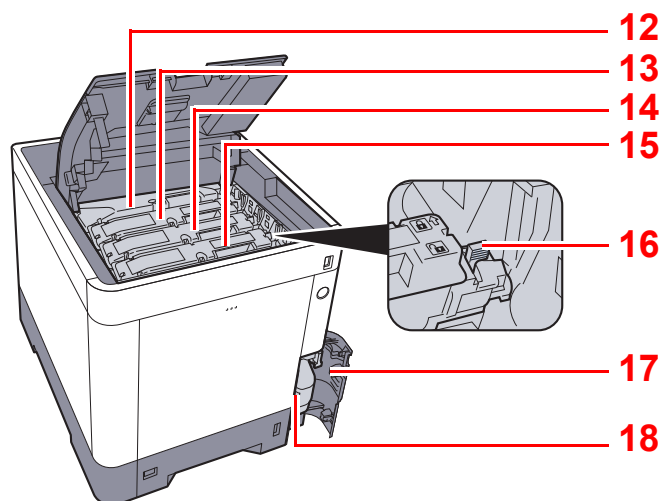
- 1 上トレイ
- 2 排紙ストッパー
- 3 カセット1
- 4 電源スイッチ
- 5 搬送用取手

- 6 USB メモリースロット
- 7 操作パネル
- 8 搬送用取手
- 9 後ろカバー1
- 10 盗難防止ロック用スロット

コネクター・内部



- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1 USBポート | 7 用紙長さガイド |
| 2 USBインターフェイスコネクター | 8 用紙幅ガイド |
| 3 ネットワークインターフェイスコネクター | 9 手差しトレイ |
| 4 オプションインターフェイス | 10 用紙ガイド |
| 5 搬送カバー | 11 定着カバー |
| 6 サイズダイヤル | |



12 トナーコンテナ(ブラック)

13 トナーコンテナ(マゼンタ)

14 トナーコンテナ(シアン)

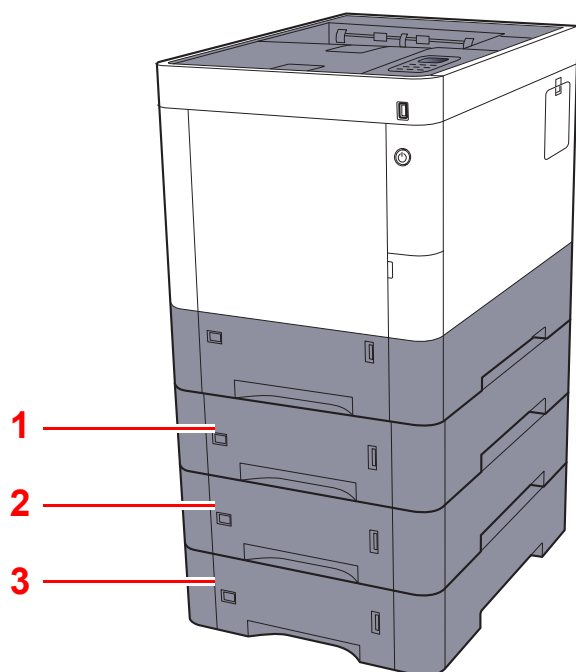
15 トナーコンテナ(イエロー)

16 トナーコンテナロックレバー

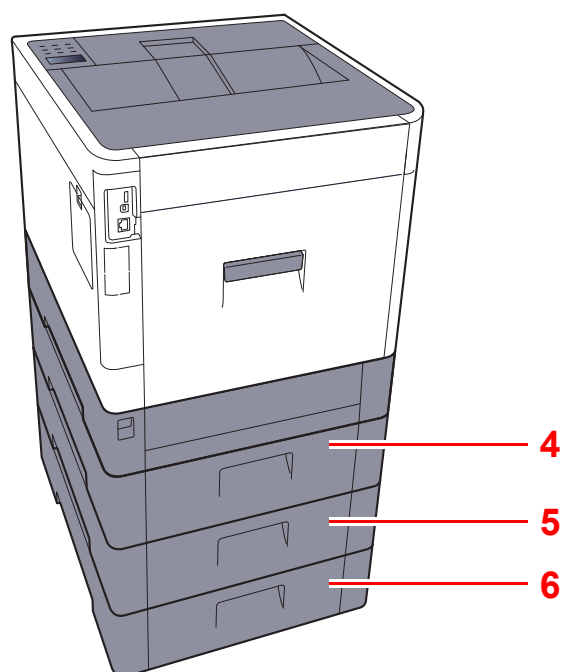
17 廃棄トナーカバー

18 廃棄トナーボックス

オプション装着時



- 1 カセット2
- 2 カセット3
- 3 カセット4



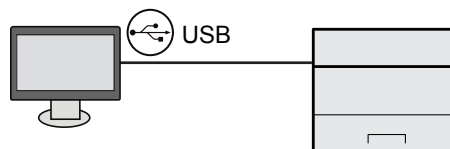
- 4 後ろカバー2
- 5 後ろカバー3
- 6 後ろカバー4

➡ [オプションについて \(10-2ページ\)](#)

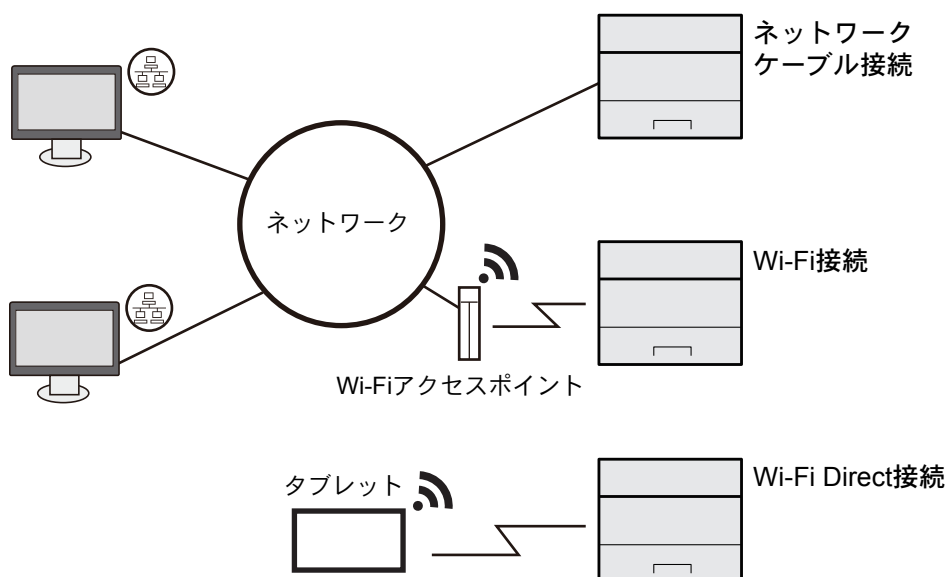
本機とその他デバイスを接続する

本機を使用する目的や環境に合わせて必要なケーブルを用意してください。

本機とパソコンをUSBで接続する場合



本機とパソコンやタブレットをネットワークケーブル、Wi-Fi、Wi-Fi Directで接続する場合



参考

無線LANをご使用になる場合は、次を参照してください。

➡ [ワイヤレスネットワークを設定する \(2-18ページ\)](#)

使用できるケーブル

接続環境	使用できる機能	必要なケーブル
本機をネットワークケーブルで接続する	プリンター	ネットワークケーブル (10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T)
本機をUSBケーブルで接続する	プリンター	USB2.0 適合ケーブル (Hi-Speed USB 準拠5.0 m 以下、シールド付)



重要

USB2.0適合ケーブルを使用しない場合、故障の原因となります。

ケーブルの接続

ネットワークケーブルの接続

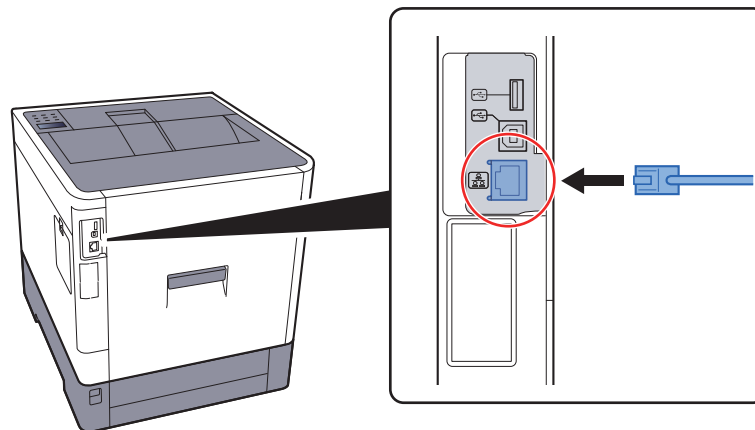
✓ **重要**

電源が入っている場合は、電源スイッチを切ってください。

➡ [電源を切る \(2-9ページ\)](#)

1 接続する

- 1 ネットワークインターフェイスコネクタに、ネットワークケーブルを接続します。



- 2 ケーブルのもう一方を、HUB (集線装置) に接続します。

2 本機の電源を入れて、ネットワークを設定する

➡ [ネットワークを設定する \(2-16ページ\)](#)

USBケーブルの接続

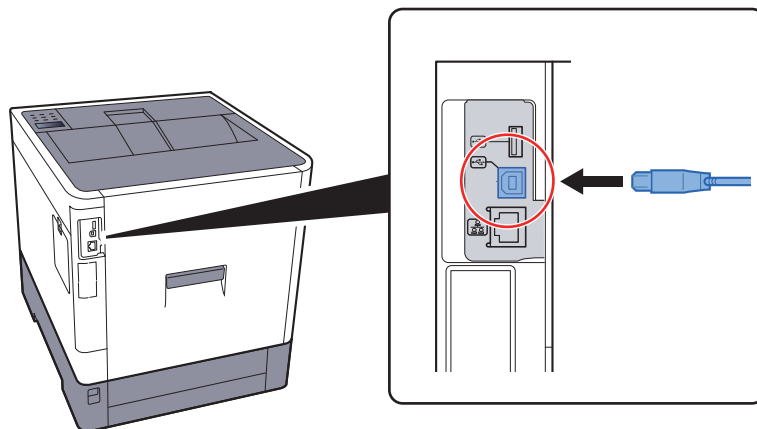
✓ 重要

電源が入っている場合は、電源スイッチを切ってください。

➡ [電源を切る \(2-9ページ\)](#)

1 接続する

- 1 本体左側のUSBインターフェイスコネクタに、USBケーブルを接続します。



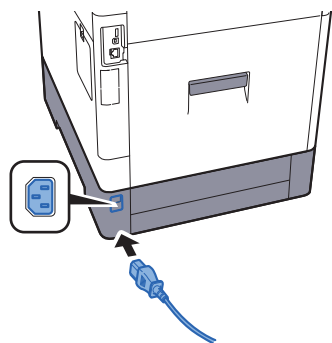
- 2 ケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

2 本体の電源を入れる

電源コードの接続

1 接続する

付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。



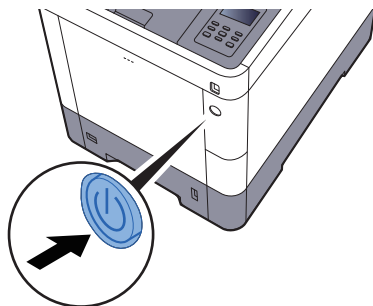
✓ 重要

電源コードは、必ず本機に付属のものをご使用ください。

電源の入/切

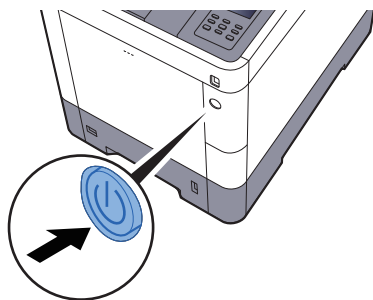
電源を入れる

1 電源スイッチを入れる



電源を切る

1 電源スイッチを切る



電源が切れるまでに約3分かかる場合があります。



注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

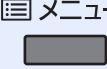


重要

用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出して保管袋に入れて密封保管してください。

操作パネルの使いかた

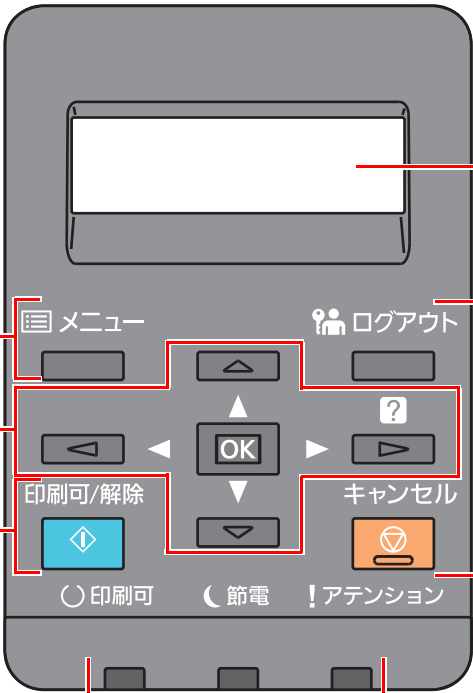
操作パネルキー

 メニュー	メニュー画面を表示します。
 OK	設定メニューで設定した内容を確認します。
 印刷可/解除	特定のエラーを解除します。 またスリープ状態から復帰します。

    	- メッセージディスプレイで数値を増減させたり、メニューを選択します。 - 特定のエラー発生時に、[?]キーを選択すると、ヘルプ画面を表示します。
---	--

 ログアウト	各ユーザーの操作を終了(ログアウト)します。
 キャンセル	実行中の印刷を中止します。

 印刷可	印刷可能な状態のとき、点灯します。 印刷処理中、またはエラーが発生したとき、点滅します。
 節電	省電力モードのとき点灯します。
 ！アテンション	エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。



メッセージディスプレイ:
設定項目やエラーメッセージを表示します。

メニュー

ログアウト

印刷可/解除

キャンセル

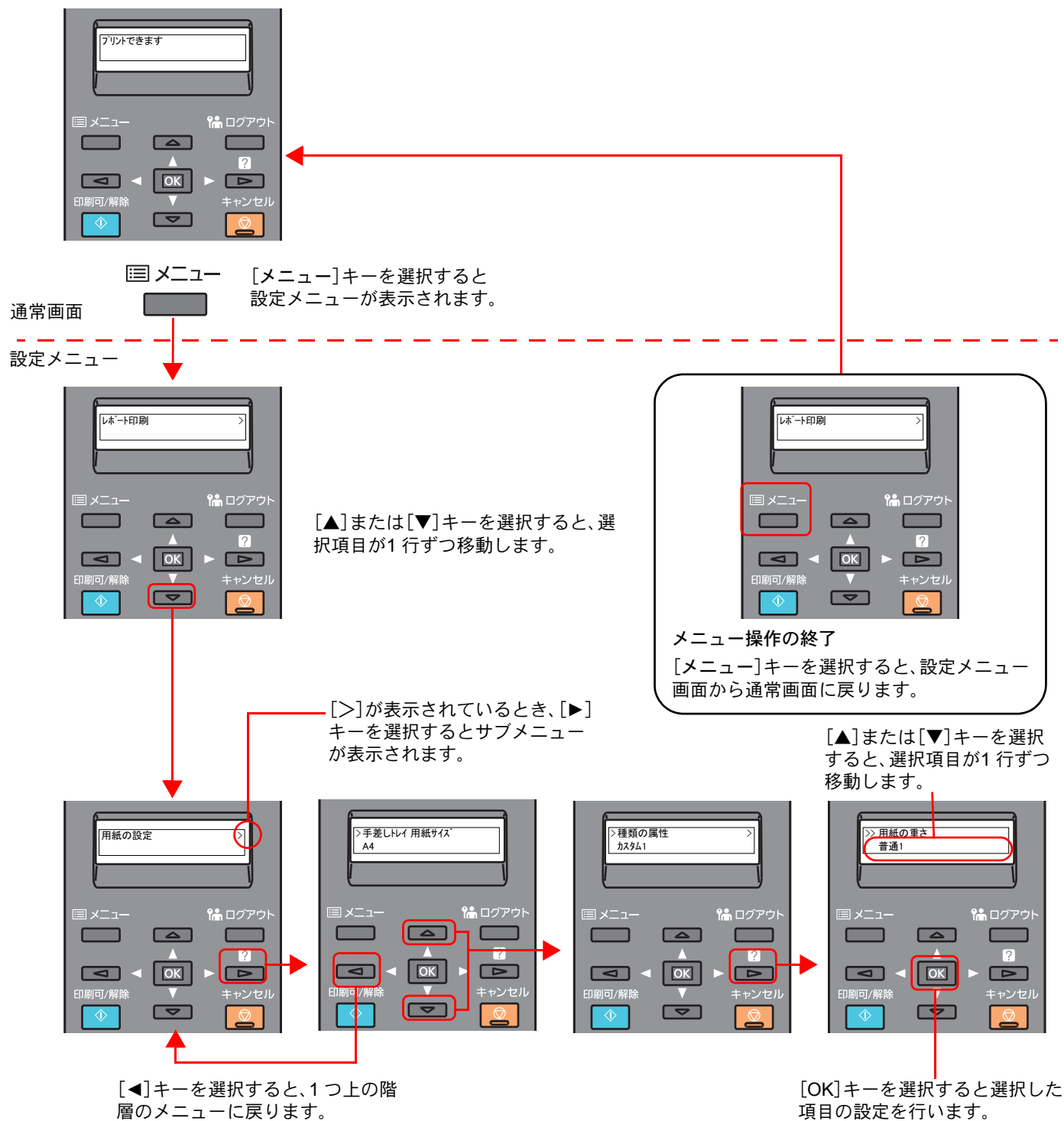
印刷可 節電 !アテンション

操作方法

ここでは、設定メニューの操作方法について説明します。

メニューの表示と設定のしかた

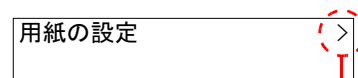
[メニュー]キーを選択すると設定メニューが表示されます。[▲]キー、[▼]キー、[◀]キー、[▶]キー、または[OK]キーを選択してメニューを選択し、設定を実行します。



メニューの選択

設定メニューは階層構造(ツリー構造)をしています。[▲]または[▼]キーを選択して、目的のメニューを表示させます。

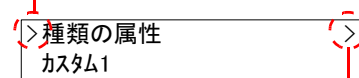
- 選択したメニューにサブメニューがある場合は、メニュー名に続いて「>」が表示されます。



サブメニューがあることを示しています。

- サブメニュー名の前には「>」が表示されます。さらにサブメニューがある場合は、サブメニュー名に続いて「>」が表示されます。さらに下の階層へ移動するときは[▶]キーを選択してください。上の階層に戻るときは[◀]キーを選択してください。

サブメニューであることを示しています。



さらにサブメニューがあることを示しています。

2階層目のサブメニュー名の前には「>>」が表示されます。



2階層目のサブメニューであることを示しています。

メニューの設定

目的のメニューを選択してから[OK]キーを選択してください。そのメニューの設定操作に入りますので、[▲]または[▼]キーを選択して希望の表示を選択し、[OK]キーを選択してください。選択した表示の右側に「？」が点滅し始めます。[OK]キーを選択して確定してください。

メニュー操作の中断

メニュー操作中に[メニュー]キーを選択すると、「プリントできます」表示状態に戻ります。



参考

操作パネルの設定よりも、アプリケーションやプリンタードライバーからの設定が優先されます。

ヘルプ画面の使いかた

操作に困ったときは、操作パネルで使いかたを確認できます。

「[?]キーを選択してください。」が表示されているとき、[?]キーを選択するとヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面では本機の操作方法が表示されます。

— ヘルプ スタート —
[?]キーを押してください



カセット1を引き出し
▼つまっている用紙を

[▼]キーを選択すると次の手順が、[▲]キーを選択すると前の手順が表示されます。

[?]キーを選択するとヘルプ画面は終了します。

ログイン・ログアウト

管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者IDと管理者パスワードが必要になります。



参考

管理者IDと管理者パスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

管理者ID:	3000
管理者パスワード:	3000

ログイン

1 管理者IDを入力する

操作中に管理者ID入力画面が表示された場合、管理者IDを入力して、[OK]キーを選択します。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

2 管理者パスワードを入力する

管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択します。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

3 [OK]キーを選択する

ログアウト

[メニュー]キーを選択すると、設定メニュー画面から通常画面に戻りログアウトします。

また、次の状態のときも自動でログアウトします。

- スリープ状態になったとき。
- オートパネルリセットが働いたとき。

機械の初期設定について

本機を使用する前に、日付・時刻、ネットワークの設定、省エネ機能など、必要な設定を行ってください。



参考

本機の初期設定値は、システムメニューで変更することができます。
システムメニューで設定できる項目については、次を参照してください。

➡ [システムメニュー \(7-1ページ\)](#)

日付と時刻の設定

本機に、設置場所の日付と時刻を設定します。

ご使用の地域での日付、時刻、GMT(世界標準時)からの時差を設定してください。



参考

- 管理者IDと管理者パスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
管理者ID: 3000
管理者パスワード: 3000
- 日付/時刻を設定する前に、必ず時差を設定してください。
- ネットワーク上の時刻サーバーを利用して時刻を取得し、定期的に正確な時刻が設定できます。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [日時設定] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

- パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
- IDとパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者IDやパスワードの場合、「IDが違います」もしくは「パスワードが違います」が表示され、入力画面に戻ります。正しいIDとパスワードを入力し直してください。

2 設定する

[▲][▼]キー > [時差] > [OK]キー > 時差を選択 > [OK]キー > [▲][▼]キー > [日時(年/月/日)] > [OK]キー > 日付を設定 > [OK]キー > [▲][▼]キー > [時刻(時/分/秒)] > [OK]キー > 時刻を設定 > [OK]キー > [▲][▼]キー > [日付形式] > [OK]キー > 日付形式を選択 > [OK]キー

項目	説明
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。
日時(年/月/日)	設置場所の日付を設定します。 設定値: 年(2000～2037)、月(1～12)、日(1～31)
時刻(時:分:秒)	設置場所の時刻を設定します。 設定値: 時(00～23)、分(00～59)、秒(00～59)
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値: 月/日/年、日/月/年、年/月/日

ネットワークを設定する

有線でネットワークを設定する

本機はネットワークインターフェイスを標準装備しており、TCP/IP (IPv4)、TCP/IP (IPv6)、NetBEUIおよびIPSecをサポートしています。このためWindows、Macintosh、UNIXなどさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

ここでは、TCP/IP (IPv4)でネットワークに接続するときの設定を行います。

設定前に、ネットワークケーブルを確実に接続してください。

➡ [ネットワークケーブルの接続 \(2-7ページ\)](#)

ネットワークのその他の設定については、次を参照してください。

➡ [ネットワーク設定 \(7-15ページ\)](#)

TCP/IP (IPv4)を設定する

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [有線ネットワーク] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [TCP/IP] > [OK]キー

2 設定する

1 [▲][▼]キー > [オン] > [OK]キー

2 「TCP/IP オン」表示中に、[▶]キーを選択します。

3 [▲][▼]キー > [DHCP] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [オフ] > [OK]キー

4 [▲][▼]キー > [IPアドレス] > [OK]キー

5 IPアドレスを入力します。



参考

000～255 の間で設定できます。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

6 [OK]キーを選択します。

7 [▲][▼]キー > [サブネットマスク] > [OK]キー

8 サブネットマスクを入力します。



参考

000～255 の間で設定できます。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

9 [OK]キーを選択します。

10 [▲][▼]キー > [デフォルトゲートウェイ] > [OK]キー

11 デフォルトゲートウェイを入力します。



参考

000～255 の間で設定できます。

[▲] または [▼] キーを選択して、数値を入力します。

[◀] または [▶] キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

12 [OK] キーを選択します。

13 [▲][▼] キー > [Auto-IP] > [OK] キー

14 [オフ] > [OK] キー



重要

設定変更後にシステムメニューからネットワークの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行います。

➡ [プリンターの再起動 \(7-28ページ\)](#)



参考

設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に依頼してあらかじめ準備しておいてください。

以下の場合、Command Center RXでDNSサーバーのIPアドレスを設定してください。

- 「DHCP」設定を [使用しない] でホスト名を使用する場合
- DHCPから自動的に付与されるDNSサーバーのIPアドレス以外のDNSサーバーを使用する場合

DNSサーバーのIPアドレスの設定については、次を参照してください。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

ワイヤレスネットワークを設定する

オプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-36およびIB-51) を本機に装着して接続設定をすると、ワイヤレスネットワーク (無線LAN) 環境で印刷および送信ができるようになります。

➡ [IB-36 <ワイヤレスインターフェイスキット> \(10-5ページ\)](#)

➡ [IB-51 <ワイヤレスインターフェイスキット> \(10-3ページ\)](#)

次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本機の操作パネルからの設定	システムメニューから接続設定をする場合は、Wi-Fi設定を使用します。	Wi-Fi設定 (7-12ページ)
Wi-Fiセットアップツールの使用	Product Libraryに収録されているツールです。ウィザードに従って設定できます。	Wi-Fiセットアップツールで接続の設定をする (2-18ページ)
ウェブページからの設定	IB-36の場合はCommand Center RXから設定できます。	Command Center RX 操作手順書
	IB-51の場合は専用のウェブページから設定できます。	IB-51使用説明書
IB-51セットアップユーティリティの使用	IB-51に同梱のCDに収録されているセットアップツールです。WindowsとMac OS Xのどちらでも使用できます。	IB-51使用説明書



参考

オプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50) およびワイヤレスネットワークインターフェイスキット (IB-36またはIB-51) を装着して、有線以外のネットワークインターフェイスに切り替えたい場合は、「通信」で適切な設定値に変更してください。

➡ [通信 \(7-15ページ\)](#)

Wi-Fiセットアップツールで接続の設定をする

Wi-FiセットアップツールからのWi-Fi設定情報を本機に送るために、本機とローカル接続をする必要があります。ローカル接続の方法として、有線接続と無線接続 (Wi-Fiダイレクト) の2つがあります。



参考

- Wi-Fiダイレクトを使用するには、Wi-Fiダイレクトで本機とコンピューターを接続する前に 操作パネルからWi-Fiダイレクトを有効 ([オン] を選択) にし、ネットワークを再起動していることを確認してください。
- ネットワークケーブルを使って直接本機に接続すると、Auto-IPアドレス (リンクローカルアドレス) が本機とコンピューターに割り当てられます。本機は、初期値としてAuto-IPアドレスを適用します。
- 接続するパソコンがWPSに対応しているか確認してください。対応している場合、本機の操作パネルから設定を行ってください。

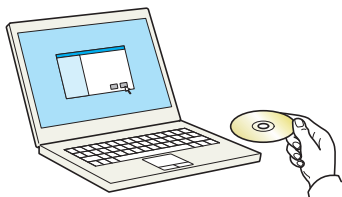
➡ [Wi-Fi設定 \(7-12ページ\)](#)

ネットワークケーブルを使用して有線で接続する

1 本機とパソコンを接続する

- 1 本機が起動している状態で、コンピューターと本機を直接ネットワークケーブルで接続します。
- 2 コンピューターの電源をオンにします。
本機とコンピューターのIPアドレス(リンクローカルアドレス)がそれぞれ自動的に生成されます。

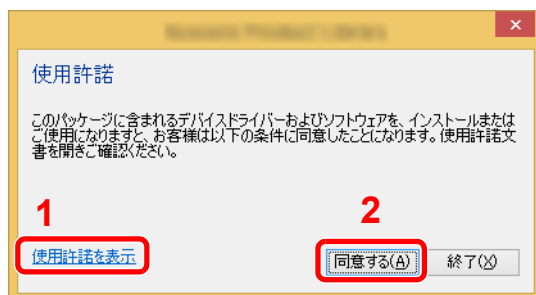
2 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

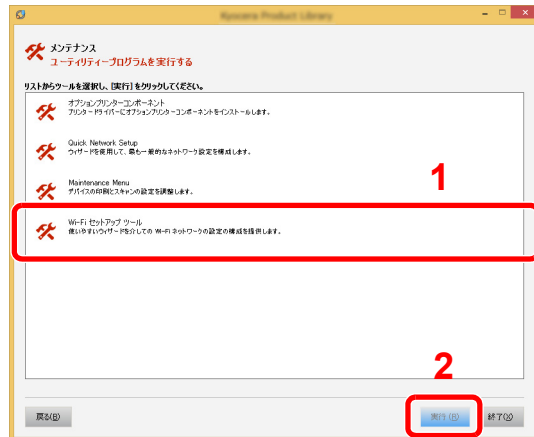
3 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

4 [メンテナンス]を選択する

5 [Wi-Fiセットアップツール] > [実行]



6 設定する

1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]

2 [LANケーブル] > [次へ] > [次へ]

3 [簡単設定] > [次へ]

本機が検出されます。

参考

- Wi-Fiセットアップツールで本機を1台だけ検索できます。検索に時間がかかる場合があります。
- 本機が検出されない場合は、[詳細設定] > [次へ]の順に選択します。本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択し、検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。

4 本機を選択 > [次へ]

5 [認証モード]から[デバイス設定を使用します。]を選択し、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード] (ともにAdmin)を入力 > [次へ]

6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。

7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ]

ネットワークが設定されます。

Wi-Fiダイレクトを使用して無線で接続する

1 画面を表示する

1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [▶]キー

2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。

参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

2 設定する

[▲][▼]キー > [オン] > [OK]キー

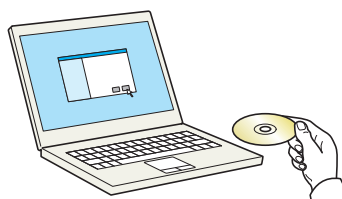
3 ネットワークを再起動する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fi設定] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー > [OK]キー

4 パソコンまたは携帯端末を本機に接続する

➔ [Wi-Fiダイレクトを設定する \(2-23ページ\)](#)

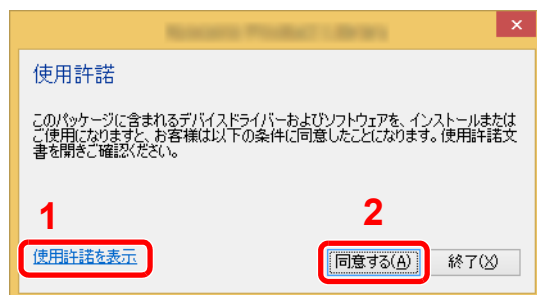
5 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

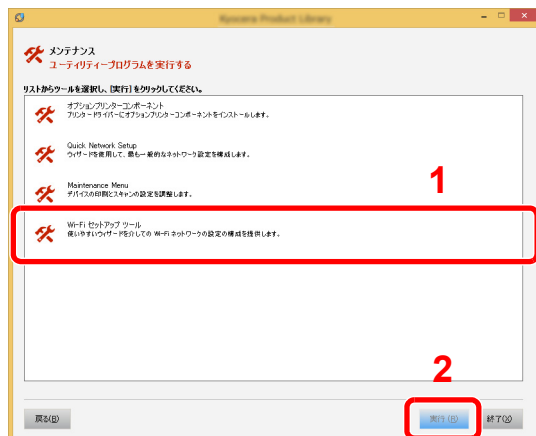
6 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

7 [メンテナンス]を選択する

8 [Wi-Fi セットアップツール] > [実行]



9 設定する

1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]

2 [Wi-Fi Direct] > [次へ] > [次へ]

3 [詳細設定] > [次へ]

本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択します。検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。

4 本機を選択 > [次へ]

5 [認証モード]から[デバイス設定を使用します。]を選択し、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード] (ともにAdmin)を入力 > [次へ]

6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。

7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ]

ネットワークが設定されます。

Wi-Fiダイレクトを設定する

オプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-36) を本機に装着して接続設定をすると、Wi-Fiダイレクト環境で印刷ができるようになります。次の設定方法があります。

本機の操作パネルから接続の設定をする

Wi-Fiダイレクト対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

2 設定する

[▲][▼]キー > [オン] > [OK]キー

3 ネットワークを再起動する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fi設定] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー > [OK]キー

4 コンピューターまたは携帯端末から本機を選択する

操作パネルで確認メッセージが表示された場合は、[はい]を選択してください。
本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

Wi-Fiダイレクト未対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

iOSの携帯端末に接続する例で説明します。

1 画面を表示する

1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [▶]キー

2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

4 [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

2 設定する

[▲][▼]キー > [オン] > [OK]キー

3 ネットワークを再起動する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fi設定] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー > [OK]キー

4 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [▶]キー

5 デバイス名、IPアドレス、およびパスワードをメモする

6 携帯端末を設定する

1 [設定] > [Wi-Fi]

2 リストから、手順5で表示されたネットワーク名 (SSID) を選択します。

3 手順5でメモしたパスワードを入力 > [接続]

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

プッシュボタンで設定する

パソコンや携帯端末がWi-Fiダイレクト未対応でWPSに対応している場合、プッシュボタンを操作してネットワークを設定できます。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

2 設定する

[▲][▼]キー > [オン] > [OK]キー

3 ネットワークを再起動する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fi設定] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー > [OK]キー

4 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [プッシュボタン接続] > [OK]キー > [OK]キー

5 パソコンまたは携帯端末のプッシュボタンと、操作パネルの[OK]キーを同時に押す

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

✓ 重要

Wi-Fiダイレクトで一度に接続できる端末は3台までです。Wi-Fiダイレクト対応のパソコンまたは携帯端末がすでに接続されているときにほかの端末を接続したい場合は、先に接続された端末のネットワークを切断する必要があります。切断する方法は次のとおりです。

- パソコンまたは携帯端末からネットワークを切断する
- 操作パネルですべて切断する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [すべて切断] > [OK]キー > [OK]キーの順に選択します。

- システムメニューから自動切断時間を設定する

➡ [Wi-Fiダイレクト設定 \(7-12ページ\)](#)

- Command Center RXから自動切断時間を設定する

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

省エネ機能について

本機は、最後に使用してから一定時間経過すると、自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行します。

スリープとオートスリープ

オートスリープ

一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替わる機能です。切り替わる時間は、工場出荷時で1分です。

本機を使用するときは、次の操作を行ってください。

- [印刷可/解除]キーを選択する。

17秒以内に再び使用できるようになります。

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

スリープ状態に切り替わる時間を設定する操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [時間] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 [▲][▼]キー > [スリープ時間] > [OK]キー

2 設定する

- 1 スリープ時間を入力します。



参考

1～240分の間で設定できます。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

- 2 [OK]キーを選択します。

スリープレベル(節電優先と復帰優先)

スリープは、節電優先と復帰優先の2つのモードに切り替えることができます。初期設定は、節電優先モードです。

節電優先とは、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えた状態で、機能ごとにスリープモードを働かせるかを設定できます。ICカードも認識しません。



参考

オプションのネットワークインターフェイスキットを装着しているときは、節電優先にはできません。

スリープレベルを選択して、各機能で節電優先を使用する操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [スリープレベル設定] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 [▲][▼]キー > [スリープレベル] > [OK]キー

2 スリープレベルを選択する

[▲][▼]キー > [復帰優先]または[節電優先] > [OK]キー

[節電優先]を設定した場合は、次の手順に進んで、機能別に節電優先モードに移行させるかどうかを設定してください。

3 スリープ条件を設定する

- 1 [▲][▼]キー > [ネットワーク接続時]または[ICカードリーダ接続時] > [OK]キー
[ICカードリーダ接続時]はオプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。
- 2 [▲][▼]キー > [使用しない]または[使用する] > [OK]キー

ソフトウェアをインストールする

本機でプリンター機能を使用する場合、DVD (Product Library) から必要なソフトウェアをインストールします。

収録ソフトウェア (Windows)

インストール方法は、[エクスプレスインストール]と[カスタムインストール]の2通りから選ぶことができます。[エクスプレスインストール]が標準のインストール方法になります。[エクスプレスインストール]でインストールされないものは、[カスタムインストール]でインストールしてください。

[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

➔ [カスタムインストールの場合 \(2-31ページ\)](#)

ソフトウェア	説 明	エクスプレスインストール
KXドライバー (KX DRIVER)	パソコン上のデータを本機で印刷するためのドライバーです。1つのドライバーで、複数のページ記述言語 (PCL XL、KPD Lなど) をサポートします。本機の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタードライバーです。 PDFデータを作成する場合はこのドライバーを使用してください。	○
KX XPSプリンタードライバー (KX XPS DRIVER)	マイクロソフト社が開発したXPS (XML Paper Specification) フォーマットに対応したプリンタードライバーです。	—
Mini プリンタードライバー (PCL/KPD L) (KPD L mini-driver/PCL mini-driver)	PCL、KPD LのそれぞれをサポートしたMicrosoft Mini Driver形式のドライバーです。本機の持つ機能やオプション類の機能のうち、本ドライバーでは使用できる機能に制限があります。	—
KYOCERA Net Viewer	ネットワーク上の本機をモニターすることのできるユーティリティです。	—
Status Monitor	本機の状態を監視し、報告するユーティリティです。	○
KYOCERA Net Direct Print	Adobe Acrobat/Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	—
フォント (FONTS)	本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォントです。	○



参考

ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

Windowsにソフトウェアをインストールする

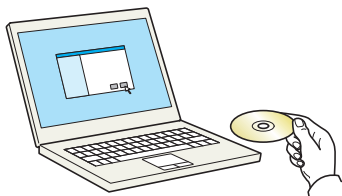
エクスプレスインストールの場合

ここでは、Windows 8.1に[エクスプレスインストール]でインストールする場合を例に説明します。

[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

➡ [カスタムインストールの場合 \(2-31ページ\)](#)

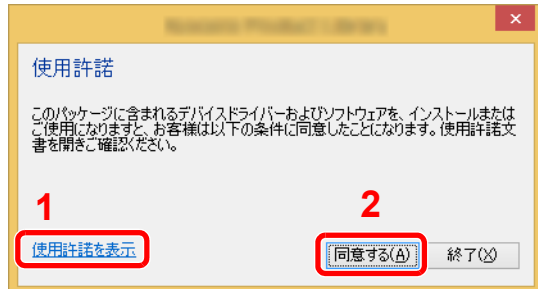
1 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

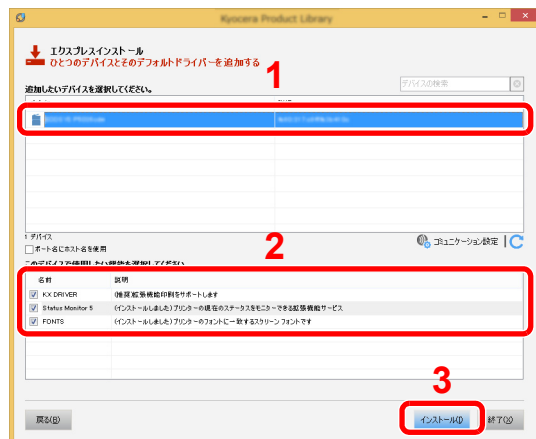
2 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

3 [エクスプレスインストール]を選択する

4 インストールする



本機のモデル名を選択します。[ポート名にホスト名を使用]を選択して、標準TCP/IPポートのホスト名を使用するように設定することもできます。(USB接続は利用できません。)

[インストール]をクリックすると、データ収集の協力をお願いする画面が表示されます。いずれかの回答を選択して、[OK]をクリックしてください。



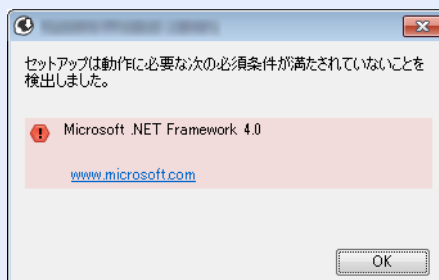
重要

Wi-FiまたはWi-Fiダイレクトが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

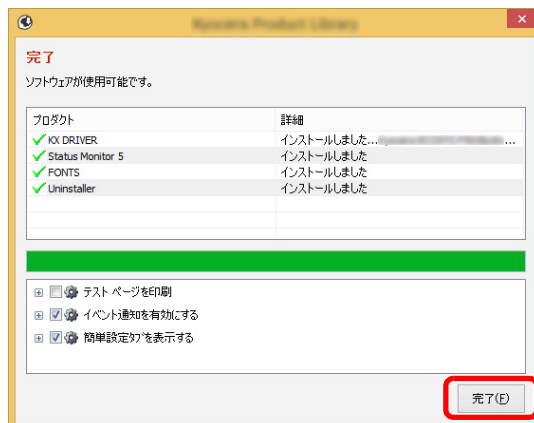


参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、C(更新)をクリックしてください。
- Windowsセキュリティ画面が表示された場合、[このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックしてください。
- Windows 8より前のバージョンのWindowsにステータスモニターをインストールする場合、あらかじめMicrosoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページの印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

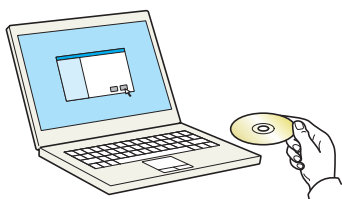
[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

カスタムインストールの場合

ここでは、Windows 8.1に[カスタムインストール]でインストールする場合を例に説明します。

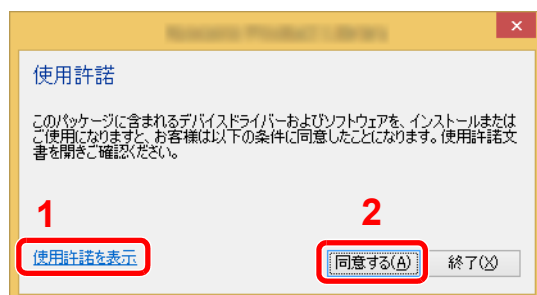
1 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

2 画面を表示する

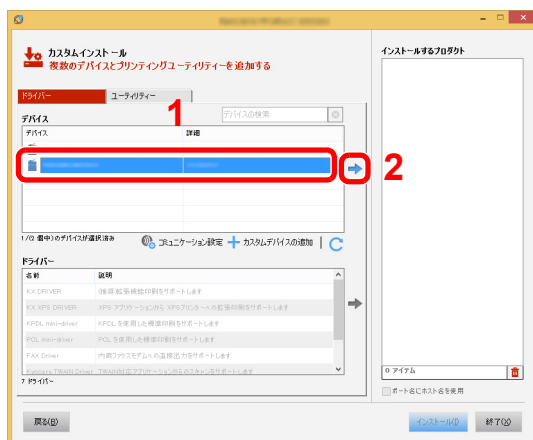


- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

3 [カスタムインストール]を選択する

4 インストールする

- 1 インストールするデバイスを選択します。



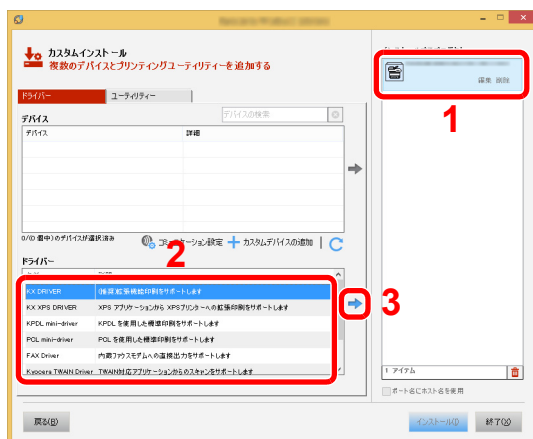
重要

Wi-FiまたはWi-Fiダイレクトが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

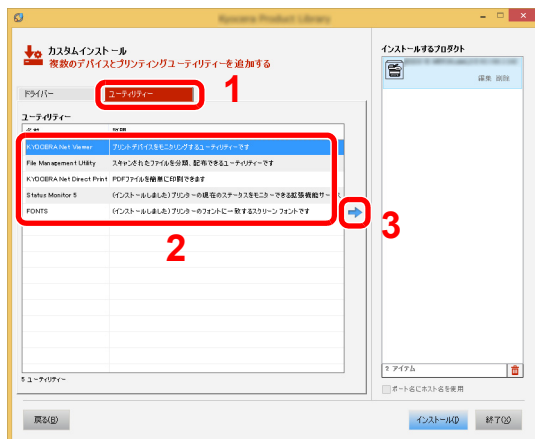
参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、C (更新) をクリックしてください。
- 目的のデバイスが表示されないときは、[カスタムデバイスの追加]を選択して使用したいデバイスを直接選びます。

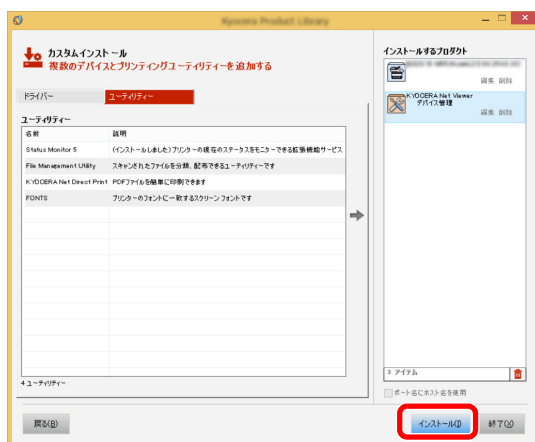
- 2 インストールするドライバーを選択します。



- 3 [ユーティリティ]タブをクリックして、インストールするユーティリティを選択します。



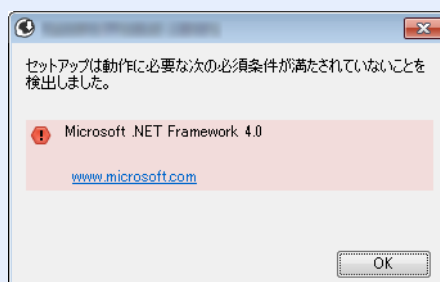
- 4 [インストール]をクリックします。



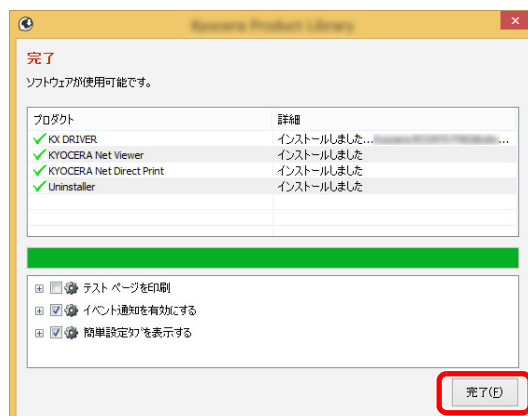
[インストール]をクリックすると、データ収集の協力をお願いする画面が表示されます。いずれかの回答を選択して、[OK]をクリックしてください。

参考

Windows 8より前のバージョンのWindowsにステータスマニターをインストールする場合、あらかじめMicrosoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページを印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

ソフトウェアをアンインストールする

Product Libraryでインストールしたソフトウェアを削除するときは、以下の手順で行ってください。



参考

ソフトウェアをアンインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

1 画面を表示する

デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「プロダクトライブラリーのアンインストール」と入力します。検索された一覧の中から[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択します。ソフトウェア アンインストールウィザードが表示されます。

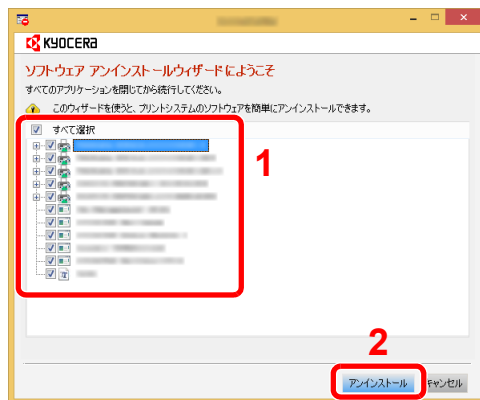


参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択してください。

2 アンインストールする

削除するソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れます。



3 アンインストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでソフトウェアのアンインストール作業は終了です。



参考

- ソフトウェアのアンインストールはProduct Libraryを使って行うことも可能です。
- Product Libraryの画面で[アンインストール]を選択し、画面の表示に従ってソフトウェアをアンインストールします。

Macintoshにインストールする

Macintoshでは、本機のプリンター機能が使用できます。

参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理者の権限でログインする必要があります。
- Macintoshでインストールする場合は、本機のエミュレーションを[KPDL]または[KPDL(自動)]に設定してください。

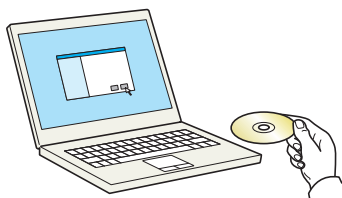
➡ [印刷設定 \(7-9ページ\)](#)

- Bonjourで接続する場合は、本機のネットワーク設定でBonjourを有効にしてください。

➡ [Bonjour \(7-15ページ\)](#)

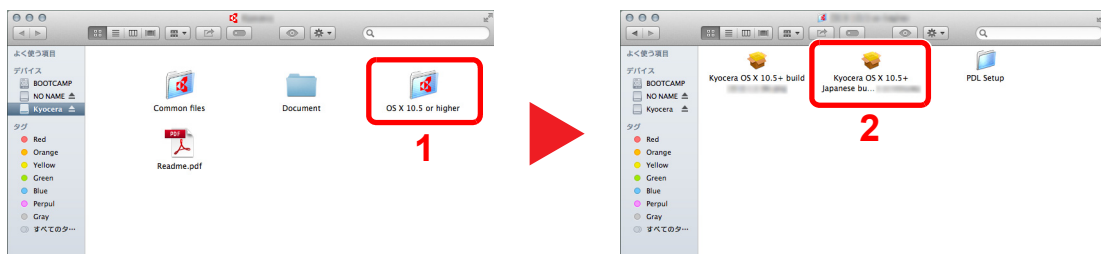
- 名前とパスワードの入力画面が表示された場合は、OSにログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。
- AirPrintを使用して印刷等を行う場合は、ソフトウェアのインストールは不要です。

1 DVDを挿入する



[Kyocera]アイコンをダブルクリックしてください。

2 画面を表示する



使用しているOSのバージョンのフォルダーを開き、[Kyocera OS X x.x Japanese]をダブルクリックします。

3 インストールする



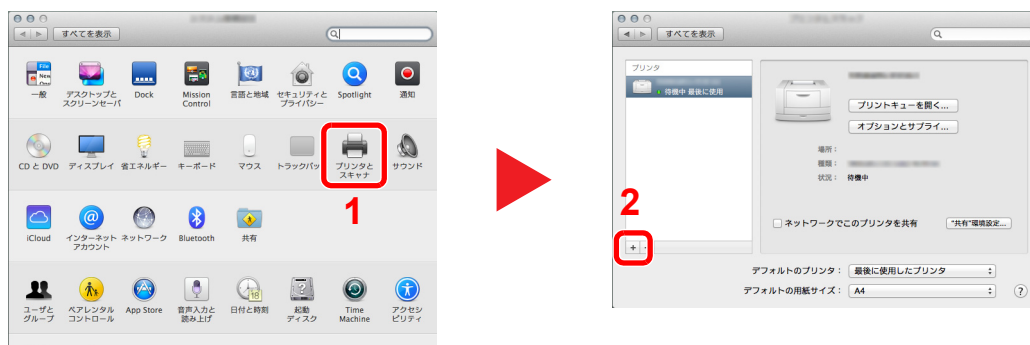
インストールプログラムの表示に従ってプリンタードライバーをインストールします。

以上でプリンタードライバーのインストールは完了です。

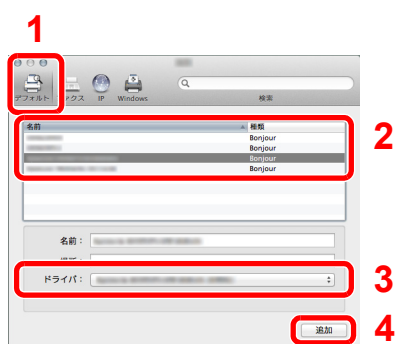
USB接続の場合は、自動的に本機の認識と接続が行われます。ネットワーク接続の場合は、続けてプリンターの設定を行ってください。

4 設定する

- 1 システム環境設定画面を開き、プリンターを追加します。



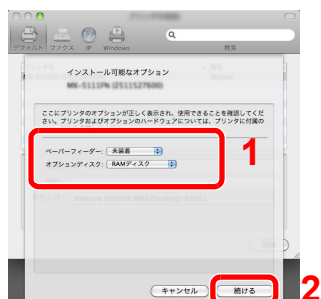
- 2 [デフォルト]を選択し、「名前」に表示された項目をクリックした後、ドライバーを選択します。



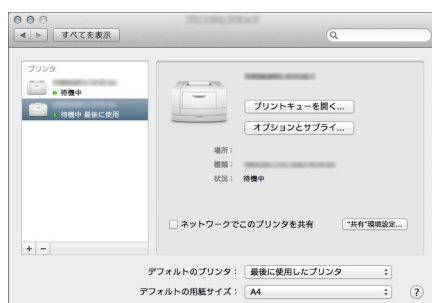
参考

IPアドレスを入力する場合は、[IP]を選択し、ホスト名またはIPアドレスを入力してください。「名前」には、「アドレス」に入力した番号が自動的に入ります。必要に応じて変更してください。

- 3 本機に装備されているオプションを選択します。



- 4 設定したプリンターが追加されます。



カウンターの確認

印刷枚数を参照します。

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [カウンター] > [▶]キー

2 カウンターを確認する

確認したい項目を選択します。

管理者に準備していただきたいこと

本機の管理者は、この章で説明していること以外に、下記の内容を確認の上必要な設定を行ってください。

セキュリティを強化するには

本機は、管理者の権限を持つユーザーが1人工場出荷時に登録されています。このユーザーでログインすると、すべての設定が可能になりますので、管理者IDやパスワードを変更してください。

また、本機はユーザー認証機能を搭載しており、設定することで、登録されたログインユーザー名とパスワードを持っている人しか本機を使えないようにすることができます。

➡ [8 ユーザー認証、集計管理\(ユーザー管理、部門管理\) \(8-1ページ\)](#)

強化したいこと	機能名	参照ページ
本機を使用するユーザーを制限したい	オートパネルリセット	7-24ページ
本機に保存した文書を他のユーザーに操作させたくない	ユーザーボックス ^{*1}	5-5ページ
本機に保存したデータの流出を防ぎたい	上書き消去 ^{*2}	Data Security Kit (E) 使用説明書参照
	暗号化 ^{*2}	
本機を廃棄するとき、本機内のデータを完全に削除したい	セキュリティデータ消去	7-27ページ
傍受、盗聴から、通信内容を保護したい	IPP over SSL	7-16ページ
	HTTPS	7-16ページ
	SMTPセキュリティ	Command Center RX操作手順書参照
	POP3セキュリティ	Command Center RX操作手順書参照
	IPSec	7-19ページ
	SNMPv3	7-15ページ

*1 オプションのSSDが必要です。

*2 オプションのセキュリティキットが必要です。

Command Center RXとは

本機をネットワークに接続してご使用の場合、Command Center RXを使用してさまざまな設定を行うことができます。ここでは、Command Center RXへのアクセス手順と、セキュリティ設定、ホスト名の変更方法などについて説明します。

➡ Command Center RX操作手順書



参考

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスを含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されます）。

ログインユーザー名： Admin

ログインパスワード： Admin

管理者と一般ユーザーがCommand Center RXで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明	管理者	一般ユーザー
デバイス情報	本機の構成を確認できます。	○	○
ジョブ状況	印刷およびジョブ履歴を含むすべてのデバイスのジョブ情報が表示されます。	○	○
文書ボックス	文書ボックスの追加や削除、または文書ボックス内の文書の削除などを行います。	○	○ ^{*1}
デバイス設定	本機の詳細設定を行います。	○	-
機能設定	機能の詳細設定を行います。	○	-
ネットワーク設定	ネットワークの詳細設定を行います。	○	-
セキュリティ設定	セキュリティの詳細設定を行います。	○	-
管理設定	管理の詳細設定を行います。	○	-

*1 ログインするユーザーの権限により、設定できる項目に制限があります。

Command Center RX へアクセスする

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名を確認するためにステータスページを印刷します。
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページの印刷] > [OK]キー > [OK]キー

例) <https://192.168.48.21/> (IPアドレスの場合)

<https://MFP001> (ホスト名がMFP001の場合)



本機およびCommand Center RXに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。



参考

「このWeb サイトのセキュリティ証明書には問題があります」の画面が表示された場合、証明書の設定をしてください。

▶ Command Center RX操作手順書

または、証明書を設定しないでこのまま続行することもできます。

2 設定する

画面左のナビゲーションバーから項目を選択してください。



参考

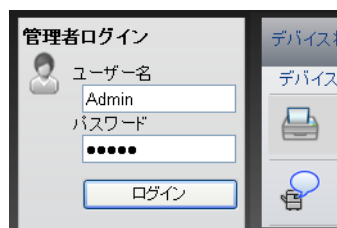
Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスを含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです (大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin
ログインパスワード: Admin

セキュリティ設定を変更する

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名を確認するためにステータスページを印刷します。
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページの印刷] > [OK]キー > [OK]キー
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです (大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin
ログインパスワード: Admin

- 4 [セキュリティ設定]をクリックします。

2 設定する

[セキュリティ設定]メニューから設定したい項目を選択して、設定を行います。



参考

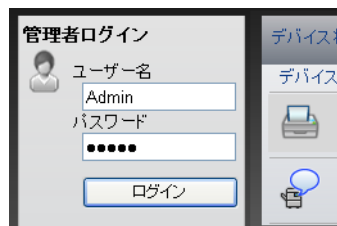
証明書に関する設定については、次を参照してください。

➡ Command Center RX操作手順書

デバイス情報を変更する

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名を確認するためにステータスページを印刷します。
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページの印刷] > [OK]キー > [OK]キー
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです (大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin
ログインパスワード: Admin

- 4 [デバイス設定]メニューの[システム]をクリックします。



2 設定する

デバイス情報を入力して、[設定]をクリックします。

重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

[管理設定]メニューの[リセット]をクリックし、「再起動」の[ネットワークの再起動]をクリックすることで、ネットワークインターフェイスカードの再起動ができます。

メール設定

SMTPを設定すると、ジョブが終了したことをメールで通知することができます。

この機能を使用するには、SMTPプロトコルによる本機とメールサーバーの接続が必要です。

また、次の項目を設定してください。

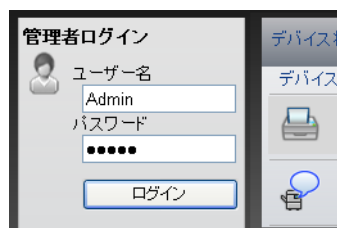
- SMTPの設定
設定項目:「SMTP」の「SMTPプロトコル」、「SMTPサーバー名」等
- 本機がメールを送信するときの差出人のアドレス
設定項目:「メール送信設定」の「差出人アドレス」
- メールサイズ制限の設定
設定項目:「メール送信設定」の「メール送信のサイズ制限」

SMTPを設定する操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

SMTPプロトコルの画面を表示します。

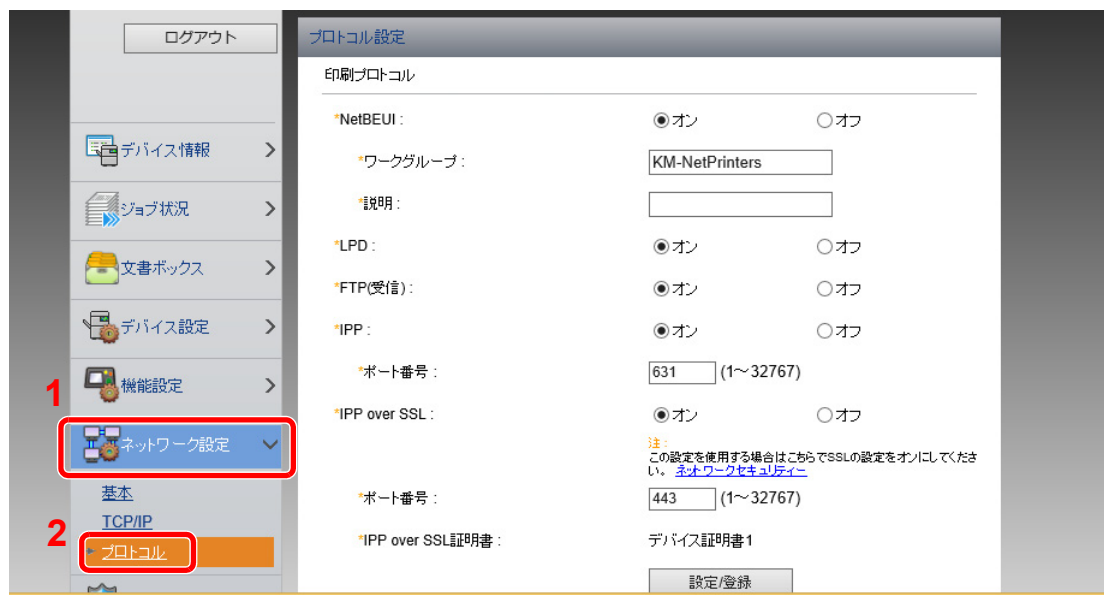
- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名を確認するためにステータスページを印刷します。
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページの印刷] > [OK]キー > [OK]キー
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin
ログインパスワード: Admin

4 [ネットワーク設定]メニューの[プロトコル]をクリックします。



2 設定する

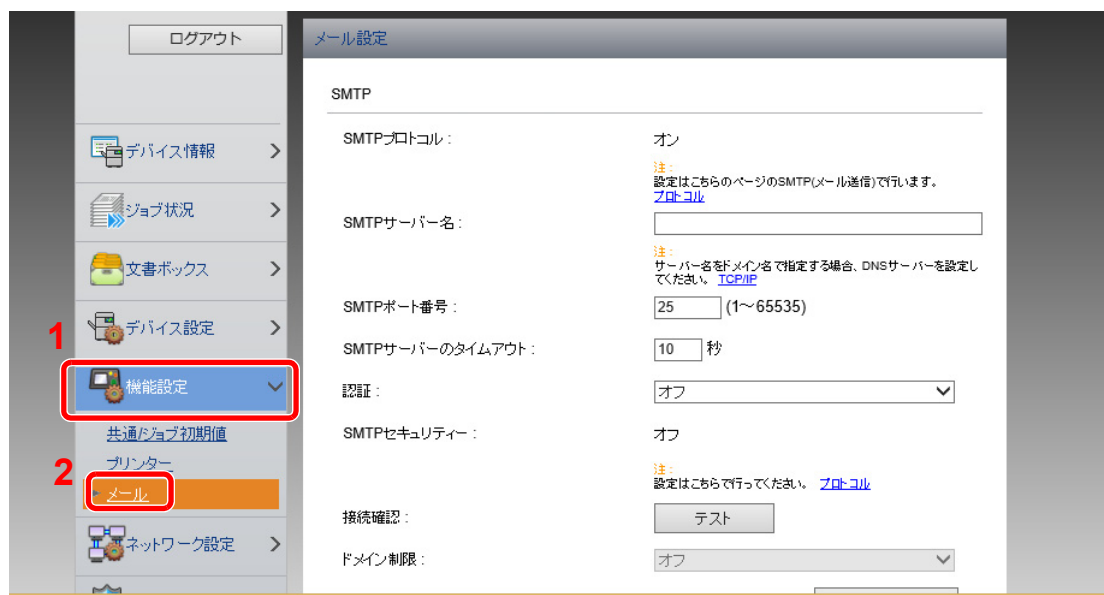
「送信プロトコル」の「SMTP(メール送信)」で設定を[オン]にしてください。



3 画面を表示する

メール設定の画面を表示します。

[機能設定]メニューの[メール]をクリックします。



4 設定する

「SMTP」および「メール送信設定」の項目を入力します。

項目	説明
SMTP	本体からメールを送信するときに設定します。
SMTPプロトコル	SMTPプロトコルの設定を参照します。「SMTPプロトコル」の設定が[オン]になっているか確認してください。[オフ]の場合は、[プロトコル]をクリックして、SMTPプロトコルの設定を[オン]にしてください。
SMTPサーバー名 ^{*1}	SMTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。
SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を設定します。通常は25を使用します。
SMTPサーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
認証	SMTP認証をする場合、認証するユーザー情報を入力します。
SMTPセキュリティ	SMTPセキュリティを設定します。「プロトコル」ページで「SMTP(メール送信)」の「SMTPセキュリティ」を設定してください。
接続確認	設定した内容が正しいかどうかをテストします。
ドメイン制限	ドメイン制限をする場合、[ドメインリスト]をクリックし、許可、または拒否する宛先のドメイン名を入力します。メールアドレスで指定することもできます。
POP3	POP3プロトコル
	着信チェック間隔
	直ちに実行
	ドメイン制限
	POP3ユーザー設定
メール送信設定	メール送信のサイズ制限
	差出人アドレス ^{*1}
	署名
	機能初期値

^{*1} 入力が必要な項目です。

5 [設定]をクリックする

ユーザーボックスを作成する



参考

ユーザーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名を確認するためにステータスページを印刷します。
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページの印刷] > [OK]キー > [OK]キー
- 3 [文書ボックス]メニューで[ユーザーボックス]をクリックします。

文書ボックス : ユーザーボックス | 最終更新: 2016/07/15 17:28:55

ユーザーボックス 3

新規作成 削除

番号 開く ボックス名

番号	種類	ボックス名	所有者	文書数	サイズ
0001	フォルダ	ボックス01		3	4.0 MB
0002	フォルダ	ボックス02		1	57.2 MB
0003	フォルダ	ボックス03		1	565.0 KB

1 - 3 / 3 ボックス

- 4 [新規作成]をクリックします。

2 設定する

- 1 ボックスの情報を入力します。
登録するユーザーボックスの情報を入力してください。入力する項目は、次を参照してください。
➡ Command Center RX操作手順書
- 2 [設定]をクリックします。

ユーザーボックスに保存されている文書を印刷する

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名を確認するためにステータスページを印刷します。
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページの印刷] > [OK]キー > [OK]キー
- 3 [文書ボックス]メニューで[ユーザーボックス]をクリックします。



- 4 文書が保存されているユーザーボックスの番号またはボックス名をクリックします。

2 印刷する



- 1 印刷する文書を選択します。
印刷する文書のチェックボックスにチェックを入れます。
- 2 [印刷] をクリックします。
- 3 印刷設定を行い、[印刷] をクリックします。

3 本機を使用する前に

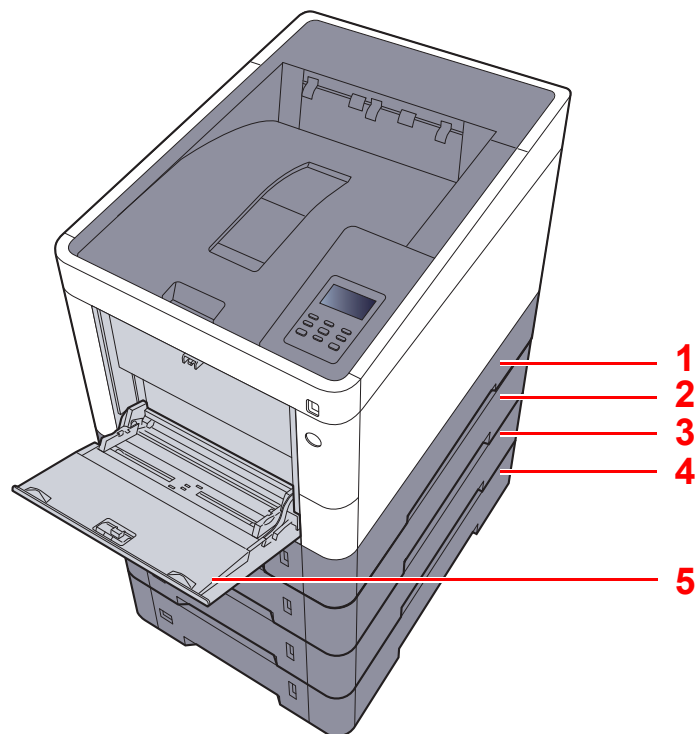
この章では、本機の基本的な操作について説明します。

用紙のセット	3-2
用紙の取り扱い上の注意	3-3
カセットにセットする	3-4
手差しトレイにセットする	3-7
用紙サイズと用紙種類の設定	3-10
排紙ストッパー	3-13

用紙のセット

カセットと手差しトレイに用紙をセットします。

各カセットへの補給方法は以下のページを参照してください。



番号	名称	参照先
1	カセット1	3-4ページ
2	カセット2	3-4ページ
3	カセット3	3-4ページ
4	カセット4	3-4ページ
5	手差しトレイ	3-7ページ

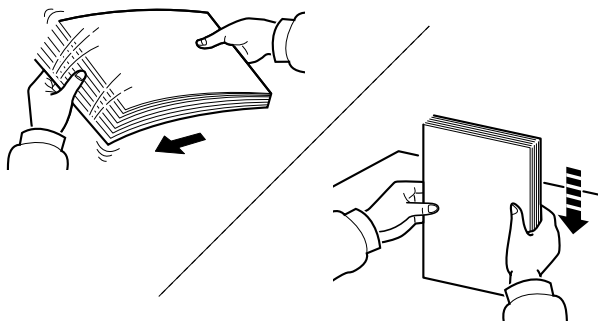


参考

- お使いの環境や用紙の種類(厚さ)によって、収納できる枚数は異なります。
- インクジェットプリンター用紙や表面に特殊な加工が施されている用紙は使用しないでください。(紙づまり等、故障の原因になる場合があります。)
- より高品質なカラー印刷を求められる場合は、カラー専用の用紙をお使いください。

用紙の取り扱い上の注意

包装紙から出した用紙は、カセットや手差しトレイにセットする前に、次の手順でさばいてください。



用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよくそろえてください。

さらに、下記にもご注意ください。

- 用紙に折れやカールなどがある場合は、まっすぐにのばしてください。折れやカールがあると、紙づまりの原因となります。
- 包装紙から出した用紙を高温高湿環境に放置すると、湿気でトラブルの原因となります。カセットに入れた残りの用紙は、用紙保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しトレイに残った用紙も、保管袋に入れて密封保管してください。
- 本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るため、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。



重要

再利用紙(一度印刷された用紙)を使用する場合は、必ずステープル針やクリップなどを外してください。ステープル針やクリップが残ったままだと、画像不良や故障の原因となります。



参考

穴の開いた用紙、ロゴや社名などが印刷されている用紙(プレプリント)、レターヘッドなど特殊な用紙を使用する場合は、次を参照してください。

➡ [用紙について \(10-9ページ\)](#)

カセットにセットする

カセットには、普通紙や再生紙、カラー紙を収納できます。

各カセットの収納枚数は以下のとおりです。

カセット	収納枚数
カセット1～4	500枚 (普通紙:80 g/m ²)

補給できる用紙サイズの詳細については、次を参照してください。

➡ [適正な用紙の選択 \(10-10ページ\)](#)



参考

カセット2～4には、A6サイズはセットできません。

用紙種類の設定については、次を参照してください。

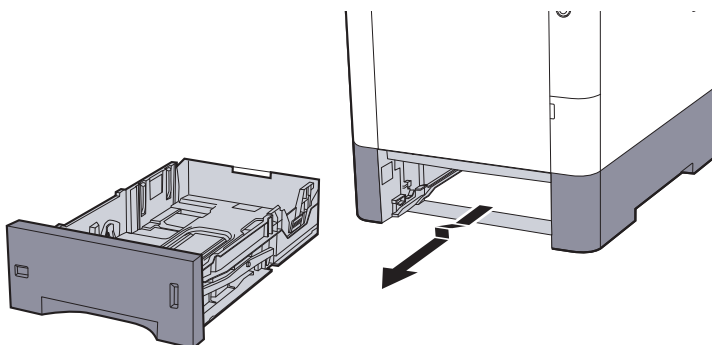
➡ [種類の属性について \(7-8ページ\)](#)



重要

カセット1には、60～163 g/m²、カセット2～4には、60～220 g/m²の用紙を収納できます。

1 カセットを本機から引き出す



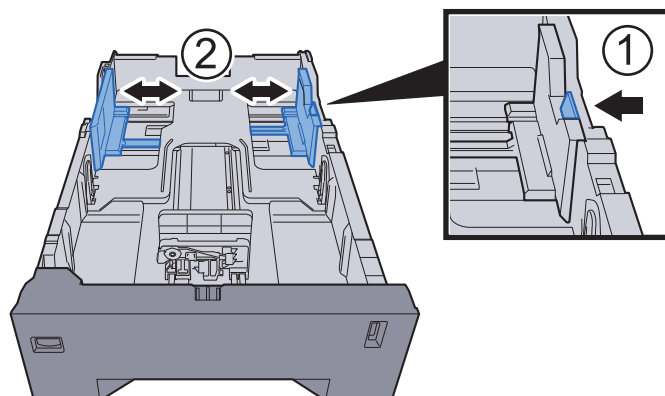
参考

カセットを引き出すときは、しっかり支えて落ちないようにしてください。

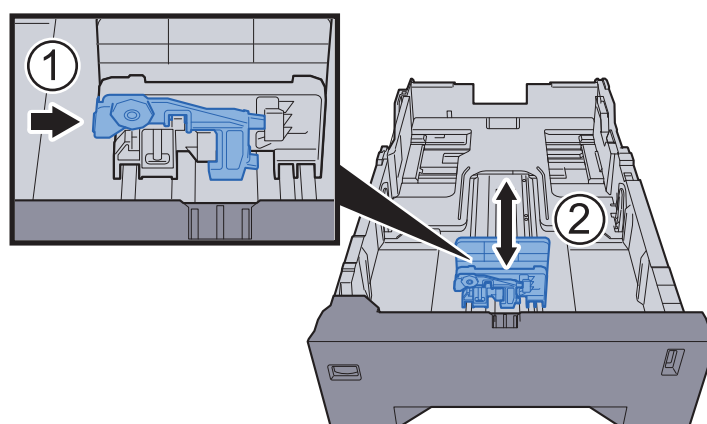
2 カセットのサイズを調整する

- 1 用紙幅ガイドの位置を調整します。用紙幅変更つまみを押しながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

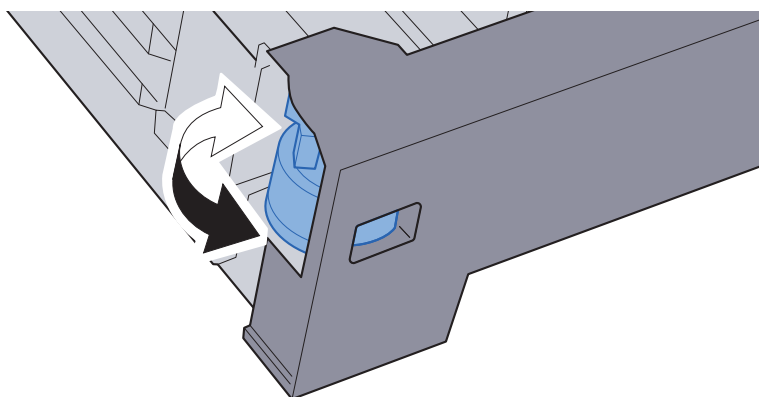
用紙サイズはカセットに表示されています。



- 2 用紙長さガイドの位置を調整します。用紙長さ変更つまみを押しながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。



- 3 サイズダイヤルを回して、使用する用紙サイズが用紙サイズウィンドウに見えるように合わせてください。



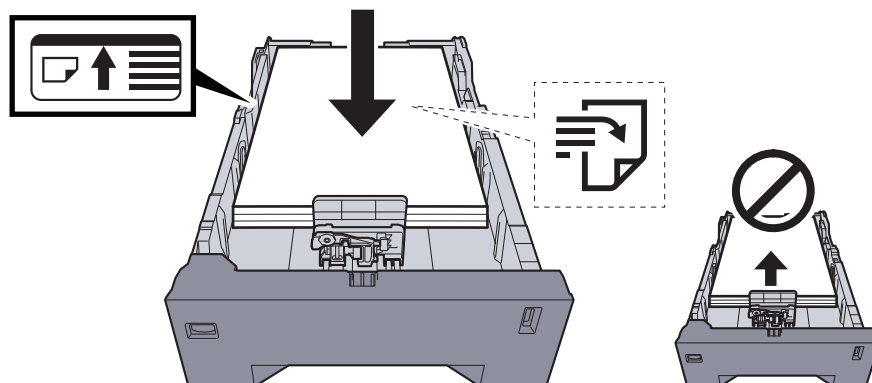
 参考

定形外用の紙を使用する場合は、サイズダイヤルをOtherにセットしてください。その際は操作パネルからその用紙サイズを設定することが必要です。

➡ [用紙サイズと用紙種類の設定 \(3-10ページ\)](#)

3 用紙をセットする

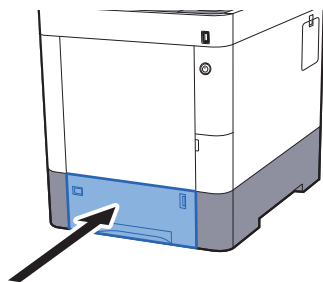
- 1 紙の間に空気を入れるようにさばき、水平な台の上で用紙をそろえます。
- 2 用紙の端をそろえて、カセットに入れます。



✓ 重要

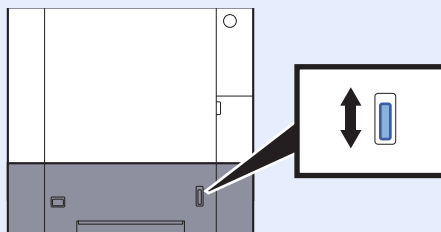
- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。
- ➔ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-3ページ\)](#)
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

4 カセットをゆっくり奥まで押し込む



参考

カセット前面の右側に用紙残量表示があります。用紙の残量に合わせて表示が上下します。



5 カセットにセットする用紙を操作パネルで設定する

- ➔ [カセットの用紙サイズと用紙種類 \(3-10ページ\)](#)

手差しトレイにセットする

手差しトレイには、普通紙(64 g/m²)を110枚まで補給できます。

補給できる用紙サイズの詳細については、次を参照してください。

➡ [適正な用紙の選択 \(10-10ページ\)](#)

用紙種類の設定については、次を参照してください。

➡ [種類の属性について \(7-8ページ\)](#)

特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

☑ 重要

- 106 g/m²以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙にして、用紙の重さを使用用紙の重さに合わせて設定してください。
- OHPフィルムは1枚排紙されるごとに上トレイから取り除いてください。紙づまりの原因となることがあります。

手差しトレイにセットできる用紙種類と枚数は次のとおりです。

- 普通紙(64 g/m²)、再生紙、カラー紙:110 枚
- 厚紙(209 g/m²):15枚
- 厚紙(157 g/m²):30枚
- 厚紙(104.7 g/m²):50枚
- はがき:30枚
- Envelope DL、Envelope C5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6 3/4、Envelope Monarch、洋形4号、洋形2号:5 枚
- OHP フィルム:1枚
- 加工紙:30枚

💡 参考

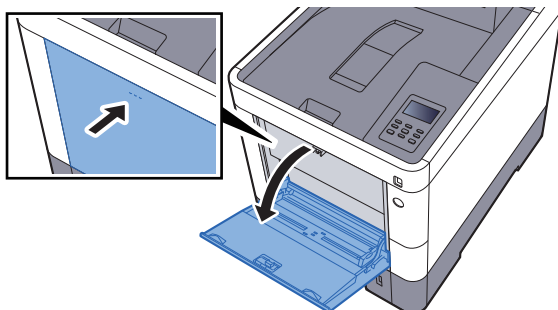
- 不定形サイズの用紙をセットするときは、用紙のサイズを入力してください。

➡ [手差しトレイの用紙サイズと用紙種類 \(3-12ページ\)](#)

- OHPフィルムや厚紙などの特殊紙を使用するときは、用紙種類を設定してください。

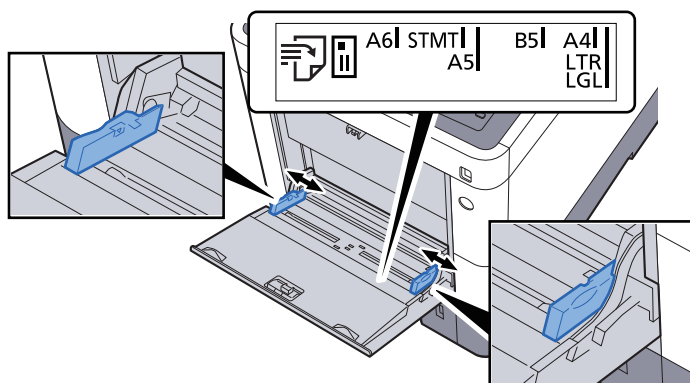
➡ [手差しトレイの用紙サイズと用紙種類 \(3-12ページ\)](#)

1 手差しトレイを開ける

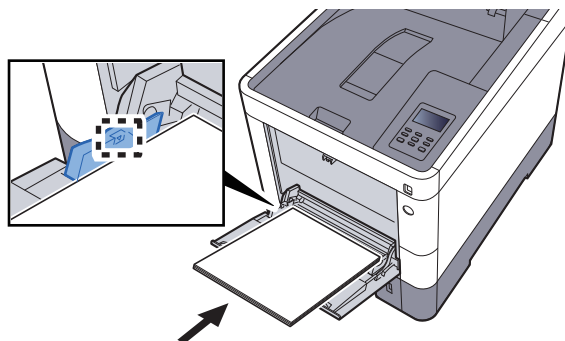


2 手差しトレイのサイズを調整する

用紙サイズは手差しトレイに表示されています。



3 用紙をセットする



用紙幅ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。
包装紙から出した用紙は、セットする前にさばいてください。

➡ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-3ページ\)](#)



重要

- 印刷する面を上にしてください。
- 反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。
- 手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差しトレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙と合わせてさばいてから再度補給してください。
- 用紙と用紙ガイドの間に隙間があるときは、斜め給紙や紙づまりの原因となりますので、隙間が生じないようにガイドを調整し直してください。
- 用紙の量は、収納上限を示す用紙上限表示以下にしてください。

4 手差しトレイにセットする用紙を操作パネルで設定する

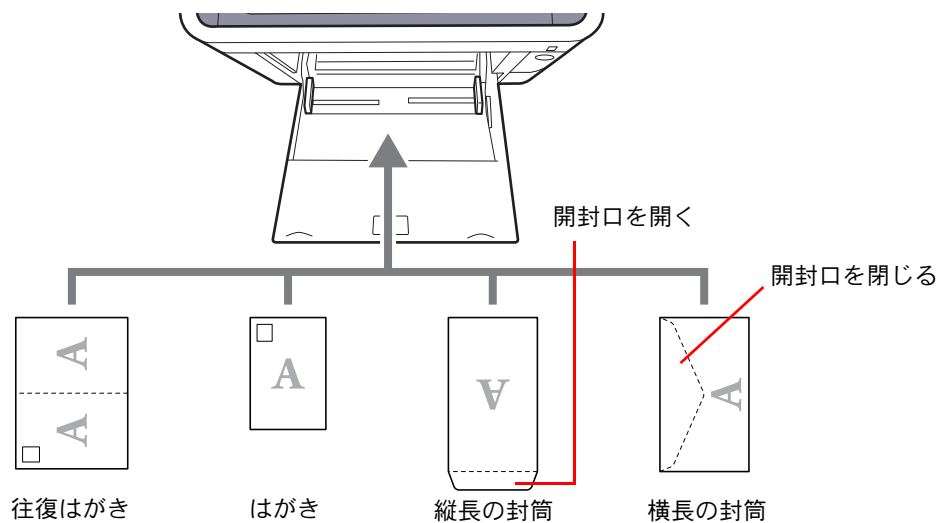
➡ [手差しトレイの用紙サイズと用紙種類 \(3-12ページ\)](#)

はがき、封筒をセットするとき

印刷する面を上にしてセットします。印刷のしかたについては、次を参照してください。

▶ プリンタードライバー操作手順書

例) 宛名を印刷する場合



✔ 重要

- 往復はがきは折られていないものをセットしてください。
- 封筒の補給のしかた(向き、裏表)は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

💡 参考

手差しトレイに封筒を補給するときは、封筒の種類を設定してください。

▶ [手差しトレイの用紙サイズと用紙種類 \(3-12ページ\)](#)

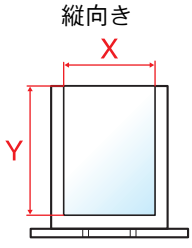
用紙サイズと用紙種類の設定

カセット1および手差しトレイ、オプションのペーパーフィーダー（カセット2～4）は、工場出荷時に用紙サイズが「A4」、用紙種類が「普通紙」に設定されています。

使用する用紙を変更するときは、用紙サイズと用紙種類の設定を行ってください。

カセットの用紙サイズと用紙種類

カセットで使用する用紙のサイズと種類を設定します。

項目	説明
カセット1(～4) 用紙サイズ ^{*1}	カセット1～4で使用する用紙サイズを選択します。 設定値 カセット1: Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、A6、B6、ISO B5、カスタム、Oficio II、216 × 340 mm、16K、Statement、Folio カセット2～4: Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、B6、Envelope #9、Envelope #6、ISO B5、カスタム、Oficio II、216 × 340 mm、16K、Statement、Folio、洋形2号、洋形4号 カスタムを選択した場合、カセット1～4で使用するカスタムサイズを登録します。 設定値 カセット1: センチ X: 105～216 mm (1 mm単位) Y: 148～356 mm (1 mm単位) インチ X: 4.13～8.50" (0.01"単位) Y: 5.83～14.02" (0.01"単位) カセット2～4: センチ X: 92～216 mm (1 mm単位) Y: 162～356 mm (1 mm単位) インチ X: 3.62～8.50" (0.01"単位) Y: 6.38～14.02" (0.01"単位) X=長さ、Y=幅 
カセット1(～4) 用紙種類 ^{*2}	カセット1～4で使用する用紙種類を選択します。 設定値 カセット1: 普通紙 (60～105 g/m²)、プレプリント、ボンド紙、再生紙、薄紙 (60～105 g/m²)、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、厚紙 (106～163 g/m²)、上質紙、カスタム1～8 カセット2～4: 普通紙 (60～105 g/m²)、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙 (60～105 g/m²)、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、加工紙、厚紙 (106～220 g/m²)、上質紙、カスタム1～8

*1 カセットのサイズダイヤルを「Other」に合わせているときのみ設定します。

*2 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、以下を参照してください。

➡ [種類の属性について \(7-8ページ\)](#)

用紙種類の設定で、用紙の重さがカセットから給紙できない重さに設定されている場合、用紙種類は表示されません。

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [用紙の設定] > [▶]キー

2 用紙サイズを設定する

1 [▲][▼]キー > [カセット1(～4)用紙サイズ] > [OK]キー



参考

[カセット2]～[カセット4]は、オプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。

2 用紙サイズを選択して、[OK]キーを選択します。

[カスタム]を選んだ場合は、次の手順で用紙の幅と長さを設定してください。

3 「カセット1(～4)用紙サイズ」で、[▶]キー > [▲][▼]キー > [単位] > [OK]キー

4 用紙サイズの単位を選択して、[OK]キーを選択します。

5 [▲][▼]キー > [幅] > [OK]キー

6 用紙の長さ(X)を入力して、[OK]キーを選択します。



参考

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

7 [▲][▼]キー > [長さ] > [OK]キー

8 用紙の長さ(Y)を入力して、[OK]キーを選択します。



参考

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

9 用紙サイズに[カスタム]を選んだ場合は、[◀]キーを選択します。

3 用紙種類を設定する

1 [▲][▼]キー > [カセット1(～4)用紙種類] > [OK]キー



参考

[カセット2]～[カセット4]は、オプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。

2 用紙種類を選択して、[OK]キーを選択します。

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類

手差しトレイで使用する用紙のサイズと種類を設定します。

項目	説明
手差しトレイ 用紙サイズ	手差しトレイで使用する用紙サイズを選択します。 設定値: Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、A6、B6、Envelope #9、Envelope #6、ISO B5、カスタム、はがき、往復はがき、Oficio II、216 × 340 mm、16K、Statement、Folio、洋形2号、洋形4号
手差しトレイ 用紙種類 ^{*1}	手差しトレイで使用する用紙種類を選択します。 設定値: 普通紙 (60～105 g/m ²)、OHPフィルム、プレプリント、ラベル紙、ポンド紙、再生紙、薄紙 (60～105 g/m ²)、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、加工紙、厚紙 (106～220 g/m ²)、上質紙、カスタム1～8

^{*1} 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、以下を参照してください。

➡ [種類の属性について \(7-8ページ\)](#)

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [用紙の設定] > [▶]キー

2 用紙サイズを設定する

1 [▲][▼]キー > [手差しトレイ 用紙サイズ] > [OK]キー

2 用紙サイズを選択して、[OK]キーを選択します。

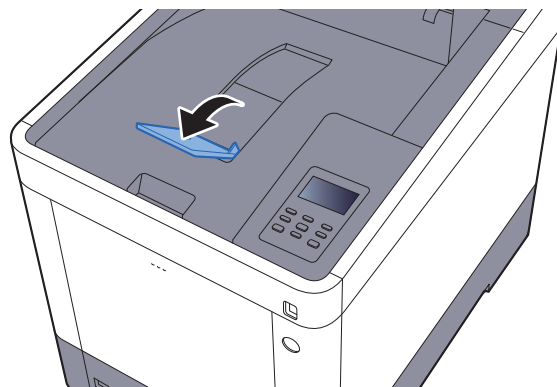
3 用紙種類を設定する

1 [▲][▼]キー > [手差しトレイ 用紙種類] > [OK]キー

2 用紙種類を選択して、[OK]キーを選択します。

排紙ストッパー

A4/Letter以上の用紙を使用するときは、排紙ストッパーを図のように開いてください。



4 パソコンからの印刷

この章では、次の項目について説明します。

パソコンから印刷する	4-2
不定形サイズ of 用紙に印刷する	4-4
プリンタードライバーの印刷設定画面について	4-5
プリンタードライバーのヘルプの見かた	4-6
プリンタードライバーの初期設定値を変更する (Windows 8.1 の場合)	4-6
パソコンで印刷を中止する	4-6
AirPrint で印刷	4-7
Google Cloud Print で印刷	4-7
Mopria で印刷	4-7
Wi-Fiダイレクトで印刷	4-7
本体に保存したデータを印刷する	4-8
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する	4-8
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する	4-9
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する	4-11
クイックコピーボックスからジョブを印刷する	4-13
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する	4-15
ジョブボックス設定	4-17
ステータスモニター	4-18
ステータスモニターの起動	4-18
ステータスモニターの終了	4-18
ステータスモニターの表示	4-18

パソコンから印刷する

パソコンで作成した文書を本機で印刷します。

参考

- パソコンで作成した文書を本機で印刷するには、DVD (Product Library) を使って、パソコンにプリンタードライバをインストールする必要があります。
- お使いの環境によっては、プリンタードライバの下部に現在の設定値が表示されることがあります。



- はがきや封筒を印刷する場合は、本機の手差しトレイにはがきや封筒をセットしてから操作を行ってください。

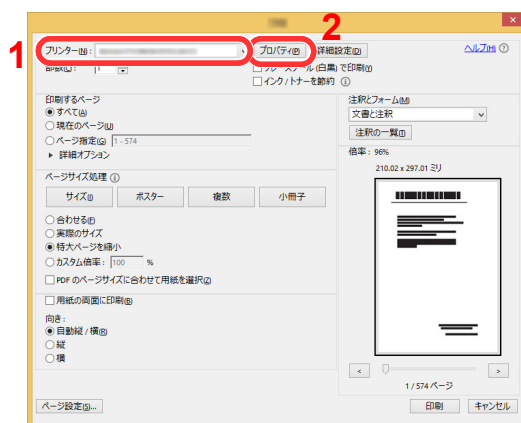
➡ [はがき、封筒をセットするとき \(3-9ページ\)](#)

1 画面を表示する

[ファイル] をクリックし、[印刷] を選択します。

2 設定する

- 1 「プリンター」メニューから本機を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



2 [基本設定]タブを選択します。

3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、印刷する用紙サイズを選択します。

はがきや封筒など、本機の出力用紙サイズにない用紙サイズをセットしたときは、用紙サイズを登録する必要があります。

➡ [不定形サイズの用紙に印刷する \(4-4ページ\)](#)

厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。



4 [OK]ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

3 印刷を開始する

[OK]ボタンをクリックします。

不定形サイズ of 用紙に印刷する

本機 of 出力用紙サイズにはない用紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバー of 印刷設定画面にある[基本設定]タブで用紙サイズを登録します。

登録したサイズは、「出力用紙サイズ」メニューから選択できるようになります。



参考

本機を操作して印刷する場合は、用紙 of サイズと種類を設定してください。

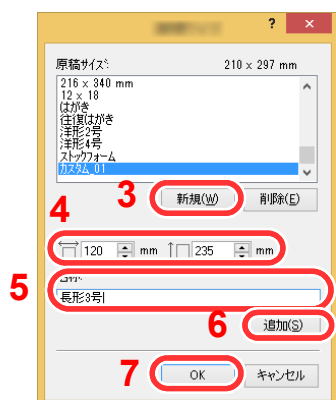
➔ [手差しトレイ of 用紙サイズと用紙種類 \(3-12ページ\)](#)

1 印刷設定画面を表示する

2 登録する



- 1 [基本設定]タブをクリックします。
- 2 [原稿サイズ]ボタンをクリックします。
- 3 [新規]ボタンをクリックします。
- 4 用紙サイズを入力します。
- 5 用紙 of 名前を入力します。
- 6 [追加]ボタンをクリックします。
- 7 [OK]ボタンをクリックします。
- 8 「出力用紙サイズ」メニューで手順4～7で登録した原稿サイズ(名)を選択します。
- 9 「用紙種類」メニューで用紙 of 種類を選択します。
- 10 「給紙元」メニューで[手差しトレイ]を選択します。



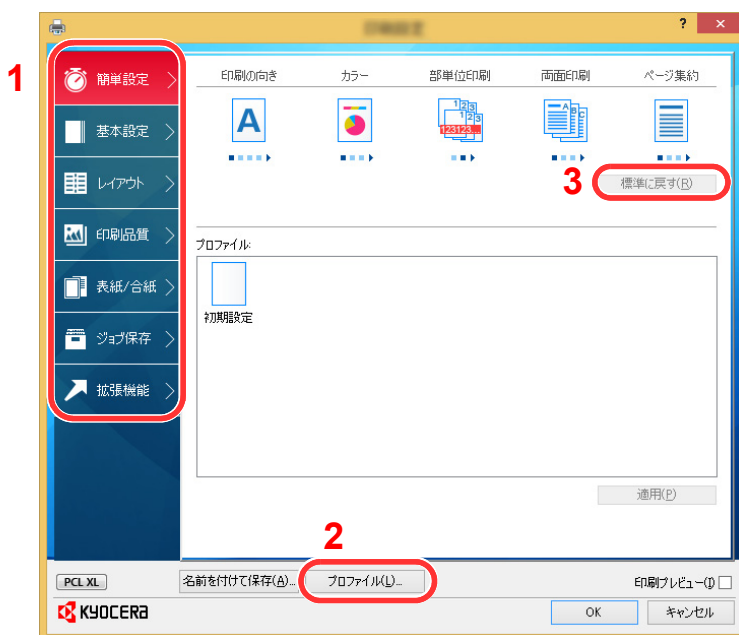
参考

はがきまたは封筒をセットした場合は、「用紙種類」メニューで[はがき]または[封筒]を選択してください。

プリンタードライバーの印刷設定画面について

プリンタードライバーの印刷設定画面では、印刷に関するさまざまな設定ができます。

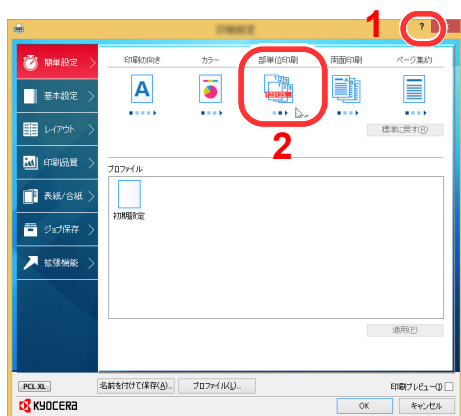
▶ プリンタードライバー操作手順書



No.	説明
1	【簡単設定】タブ よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。アイコンをクリックするごとに印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。  【基本設定】タブ よく使う基本的な機能がまとめられたタブです。用紙のサイズや両面印刷の設定ができます。 【レイアウト】タブ ブックレット印刷、ページ集約、ポスター印刷、変倍などさまざまなレイアウトで印刷するための設定ができます。 【印刷品質】タブ 印刷結果の品質に関する設定ができます。 【表紙/合紙】タブ 印刷ジョブ用に表紙や合紙を作成したり、OHPフィルムの間に合紙を挿入できます。 【ジョブ保存】タブ 印刷データをパソコンから本機に保存するための設定ができます。定期的に使う文書などを本機に保存しておくことで簡単に印刷できるので便利です。保存した文書は本機の操作で印刷するため、見られたくない文書を印刷する際などにも便利です。 【拡張機能】タブ 印刷データにテキストページやウォーターマーク(すかし文字)を付加するための設定ができます。
2	【プロファイル】 プリンタードライバーの設定内容をプロファイルとして保存できます。保存したプロファイルはいつでも呼び出すことができるので、よく使用する設定を保存しておくことで便利です。
3	【標準に戻す】 クリックすると設定内容を初期値に戻すことができます。

プリンタードライバーのヘルプの見かた

プリンタードライバーにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、次の方法でヘルプを表示することができます。



- 1 設定画面右上の[?]ボタンをクリックし、続けて知りたい設定項目をクリックします。
- 2 知りたい設定項目をクリックした後キーボードの[F1]キーを押します。

プリンタードライバーの初期設定値を変更する(Windows 8.1の場合)

プリンタードライバーの初期設定値は変更することができます。よく使う機能を設定しておくことで、印刷時の操作を省略することができます。設定項目については、次を参照してください。

➡ プリンタードライバー操作手順書

- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]をクリックする
- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックする
- 3 [全般]タブの[基本設定]ボタンをクリックする
- 4 初期設定値を設定し、[OK]ボタンをクリックする

パソコンで印刷を中止する

プリンタードライバーで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行ってください。



参考

本機で印刷を中止する場合は、次を参照してください。

➡ [ジョブのキャンセル \(5-2ページ\)](#)

- 1 Windows画面右下のタスクバーに表示されるプリンターアイコン()をダブルクリックして、ダイアログボックスを表示します。
- 2 印刷を中止したいファイルをクリックし、「ドキュメント」メニューから[キャンセル]を選択します。

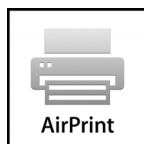
AirPrintで印刷

AirPrintは、iOS 4.2以降またはMac OS X 10.7以降の製品に標準で搭載されている印刷機能です。

プリンタードライバーをインストールしていなくても、本機に接続し、印刷できます。

AirPrintで印刷するとき、本機を識別するために、Command Center RXから機器の位置情報を設定できます。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)



Google Cloud Printで印刷

Google Cloud Printは、Google社が提供するプリンタードライバー不要のプリントサービスです。Googleアカウントのユーザーがインターネットに接続された機器から印刷できるサービスです。

機器の設定はCommand Center RXで行います。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)



Google Cloud Printを利用するためには、Googleアカウントが必要です。お持ちでない場合は、Googleアカウントを取得してください。

またGoogle Cloud Printサービスに、機器を事前に登録する必要があります。機器の登録は、同じネットワークに接続されているパソコンで行います。

Mopriaで印刷

Mopria(モプリア)は、Android 4.4以降でサポートが開始された印刷機能の規格です。事前にMopria Print Serviceがインストールされ、有効化されている必要があります。

詳しい使用方法については、Mopria AllianceのWebサイトを参照してください。

Wi-Fiダイレクトで印刷

Wi-Fiダイレクトは、Wi-Fi Allianceが定めた無線LAN規格です。無線LANの機能の一つで、無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを介さずに、機器同士が一对一で直接通信できます。

Wi-Fiダイレクトで印刷する手順は、通常の携帯端末からの手順と同じです。

プリンタープロパティのポート指定でプリンター名またはBonjour名を使用する場合は、Wi-Fiダイレクト接続時でもその名称を指定して印刷できます。

ポートにIPアドレスを使用する場合は、本体側のIPアドレスを指定してください。

本体に保存したデータを印刷する

プリンタードライバーの[ジョブ保存]タブで設定を行い印刷すると、ジョブボックス(メモリー)に印刷データが保存され、本体側の操作で印刷を実行することができます。

ジョブボックスを使用するときは、次の流れで操作してください。

パソコンからジョブボックスを指定して印刷ジョブを送信する。[\(4-8ページ\)](#)



操作パネルからボックス内のファイルを指定して印刷する。

次のボックスから印刷できます。

- ➡ プライベートプリントボックス [\(4-9ページ\)](#)
- ➡ ジョブ保留ボックス [\(4-11ページ\)](#)
- ➡ クイックコピーボックス [\(4-13ページ\)](#)
- ➡ 試し刷り後保留ボックス [\(4-15ページ\)](#)

パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する

ジョブボックスにデータを保存する場合は、次の手順で行います。

- 1 アプリケーションソフトの[ファイル]をクリックし、[印刷]を選んでください。印刷ダイアログボックスが表示されます。
- 2 名前の[▼]ボタンをクリックして、リストから本機を選んでください。
- 3 [プロパティ]ボタンをクリックしてください。プロパティダイアログボックスが表示されます。
- 4 [ジョブ保存]タブをクリックし、[ジョブ拡張機能]のチェックボックスにチェックを入れて機能を設定してください。



参考

- ジョブ保留ボックスとクイックコピーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。
 - プリンタードライバーの操作方法は、次を参照してください。
- ➡ [プリンタードライバー操作手順書](#)

プライベートプリントボックスからジョブを印刷する

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーションソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバーで4桁のアクセスコードを指定してください。ジョブは機密性を確保するため、操作パネルでアクセスコードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源スイッチを切ったとき、データは消去されます。

プライベートプリントボックスでできる主な作業は次のとおりです。

- ➡ [文書を印刷する \(4-9ページ\)](#)
- ➡ [文書を削除する \(4-10ページ\)](#)

文書を印刷する

プライベートプリントボックスに保存されている文書を印刷することができます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [プライベート/ジョブ保留] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択します。
[すべての文書] > [▲][▼]キー > [OK]キー

[すべての文書]を選択すると、プライベートプリントおよびジョブ保留の文書は一括して処理されます。
- 2 印刷部数を入力して、[OK]キーを選択します。
印刷を開始します。
印刷が終了すると、プライベート/ジョブ保留のデータは自動で消去されます。

参考

- 文書にアクセスコードを設定している場合は、アクセスコードの入力画面が表示されます。矢印キーでアクセスコードを入力し、[OK]キーを選択してください。
- [すべての文書]を選択した場合、アクセスコードがどの文書とも一致しない、かつアクセスコードが設定されていない文書が存在しない場合のみ、「IDが違います」と表示されます。
- [すべての文書]を選択した場合、「部数 ---」の表示後、[▲]キーを選択して印刷枚数を設定してください。

文書を削除する

プライベートプリントボックスに保存されている文書を削除できます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [プライベート/ジョブ保留] > [OK]キー

- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択します。

[すべての文書] > [▲][▼]キー > [OK]キー

[すべての文書]を選択すると、プライベートプリントおよびジョブ保留の文書は一括して処理されます。

- 2 [削除]を表示します。

「部数」が表示されている場合、[▼]キーを選択すると、[削除]が表示されます。

- 3 [OK]キーを選択します。

文書が削除されます。



参考

- 文書にアクセスコードを設定している場合は、アクセスコードの入力画面が表示されます。矢印キーでアクセスコードを入力し、[OK]キーを選択してください。
- [すべての文書]を選択した場合、アクセスコードがどの文書とも一致しない、かつアクセスコードが設定されていない文書が存在しない場合のみ、「IDが違います」と表示されます。

ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する

ジョブ保留は、アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存します。必要に応じて、アクセスコードを設定することができます。アクセスコードを設定した場合は、印刷時にアクセスコードを入力してください。印刷データは、印刷後本機の内部メモリーに保存されます。繰り返し同じデータを印刷することができます。

ジョブ保留ボックスでできる主な作業は次のとおりです。

➡ [文書を印刷する \(4-11ページ\)](#)

➡ [文書を削除する \(4-12ページ\)](#)

文書を印刷する

ジョブ保留ボックスに保存されている文書を印刷することができます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [プライベート/ジョブ保留] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択します。
[すべての文書] > [▲][▼]キー > [OK]キー
[すべての文書]を選択すると、プライベートプリントおよびジョブ保留の文書は一括して処理されます。
- 2 印刷部数を入力して、[OK]キーを選択します。
印刷を開始します。

参考

- 文書にアクセスコードを設定している場合は、アクセスコードの入力画面が表示されます。矢印キーでアクセスコードを入力し、[OK]キーを選択してください。
- [すべての文書]を選択した場合、アクセスコードがどの文書とも一致しない、かつアクセスコードが設定されていない文書が存在しない場合のみ、「IDが違います」と表示されます。
- [すべての文書]を選択した場合、「部数 ---」の表示後、[▲]キーを選択して印刷枚数を設定してください。

文書を削除する

ジョブ保留ボックスに保存されている文書を削除できます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [プライベート/ジョブ保留] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択します。
[すべての文書] > [▲][▼]キー > [OK]キー

[すべての文書]を選択すると、プライベートプリントおよびジョブ保留の文書は一括して処理されます。
- 2 [削除]を表示します。
「部数」が表示されている場合、[▼]キーを選択すると、[削除]が表示されます。
- 3 [OK]キーを選択します。
文書が削除されます。



参考

- 文書にアクセスコードを設定している場合は、アクセスコードの入力画面が表示されます。矢印キーでアクセスコードを入力し、[OK]キーを選択してください。
- [すべての文書]を選択した場合、アクセスコードがどの文書とも一致しない、かつアクセスコードが設定されていない文書が存在しない場合のみ、「IDが違います」と表示されます。

クイックコピーボックスからジョブを印刷する

クイックコピーは、一度印刷した文書を追加印刷する機能です。パソコンからクイックコピーを有効にして文書を印刷すると、同時に印刷データがこのボックスに保存されます。保存できる最大文書数は、工場出荷時は32件です。データは電源スイッチを切ると消去されます。



参考

- 最大文書数を超えて文書を保存すると、古い文書から順に新しい文書が上書きされます。
- ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。

➡ [クイックコピーの個数 \(4-17ページ\)](#)

クイックコピーボックスでできる主な作業は次のとおりです。

➡ [文書を印刷する \(4-13ページ\)](#)

➡ [文書を削除する \(4-14ページ\)](#)

文書を印刷する

クイックコピーボックスに保存されている文書を印刷することができます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [クイックコピージョブ] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択します。
[すべての文書] > [▲][▼]キー > [OK]キー

[すべての文書]を選択すると、クイックコピーおよび試し刷り後、保留モードの文書は一括して処理されます。
- 2 印刷部数を入力して、[OK]キーを選択します。
印刷を開始します。



参考

[すべての文書]を選択した場合、[▲]キーを選択して印刷枚数を設定してください。印刷ジョブに設定されている部数で印刷する場合、「部数 ---」を選択してください。

文書を削除する

クイックコピーボックスに保存されている文書を削除できます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [クイックコピージョブ] > [OK]キー

- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択します。

[すべての文書] > [▲][▼]キー > [OK]キー

[すべての文書]を選択すると、クイックコピーおよび試し刷り後、保留モードの文書は一括して処理されます。

- 2 [削除]を表示します。

「部数」が表示されている場合、[▼]キーを選択すると、[削除]が表示されます。

- 3 [OK]キーを選択します。

文書が削除されます。

試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、操作パネルの操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

試し刷り後保留ボックスでできる主な作業は次のとおりです。

➡ [文書を印刷する \(4-15ページ\)](#)

➡ [文書を削除する \(4-16ページ\)](#)

文書を印刷する

試し刷り後保留ボックスに保存されている文書を印刷することができます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [クイックコピージョブ] > [OK]キー

2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を印刷する

1 印刷する文書を選択します。

[すべての文書] > [▲][▼]キー > [OK]キー

[すべての文書]を選択すると、クイックコピーおよび試し刷り後、保留モードの文書は一括して処理されます。

2 印刷部数を入力して、[OK]キーを選択します。

印刷を開始します。



[すべての文書]を選択した場合、[▲]キーを選択して印刷枚数を設定してください。印刷ジョブに設定されている部数で印刷する場合、「部数 ---」を選択してください。

文書を削除する

試し刷り後保留ボックスに保存されている文書を削除できます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [クイックコピージョブ] > [OK]キー

- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択します。

[すべての文書] > [▲][▼]キー > [OK]キー

[すべての文書]を選択すると、クイックコピーおよび試し刷り後、保留モードの文書は一括して処理されます。

- 2 [削除]を表示します。

「部数」が表示されている場合、[▼]キーを選択すると、[削除]が表示されます。

- 3 [OK]キーを選択します。

文書が削除されます。

ジョブボックス設定

ジョブボックスに関する設定を行います。

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス詳細設定] > [▶]キー

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
クイックコピーの個数	ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。 設定値:0 ～300の範囲  参考 0を設定するとクイックコピーは使用できません。
削除	ジョブボックスのプライベートプリント、クイックコピー、試し刷り後保留の一時保存文書を、保存した一定時間後に自動的に消去するように設定します。 設定値:オフ、1 時間、4 時間、1 日、1 週間  参考 この機能は、設定後に保存した文書に有効です。この機能の設定に関わらず、電源スイッチを切ると一時保存文書は消去されます。
保存先	データを保存するメディアを選択することができます。 設定値:SSD、SDカード  参考 オプションのSSDとSDカードが装着されていない場合、この設定は表示されません。

ステータスマニター

ステータスマニターは、プリンターの状態を監視し、報告する機能を備えています。

参考

ステータスマニターを起動する場合は、以下の内容を確認してください。

- KX Driverがインストールされている。
- セキュリティーで[Enhanced WSD]か、[EnhancedWSD(SSL)]が[オン]に設定されている。

➡ [セキュリティ \(7-25ページ\)](#)

ステータスマニターの起動

印刷を開始すると、同時にステータスマニターも起動します。

ステータスマニターの終了

ステータスマニターは、次のいずれかの方法で終了します。

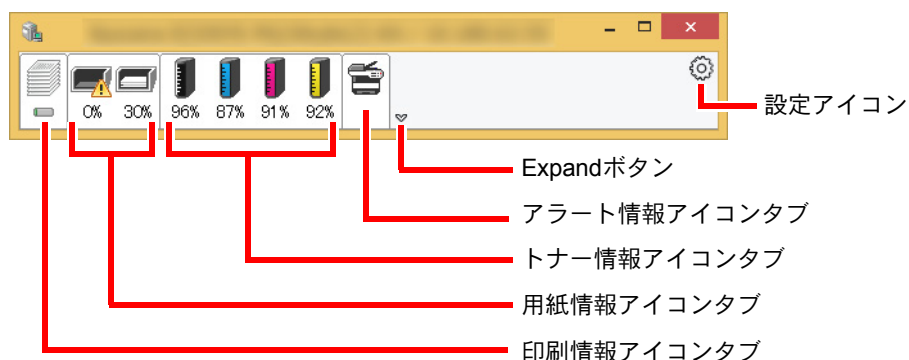
- 手動による終了:
設定アイコンをクリックしてメニューを表示し、アプリケーションの終了を選択するとステータスマニターが終了します。
- 自動的に終了:
操作を行わない状態で7分経過すると、ステータスマニターが自動的に終了します。

ステータスマニターの表示

ステータスマニターの表示は次のとおりです。

Quick View State

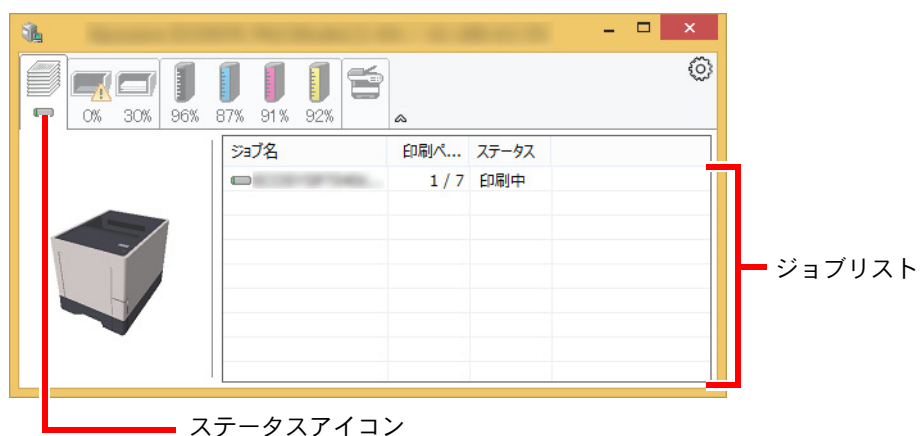
プリンターの状態がアイコンで表示されます。Expandボタンをクリックすると詳細情報を表示します。



各アイコンタブをクリックすると、各詳細情報が表示されます。

印刷情報アイコンタブ

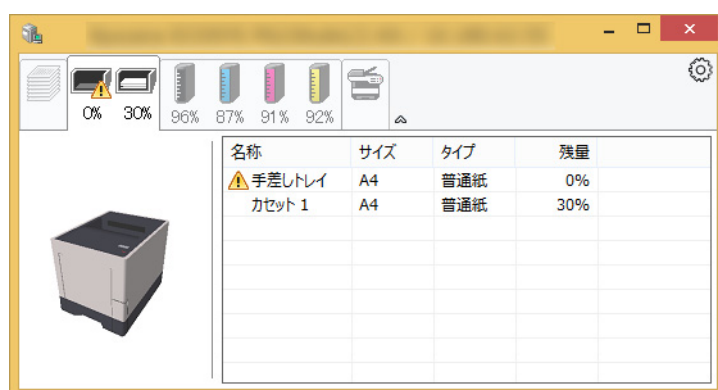
印刷ジョブの状況が表示されます。



ジョブリストでジョブを選択し、右クリックで表示されるメニューでキャンセルできます。

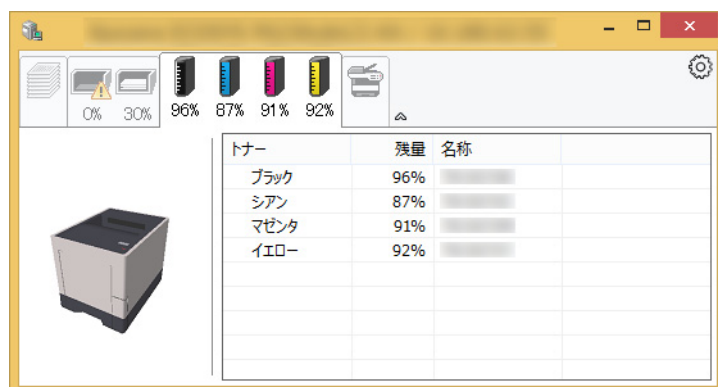
用紙情報アイコンタブ

プリンターにセットされている用紙の情報と用紙残量が表示されます。



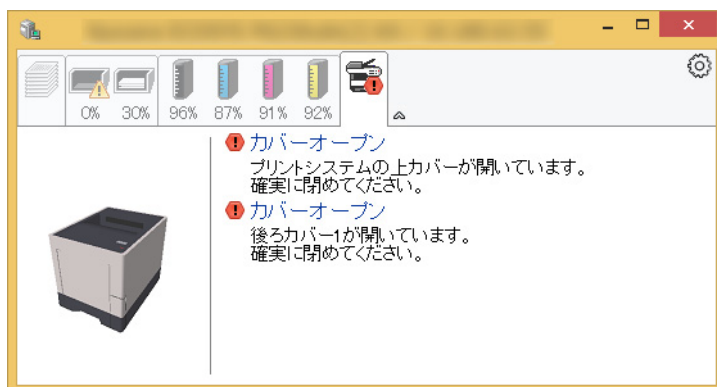
トナー情報アイコンタブ

トナー残量が表示されます。



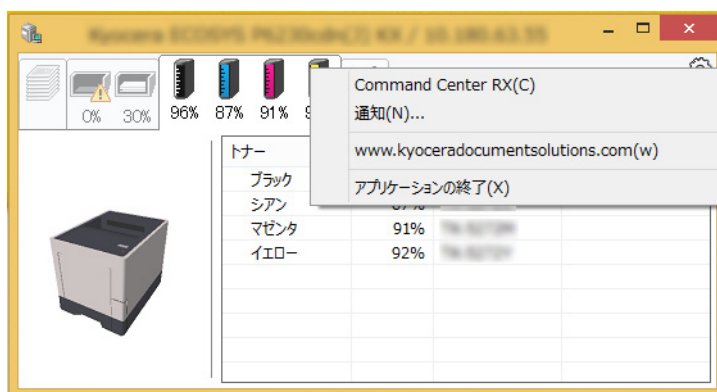
アラート情報アイコンタブ

エラーが発生した場合、3Dイメージとメッセージでお知らせが表示されます。



ステータスマニターコンテキストメニュー

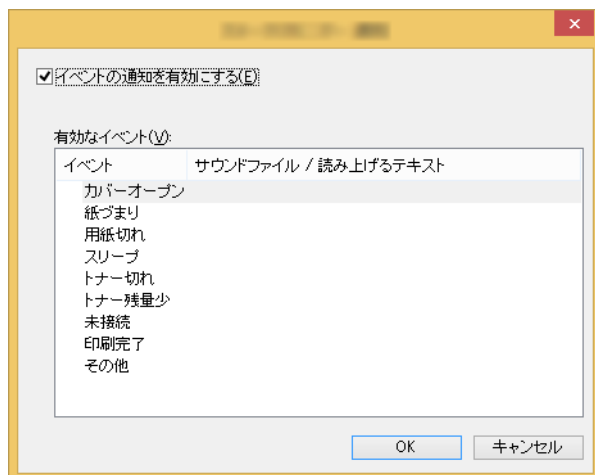
設定アイコンをクリックすると、以下のメニューが表示されます。



- **Command Center RX**
TCP/IPネットワーク環境で接続し、IPアドレスを所有している場合、Webブラウザを使ってCommand Center RXにアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。このメニューはUSB接続の場合は表示されません。
➡ [Command Center RX操作手順書](#)
- **通知**
ステータスマニターの表示の設定を行います。
➡ [ステータスマニター通知設定 \(4-21ページ\)](#)
- **www.kyoceradocumentsolutions.com**
弊社のホームページを開きます。
- **アプリケーションの終了**
ステータスマニターが終了します。

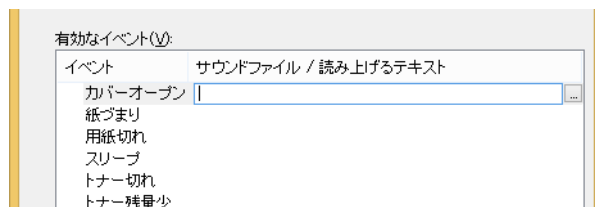
ステータスマニター通知設定

ステータスマニターの設定とイベントリストの内容が表示されます。



イベントリストに該当するエラーが発生した場合、通知を行うかどうかを設定します。

- 1 イベントの通知を有効にするを選択します。**
この設定をオフにすると、印刷を実行しても、ステータスマニターが起動しません。
- 2 有効なイベントリストから音声で通知するイベントを選択します。**
- 3 サウンドファイル/読み上げるテキスト欄をクリックします。**
ブラウズ(...)ボタンをクリックして、ファイルを指定します。



参考

使用できるファイルの形式はWAVファイルです。

画面に読み上げるテキストを作成する場合は、テキストボックスにテキストを入力してください。

5 本体側の操作

この章では、次の項目について説明します。

ジョブのキャンセル	5-2
文書ボックスとは	5-3
ユーザーボックスの使いかた	5-5
ボックスを作成する(新規作成)	5-5
ボックスの変更と削除	5-5
文書を保存する(文書保存)	5-5
文書を印刷する(印刷)	5-6
文書を編集する	5-6
文書を削除する	5-7
リストを印刷する	5-8
USBメモリーからの印刷	5-9
USBメモリーの取り外しかた	5-11

ジョブのキャンセル

[キャンセル]キーを選択してジョブをキャンセルすることができます。

- 1** メッセージディスプレイに「データ処理中です」が表示されていることを確認して、[キャンセル]キーを選択する。

「？」が表示され、現在のジョブ名が表示されます。

- 2** キャンセルする

中止したいジョブを選択して、[OK]キーを選択します。

ジョブは中止されます。

文書ボックスとは

文書ボックスでは、文書を保存して再利用したり、複数のユーザーで文書を共有したりできます。

文書ボックスには次の種類があります。

ユーザーボックス(5-5ページ)

文書ボックス内に作成し、再利用するデータを保存するための汎用ボックスです。ユーザーボックス内には、ユーザーがボックスを作成したり削除したりできます。ユーザーボックスでできる主な作業は次のとおりです。

- ➡ [ボックスを作成する\(新規作成\) \(5-5ページ\)](#)
- [文書を保存する\(文書保存\) \(5-5ページ\)](#)
- [文書を印刷する\(印刷\) \(5-6ページ\)](#)
- [文書を編集する \(5-6ページ\)](#)
- [文書を削除する \(5-7ページ\)](#)
- [リストを印刷する \(5-8ページ\)](#)



参考

ユーザーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。

ジョブボックス

パソコンから実行したジョブを保存するためのボックスです。



参考

- ・ジョブボックスの一時保存文書を自動的に消去するように設定できます。

- ➡ [削除 \(4-17ページ\)](#)

- ・ジョブボックスの操作については、次を参照してください。

- ➡ [本体に保存したデータを印刷する \(4-8ページ\)](#)

プライベートプリント/ジョブ保留ボックス(4-9ページ、4-11ページ)

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーションソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバで4桁のアクセスコードを指定してください。ジョブは機密性を確保するため、操作パネルでアクセスコードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源スイッチを切ったとき、データは消去されます。

ジョブ保留は、アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存します。必要に応じて、アクセスコードを設定することができます。アクセスコードを設定した場合は、印刷時にアクセスコードを入力してください。印刷データは、印刷後ボックスに保存されます。繰り返し同じデータを印刷することができます。

クイックコピー/試し刷り後保留ボックス(4-13ページ、4-15ページ)

クイックコピーは、一度印刷した文書を追加印刷する機能です。パソコンからクイックコピーを有効にして文書を印刷すると、同時に印刷データがこのボックスに保存されます。再度印刷が必要になったときに、操作パネルの操作で印刷することができます。保存できる最大文書数は、工場出荷時は32件です。データは電源スイッチを切ると消去されます。



参考

最大文書数を超えて文書を保存すると、古い文書から順に新しい文書が上書きされます。

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、操作パネルの操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

外部メモリーボックス([5-9ページ](#))

USBメモリーを本機のUSBメモリースロットに接続し、保存されているデータを印刷できます。パソコンを使うことなく手軽に印刷できます。

ユーザーボックスの使いかた

ユーザーボックスは、文書ボックス内に作成し、再利用するデータを保存するための汎用ボックスです。ユーザーボックス内には、ユーザーがボックスを作成したり削除したりできます。

ユーザーボックスでできる主な作業は次のとおりです。

- ▶ [ボックスを作成する\(新規作成\) \(5-5ページ\)](#)
[文書を保存する\(文書保存\) \(5-5ページ\)](#)
[文書を印刷する\(印刷\) \(5-6ページ\)](#)
[文書を編集する \(5-6ページ\)](#)
[文書を削除する \(5-7ページ\)](#)
[リストを印刷する \(5-8ページ\)](#)



参考

ユーザーボックスでできる主な作業は、Command Center RXでも行えます。

- ▶ [Command Center RX操作手順書](#)

ボックスを作成する(新規作成)

ユーザーボックスの作成はCommand Center RXで行います。

- ▶ [Command Center RX操作手順書](#)

ボックスの変更と削除

ユーザーボックスの変更と削除はCommand Center RXで行います。

- ▶ [Command Center RX操作手順書](#)

文書を保存する(文書保存)

ユーザーボックスには、パソコンから送られてきた印刷データが登録されます。パソコン側の印刷操作は、次を参照してください。

- ▶ [プリンタードライバー操作手順書](#)

文書を印刷する(印刷)

ユーザーボックスの文書を印刷する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザーボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ボックスの選択] > [OK]キー
- 2 印刷する文書があるボックスを選択して、[OK]キーを選択します。
- 3 [▶]キーを選択します。



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 印刷する

- 1 印刷する文書を選択して、[OK]キーを選択します。
すべての文書を印刷する場合は、[すべての文書を印刷]を選択して、[OK]キーを選択します。
- 2 印刷部数を選択して、[OK]キーを選択します。
印刷枚数は、001～999の範囲で選択できます。
- 3 希望する給紙元を選択して、[OK]キーを選択します。
- 4 静音モードを設定します。
[▲][▼]キー > [オフ]または[オン] > [OK]キー
➡ [静音モード \(6-3ページ\)](#)
- 5 印刷後削除を設定します。
[▲][▼]キー > [オフ]または[オン] > [OK]キー
[オン]を選択すると、印刷後にデータは自動で消去されます。
➡ [印刷後削除 \(6-3ページ\)](#)
選択した文書の印刷が開始されます。

文書を編集する

ユーザーボックスに保存されている文書の編集はCommand Center RXで行います。

- ➡ [Command Center RX操作手順書](#)

文書を削除する

ユーザーボックスの文書を削除する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザーボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ボックスの選択] > [OK]キー
- 2 削除する文書があるボックスを選択して、[OK]キーを選択します。
- 3 [▶]キーを選択します。



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択 > [OK]キー
[OK]キーを選択して確定します。
すべての文書を削除する場合は、[すべての文書を削除] > [OK]キー
- 2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー
文書が削除されます。



参考

「部数 001」が表示されている場合に[▼]キーを押す、あるいは「部数 999」が表示されている場合に[▲]キーを押すと、[削除]が表示されます。

リストを印刷する

文書リストを印刷する

選択したユーザーボックス内にある文書リストを印刷します。操作手順は次の通りです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザーボックス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ボックスの選択] > [OK]キー
- 2 文書リストを印刷したいボックスを選択して、[OK]キーを選択します。
- 3 [▶]キーを選択します。



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 印刷する

[▲][▼]キー > [ファイルリストの印刷] > [OK]キー > [OK]キー
選択したユーザーボックス内にある文書のリストを印刷します。

ボックスリストを印刷する

ユーザーボックスのリストを印刷します。操作手順は次の通りです。

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザーボックス] > [▶]キー

2 印刷する

[▲][▼]キー > [ボックスリストの印刷] > [OK]キー > [OK]キー
ユーザーボックスのリストを印刷します。

USBメモリーからの印刷

USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されているデータをパソコンを使うことなく手軽に印刷できます。

印刷可能なデータは、以下のとおりです。

PDFファイル(バージョン 1.7以下)

TIFFファイル(TIFF V6/TTN2形式)

JPEGファイル

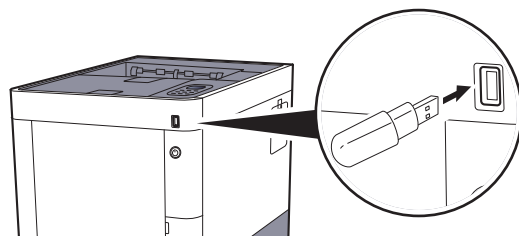
XPSファイル

OpenXPSファイル

- 印刷するPDFファイルには拡張子(.pdf)が必要です。
- 印刷するファイルは、ルートディレクトリーを含め、3階層までのフォルダーに保存してください。
- USBメモリーは、本機のUSBメモリースロットに直接挿入してください。

1 USBメモリーを接続する

USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



文書を印刷する

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [USBメモリー] > [▶]キー

2 文書を印刷する

1 [▲][▼]キー > [ファイルの印刷] > [OK]キー > [OK]キー

2 ファイルを選択して、[OK]キーを選択します。

3 [OK]キーを選択します。

4 印刷部数を選択して、[OK]キーを選択します。

印刷枚数は、001～999の範囲で選択できます。

5 希望する給紙元を選択して、[OK]キーを選択します。

6 静音モードを設定します。

[▲][▼]キー > [オフ]または[オン] > [OK]キー

➡ [静音モード \(6-3ページ\)](#)

選択した文書の印刷が開始されます。

リストを印刷する

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [USBメモリー] > [▶]キー

2 印刷する

[▲][▼]キー > [ファイルリストの印刷] > [OK]キー > [OK]キー

USBメモリー内にあるファイルのリストを印刷します。

USBメモリーの取り外しかた

USBメモリーの取り外しは、次の手順で行ってください。

 重要

正しい手順で取り外さないと、データやUSBメモリーが破損するおそれがあります。

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [USBメモリー] > [▶]キー

2 取り外しを選択する

[▲][▼]キー > [デバイスの取り外し] > [OK]キー > [OK]キー

3 USBメモリーを取り外す

6 さまざまな機能を使う

この章では、次の項目について説明します。

本機に用意されている機能	6-2
各機能について	6-3
静音モード	6-3
印刷後削除	6-3

本機に用意されている機能

各機能の詳細については、次の表を参照してください。

機能	説明	参照ページ
静音モード	本機の動作音を抑えることができます。	6-3ページ
印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。	6-3ページ

各機能について

静音モード

本機の動作音を抑えることができます。

動作音が気になる場合は設定してください。

各機能で静音モードを使用する設定ができます。

(設定値:[オフ]/[オン])



参考

- 静音モード時は、通常よりも処理スピードが遅くなります。
- 「ジョブごとの設定」で[禁止]に設定している場合は、使用できません。

➡ [ジョブごとの設定 \(7-28ページ\)](#)

印刷後削除

印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。

(設定値:[オフ]/[オン])

7 システムメニュー

この章では、次の項目について説明します。

本機の初期設定(システムメニュー)	7-2
操作方法	7-2
メニューの項目	7-3
レポート印刷	7-4
用紙の設定	7-6
印刷設定	7-9
Wi-Fiダイレクト設定	7-12
Wi-Fi設定	7-12
有線ネットワーク	7-14
ネットワーク設定	7-15
オプションネットワーク	7-19
デバイス全般	7-20
時間	7-24
セキュリティー	7-25
ユーザー/部門管理	7-27
管理者	7-27
調整/メンテナンス	7-28
オプション機能	7-28
ソフトウェア	7-28
有線状況	7-28
オプションネットワークステータス	7-29
Wi-Fi状況	7-29
Wi-Fiダイレクト	7-30

本機の初期設定(システムメニュー)

システムメニューは、本機の動作全般に関わる設定です。使用用途に応じて、工場出荷時の設定値を変更してください。

操作方法

[メニュー]キーを選択すると、メッセージディスプレイに設定画面が表示されます。表示された設定を選択します。

➡ [操作方法 \(2-11ページ\)](#)



参考

管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。
管理者IDと管理者パスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

管理者ID:	3000
管理者パスワード:	3000

次メニューの項目を参照して、必要な設定を行ってください。

メニューの項目

ここでは、メニューで設定できる機能を説明しています。メニューの項目を選択して、さらに設定項目を選択すると、設定を行うことができます。詳細については、次の表を参照してください。

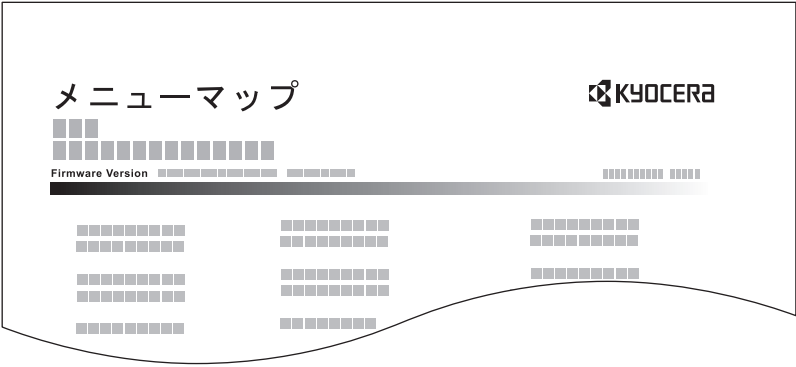
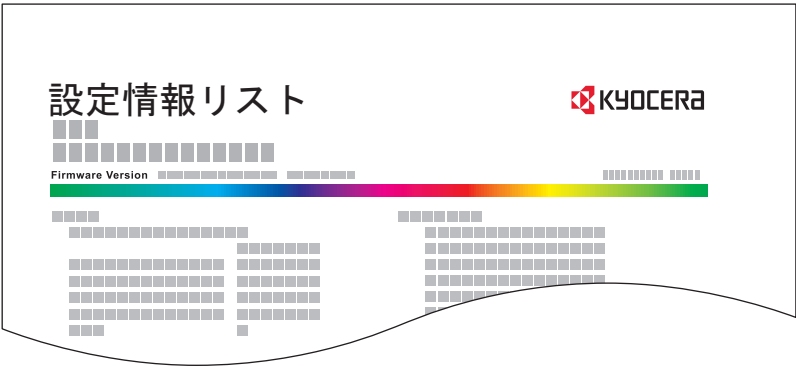
メニューの項目	説明	参照ページ
レポート印刷	本機の設定や状態を確認するための各種レポートを印刷することができます。	7-4ページ
カウンター	印刷ページ数を参照します。	2-38ページ
用紙の設定	用紙に関する設定を行います。	7-6ページ
印刷設定	印刷に関する設定を行います。	7-9ページ
Wi-Fiダイレクト設定	Wi-Fiダイレクトの設定を行います。	7-12ページ
Wi-Fi設定	Wi-Fiの設定を行います。	7-12ページ
有線ネットワーク	有線ネットワークの設定を行います。	7-14ページ
ネットワーク設定	本機のネットワーク設定を行います。	7-15ページ
オプションネットワーク	オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットの設定を行います。	7-19ページ
表示言語	メッセージディスプレイに表示される言語を設定します。	7-20ページ
日時設定	日付や時間に関する設定を行います。	7-20ページ
ブザー	本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。	7-21ページ
RAMディスクモード	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。	7-21ページ
SSD	SSDをフォーマットします。	7-21ページ
SDカード	SDカードをフォーマットします。	7-22ページ
エラー処理	エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。	7-22ページ
カラートナーなし時印刷	カラートナーがなくなったとき、印刷しないか、すべて白黒で印刷するかを設定します。	7-22ページ
スリープレベル設定	スリープレベルを設定します。	7-23ページ
状況/履歴の表示	状況/履歴の表示を設定します。この設定は、ICカード認証が有効の場合に、Command Center RXから印刷ジョブおよび印刷ジョブ履歴を参照するときに反映されます。	7-23ページ
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。	7-23ページ
時間	時間に関する設定を行います。	7-24ページ
セキュリティー	本機の操作およびデータを保護するため、セキュリティー機能の設定ができます。	7-25ページ
ユーザー/部門管理	本機の管理に関する設定を行います。 ユーザー管理の詳細は、次を参照してください。 ➡ ユーザー管理を有効にする (8-3ページ) 部門管理の詳細は、次を参照してください。 ➡ 部門管理を有効にする (8-7ページ)	—
管理者	本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる管理者の管理者IDと管理者パスワードを設定します。	8-21ページ
調整/メンテナンス	印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。	7-28ページ
プリンターの再起動	電源スイッチを切ることなく、再起動できます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。	7-28ページ

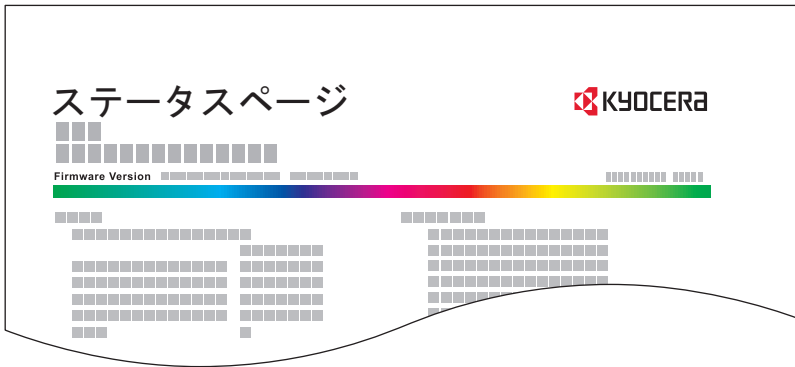
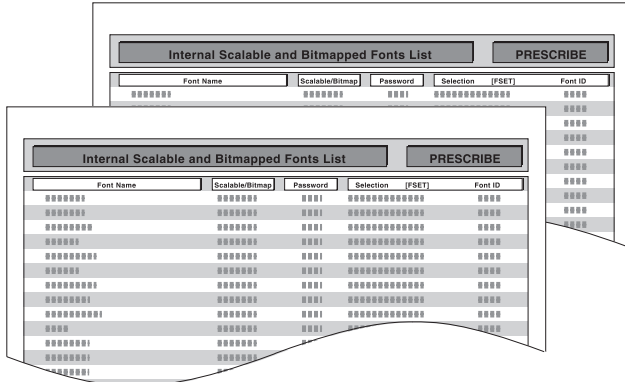
メニューの項目	説明	参照ページ
オプション機能	本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。	7-28ページ
ソフトウェア	本機のシステムとエンジンソフトのバージョンを確認します。	7-28ページ
有線状況	有線ネットワークの接続状態が表示されます。	7-28ページ
オプションネットワークステータス	オプションのネットワークインターフェイスキットの接続状態が表示されます。	7-29ページ
Wi-Fi状況	Wi-Fiの接続状態を確認します。	7-29ページ
Wi-Fiダイレクト	Wi-Fiダイレクトで接続しているデバイスの情報が表示されます。	7-30ページ

レポート印刷

本機の設定や状態を確認するための各種レポートを印刷することができます。

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [▶]キー

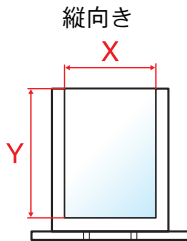
項目	説明
メニューマップの印刷	メニューマップを印刷します。本機の設定が確認できます。 
設定情報リストの印刷	システムメニューの設定値を一覧で印刷します。本機の設定が確認できます。 

項目	説明
ステータスページの印刷	ステータスページを印刷します。現在の設定内容、メモリー容量、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。 
フォントサンプルの印刷	フォントリストを印刷します。本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。 
RAMディスクファイルリストの印刷	RAMディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。  参考 [RAMディスクモード]を[オン]にしている場合に表示されます。
SSDファイルリストの印刷	SD内にあるファイルのリストを印刷できます。  参考 SDカードを装着している場合に表示されます。
SDカードファイルリストの印刷	SDカード内にあるファイルのリストを印刷できます。  参考 SDカードを装着している場合に表示されます。
セキュリティーデータの完全消去レポートの印刷	セキュリティーデータの完全消去レポートを印刷します。

用紙の設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [用紙の設定] > [▶]キー

用紙に関する設定を行います。

項目	説明
手差しトレイ 用紙サイズ	手差しトレイで使用する用紙サイズを選択します。 設定値 : Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、A6、B6、Envelope #9、Envelope #6、ISO B5、カスタム、はがき、往復はがき、Oficio II、216 × 340 mm、16K、Statement、Folio、洋形2号、洋形4号
手差しトレイ 用紙種類 ^{*1}	手差しトレイで使用する用紙種類を選択します。 設定値 : 普通紙(60～105 g/m ²)、OHPフィルム、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙(60～105 g/m ²)、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、加工紙、厚紙(106～220 g/m ²)、上質紙、カスタム1～8
カセット(1～4)用紙サイズ ^{*2}	カセット1～4で使用する用紙サイズを選択します。 設定値 カセット1: Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、A6、B6、ISO B5、カスタム、Oficio II、216 × 340 mm、16K、Statement、Folio カセット2～4: Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、B6、Envelope #9、Envelope #6、ISO B5、カスタム、Oficio II、216 × 340 mm、16K、Statement、Folio、洋形2号、洋形4号 カスタムを選択した場合、カセット1～4で使用するカスタムサイズを登録します。 設定値 カセット1: センチ X: 105～216 mm (1 mm単位) Y: 148～356 mm (1 mm単位) インチ X: 4.13～8.50" (0.01"単位) Y: 5.83～14.02" (0.01"単位) カセット2～4: センチ X: 92～216 mm (1 mm単位) Y: 162～356 mm (1 mm単位) インチ X: 3.62～8.50" (0.01"単位) Y: 6.38～14.02" (0.01"単位) X=長さ、Y=幅 
カセット(1～4)用紙種類 ^{*3}	カセット1～4で使用する用紙種類を選択します。 設定値 カセット1: 普通紙(60～105 g/m ²)、プレプリント、ボンド紙、再生紙、薄紙(60～105 g/m ²)、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、厚紙(106～163 g/m ²)、上質紙、カスタム1～8 カセット2～4: 普通紙(60～105 g/m ²)、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙(60～105 g/m ²)、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、加工紙、厚紙(106～220 g/m ²)、上質紙、カスタム1～8

項目	説明
種類の属性	それぞれの用紙種類に対して、重さ(用紙の厚さ)を設定します。 また、カスタム1～8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。 ➡ 種類の属性について (7-8ページ)
種類の属性のリセット	「種類の属性」で設定したすべての種類の用紙について属性の設定をリセットします。 ➡ 種類の属性について (7-8ページ)
用紙セット時の確認	用紙をセットした時に、用紙設定の確認画面を表示するかどうかを各カセットごとに設定します。 設定値: オン、オフ
手差しトレイ	 参考 [カセット2][カセット4] は、オプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。
カセット1(2～4)	

*1 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。

➡ [種類の属性について \(7-8ページ\)](#)

*2 カセットのサイズダイヤルを「Other」に合わせているときのみ設定します。

*3 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。

➡ [種類の属性について \(7-8ページ\)](#)

用紙種類の設定で、用紙の重さがカセットから給紙できない重さに設定されている場合、用紙種類は表示されません。

種類の属性について

各用紙種類に設定できる用紙の重さは次のとおりです。

用紙の重さ	秤量(g/m ²)、用紙種類	用紙の重さ	秤量(g/m ²)、用紙種類
軽い	52 g/m ² ～59 g/m ²	重い1 ^{*1}	106 g/m ² ～135 g/m ²
普通1	60 g/m ² ～74 g/m ²	重い2 ^{*1}	136 g/m ² ～163 g/m ²
普通2	75 g/m ² ～90 g/m ²	重い3 ^{*1}	164 g/m ² ～220 g/m ²
普通3	91 g/m ² ～105 g/m ²	非常に重い ^{*1}	OHPフィルム

^{*1} 通常よりも処理スピードが遅くなります。

各用紙種類に設定されている重さの初期値は次のとおりです。

用紙種類	初期値	用紙種類	初期値
普通紙	普通1	パンチ済み紙	普通1
OHPフィルム	非常に重い1	カラー紙	普通1
薄紙	普通1	レターヘッド	普通2
ラベル紙	普通2	封筒	重い2
再生紙	普通3	厚紙	重い2
プレプリント	重い3	上質紙	普通1
ボンド紙	普通1	加工紙	普通3
はがき	重い1	カスタム1～8	普通1

また、カスタム1～8は、両面印刷の変更ができます。

項目		説明
両面印刷の給紙	可能	両面印刷できます。
	不可能	両面印刷は禁止されます。

印刷設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [印刷設定] > [▶]キー

印刷に関する設定を行います。

項目	説明
給紙元	優先して使用する給紙元を設定します。 設定値: 手差しトレイ、カセット1～4  参考 [カセット2][カセット4]はオプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。
自動カセット切替	印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択します。 設定値: オン、オフ  参考 [オフ]を選択すると、用紙がなくなった場合、「カセット○に用紙をセット」(○はカセットの番号)または「手差しに用紙をセット」と表示して印刷を停止します。 メッセージに表示されたカセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。 他のカセットから印刷する場合は、[▲]または[▼]キーを選択して「代用給紙しますか?」を表示させ、[▲]または[▼]キーを選択して給紙元を選択して、[OK]キーを選択します。 [オン]を選択すると、用紙がなくなっても、用紙サイズと種類が一致する他のカセットがあるときは、印刷を自動的に継続します。
手差しトレイ優先	手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。 設定値 オフ: プリンタードライバーの設定に従います。 自動給紙時: プリンタードライバーで自動を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば手差しトレイから給紙します。 常時: 手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定にかかわらず手差しトレイから給紙します。
給紙指定動作	パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場合の給紙方法を設定します。 設定値 自動: 用紙サイズおよび用紙種類にあわせて給紙元を選択し、印刷します。 固定: 選択した給紙元の用紙で印刷します。
両面印刷	両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。 設定値: オフ、短辺とじ、長辺とじ
A4/LT共通	サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなすかどうかを設定します。 設定値 オフ: A4サイズとLetterサイズは共通サイズとみなされません。 オン: A4サイズとLetterサイズが共通サイズとみなされます。どちらかのサイズが給紙元があれば給紙されます。
エミュレーション	本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを設定します。 設定値: PCL 6、KPD L、KPD L (自動)
エラーレポート	[KPD L]または[KPD L (自動)]を選択した場合は、[▶]キーを選択して「エラーレポート」を設定します。 設定値: オフ、オン
カラーモード	印刷をカラーかまたは白黒かを選択できます。 設定値: 白黒、カラー

項目	説明
印刷品質	印刷品質を設定します。
KIRモード	本機には、スモーキング機能が搭載されています。スモーキングを設定すると、9600 dpi 相当 (600dpi×15 階調)×600 dpi のなめらかな印刷を実現できます。 設定値: オフ、オン
光沢モード	光沢モードを設定すると、印刷物の光沢を増やすことができます。ただし、印刷時間が長くなります。 設定値: オフ、オン  重要 [オン]は、用紙種類が[ラベル紙]や[OHPフィルム]以外の設定で有効です。 ➡ カセット(1~4)用紙種類 (7-6ページ) 手差しトレイ 用紙種類 (7-6ページ) 光沢モードで印刷を行うと、用紙の種類や状態によっては用紙がカールすることがあります。その場合はカールしにくい用紙に代えてみてください。
エコプリントモード	エコプリントとは、トナーの消費量を抑える機能です。ただし印刷は薄くなりますので、試し印刷などのときに設定してください。 設定値: オフ、オン
エコプリント節約レベル	エコプリント節約レベルの初期値を選択します。 設定値: 1(低く)~5(高く)  参考 レベルをあげるとトナーの消費を抑えられますが、画質は落ちます。
解像度	印刷時の解像度を設定します。 設定値: 1200 dpi, 600 dpi  参考 操作パネルの設定よりも、プリンタードライバーでの設定が優先されます。
印刷環境	印刷枚数や印刷方向など、印刷環境の設定を行います。
コピー枚数	印刷部数を1~999部まで設定します。 設定値: 1~999部
縮小印刷	印刷データを縮小して印刷する(縮小印刷)ための設定を行います。縮小前の用紙サイズと縮小率を設定します。 ➡ 縮小印刷の設定について (7-11ページ)  参考 縮小印刷では、等倍の印刷結果とは異なり、文字の線幅が一定にならない場合や、図形、イメージおよびパターンなどの中に線が見られる場合があります。また細い線などは印刷されない場合があります。また、バーコードを縮小印刷すると、読み取れない場合があります。
印刷の向き	印刷方向を縦向き、または横向きのどちらかを選択します。 設定値: たて、よこ
ワイドA4	この設定を[オン]にすると、A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します(10 cpi)。この設定はPCL6のエミュレーションでのみ有効になります。 設定値: オフ、オン
XPS印刷範囲設定	XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。 設定値: オフ、オン
TIFF/JPEGサイズ	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ(解像度)の初期値を設定します。 設定値: 用紙サイズに合わせる、画像解像度、印刷解像度

項目	説明
印刷範囲補正	プリンターの印刷範囲を補正します。用紙の上下左右に4.2 mmの非印刷領域があります。アプリケーションによっては、印刷位置が意図したものとは異なる場合があります。この場合には印刷位置を補正して、印刷位置を縦横方向にずらすことができます。 設定値 範囲補正(たて) :-76.0～+76.0 mm 範囲補正(よこ) :-76.0～+76.0 mm
ユーザー名	プリンタードライバーで設定したユーザー名を使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
ジョブ名	プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、ジョブ名、番号+ジョブ名、ジョブ名+番号

縮小印刷の設定について

縮小印刷は次のように表示されます。

ソースサイズ: 縮小前の用紙サイズです。印刷データに設定されている用紙サイズと同一でなければなりません。

ターゲットサイズ/縮小率: 縮小後の用紙サイズまたは縮小率です。用紙サイズまたは倍率で表示されます。

ソースサイズ	ターゲットサイズ/縮小率	ソースサイズ	ターゲットサイズ/縮小率
[CS] (カセットサイズ)	[CS] (カセットサイズ)	[B5]	[B5]
	[CS] (カセットサイズ) 98%		[A5]
[LG] (Legal)	[LG] (Legal)		[B5] 98%
	[LG] (Legal) 98%	[A4]	[A4]
[LT] (Letter)	[LT] (Letter)		[LT] (Letter)
	[A4]		[B5]
	[LT] (Letter) 98%		[A5]
[O2] (Oficio II)	[O2] (Oficio II)		[A4] 98%
[FO] (Folio)	[FO] (Folio)	[B4]	[B5]
[16K]	[16K]		[A4]
[A5]	[A5]	[A3]	[A4]
	[A5] 98%	[SF] (Stock Form)	[A4]

Wi-Fiダイレクト設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [▶]キー

Wi-Fiダイレクトの設定を行います。



参考

この機能は、オプションのワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

Wi-Fiダイレクト

項目	説明
Wi-Fiダイレクト	Wi-Fiダイレクトを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
自動切断設定	Wi-Fiダイレクトで接続された機器を自動的に切断するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン 参考 この機能は、Wi-Fiダイレクトが[オン]の場合に表示されます。
タイマー(日:時間:分)	自動切断設定を設定した場合は、自動的に切断されるまでの時間を設定できます。 設定値: 0日0時0分～99日23時59分

Wi-Fi設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fi設定] > [▶]キー

Wi-Fiの設定を行います。



参考

この機能は、オプションのワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

Wi-Fi

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fiを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン

簡単セットアップ

項目	説明
簡単セットアップ	ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡単セットアップで接続設定ができます。
プッシュボタン方式	アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイントのプッシュボタンを押して接続を開始します。 参考 プッシュボタン式はWPSのみに対応しています。
PIN方式(本体)	本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。

TCP/IP

項目	説明
TCP/IP	TCP/IP (IPv4) プロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
DHCP	DHCP (IPv4) サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
Auto-IP	Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
IPアドレス	IPアドレスを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[オン]にしている場合は入力できません。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[オン]にしている場合は入力できません。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[オン]にしている場合は入力できません。

 重要

- Auto IPを使用する場合、IPアドレス に0.0.0.0を設定してください。
- 設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

TCP/IP (IPv6)

項目	説明
TCP/IP (IPv6)	TCP/IP (IPv6) プロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
RA (Stateless)	RA (Stateless) を使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン  参考 この機能は、[TCP/IP (IPv6)] を [オン] にしている場合に表示されます。
DHCPv6	DHCP (IPv6) サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン  参考 この機能は、[TCP/IP (IPv6)] を [オン] にしている場合に表示されます。

 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

ネットワークの再起動

項目	説明
ネットワークの再起動	本機のネットワークを再起動します。

有線ネットワーク

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [有線ネットワーク] > [▶]キー

有線ネットワークの設定を行います。

項目	説明
TCP/IP	設定値は次を参照してください。 ➡ TCP/IP (7-13ページ)
TCP/IP (IPv6)	設定値は次を参照してください。 ➡ TCP/IP (IPv6) (7-14ページ)
LANインターフェイス	使用するLANインターフェイスを設定します。 設定値: 自動、10BASE-Half、10BASE-Full、100BASE-Half、100BASE-Full、1000BASE-T
ネットワークの再起動	本機のネットワークを再起動します。

 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

ネットワーク設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [▶]キー

本機のネットワーク設定を行います。

項目	説明
通信	ネットワーク認証の接続時に使用するネットワークを設定します。 設定値: Wi-Fi、有線ネットワーク
SSLサーバー	通信にSSLを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
IPSec	IPSecを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
Bonjour	Bonjourを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン  参考 この機能は、TCP/IPを[オン]にしている場合に表示されます。
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[Bonjour]を[オン]にしている場合に表示されます。
IPフィルター (IPv4)	IPフィルター (IPv4)を使用して通信を行うかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
IPフィルター (IPv6)	IPフィルター (IPv6)を使用して通信を行うかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
NetBEUI	NetBEUIを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[NetBEUI]を[オン]にしている場合に表示されます。
SNMPv3	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[SNMPv3]を[オン]にしている場合に表示されます。
FTP(Server)	FTPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[FTP(Server)]を[オン]にしている場合に表示されます。

項目	説明
SNMP	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[SNMP]を[オン]にしている場合に表示されます。
SMTP	SMTPを使用してメールを送信するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
POP3	POP3を使用してメールを受信するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
RAW Port	RAW Portを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[RAW Port]を[オン]にしている場合に表示されます。
LPD	LPDを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[LPD]を[オン]にしている場合に表示されます。
IPP	IPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*2*3} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[IPP]を[オン]にしている場合に表示されます。
IPP over SSL	SSLで保護されたIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*2*3} 設定値: オフ、オン  参考 設定が[オン]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。 ▶ Command Center RX操作手順書
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[IPP over SSL]を[オン]にしている場合に表示されます。
HTTP	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[HTTP]を[オン]にしている場合に表示されます。

項目	説明
HTTPS	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*2*3} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[HTTPS]を[オン]にしている場合に表示されます。
ThinPrint	ThinPrintを使用するかどうかを設定します。 ^{*2*3} 設定値: オフ、オン  参考 この機能は、オプションのThinPrint Optionが起動していない場合は表示されません。
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[ThinPrint]を[オン]にしている場合に表示されます。
ThinPrint over SSL	Thin Print over SSLを使用するには、本設定で[オン]を選択してください。 ^{*2*3} 設定値: オフ、オン  参考 - この設定は、[ThinPrint]を[オン]にしている場合に表示されます。 - 設定が[オン]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。  Command Center RX操作手順書
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[ThinPrint over SSL]を[オン]にしている場合に表示されます。
WSD-PRINT	弊社が独自に提供するWeb サービスを使用するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[WSD-PRINT]を[オン]にしている場合に表示されます。
Enhanced WSD	弊社が独自に提供するWebサービスを使用するかどうかを設定します。 ^{*2} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[Enhanced WSD]を[オン]にしている場合に表示されます。
EnhancedWSD(SSL)	弊社が独自に提供するWebサービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。 ^{*2*3} 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は、[EnhancedWSD(SSL)]を[オン]にしている場合に表示されます。

項目	説明
REST	RESTを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は[REST]を[オン]にしている場合に表示されます。
REST over SSL	SSLで保護されたRESTを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
	 参考
	- この設定は[REST]を[オン]にしている場合に表示されます。 - 設定が[オン]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
Wi-Fiダイレクト ^{*1}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 使用できません、使用できます
Wi-Fi ^{*1}	 参考
有線	この設定は[REST over SSL]を[オン]にしている場合に表示されます。

*1 この機能は、オプションのワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

*2 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

*3 「ネットワーク設定」で「SSLサーバー」を[オン]にしてください。

➡ [SSLサーバー \(7-15ページ\)](#)

重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

オプションネットワーク

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [オプションネットワーク] > [▶]キー

オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットの設定を行います。



参考

このメニューは、オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

項目	説明
TCP/IP	設定値は、次を参照してください。([Bonjour]を除く) ➡ TCP/IP (IPv6) (7-14ページ) [Bonjour]の設定値は、次を参照してください。 ➡ ネットワーク設定 (7-15ページ)
TCP/IP (IPv6)	設定値は、次を参照してください。 ➡ TCP/IP (IPv6) (7-14ページ)
NetWare	NetWareを使用して文書を受信します。 設定値: オフ、オン
AppleTalk	AppleTalkを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: オフ、オン
IPSec	IPSecを使用するかどうかを設定します。 設定値: オフ、オン
LANインターフェイス	LANインターフェイスを選択します。 ^{*1} 設定値: 自動、10BASE-Half、10BASE-Full、100BASE-Half、100BASE-Full、1000BASE-T 参考 この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。
MACアドレスフィルター	MACアドレスフィルターを使用するかどうかを設定します。 ➡ ネットワークインターフェイスキットの使用説明書 設定値: オフ、オン
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します

^{*1} デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

デバイス全般

本機全般について設定します。

表示言語

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [表示言語] > [OK]キー

項目	説明
表示言語	メッセージディスプレイに表示される言語を設定します。

日時設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [日時設定] > [▶]キー

日付や時間に関する設定を行います。

項目	説明
日時(年/月/日)	設置場所の日付を設定します。 設定値: 年(2000～2037)、月(1～12)、日(1～31) ➡ 日付と時刻の設定 (2-14ページ)  参考 日付を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。
時刻(時:分:秒)	設置場所の時刻を設定します。 設定値: 時(00～23)、分(00～59)、秒(00～59) ➡ 日付と時刻の設定 (2-14ページ)  参考 時刻を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値: 月/日/年、日/月/年、年/月/日
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。 ➡ 日付と時刻の設定 (2-14ページ)
サマータイム	

ブザー

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [ブザー] > [▶]キー

本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。

項目	説明
キー操作	操作パネルのキーを選択したときに鳴る音です。 設定値: オン、オフ
印刷完了	ジョブの処理が正常に終了したときに鳴る音です。 設定値: オン、オフ
準備完了	操作が可能になったときに鳴る音です。 設定値: オン、オフ
警告	エラーが発生したときに鳴る音です。 設定値: オン、オフ

RAMディスクモード

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [RAMディスクモード] > [OK]キー

項目	説明
RAMディスクモード	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。 RAMディスクを作成することによって、ジョブボックスからプリントデータを印刷することができます。 設定値 RAMディスクモード: オン、オフ RAMディスクサイズ: 搭載されているメモリーのサイズやオプションメモリー使用量の設定によって設定範囲が変わります。



重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

SSD

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [SSD] > [▶]キー

SSDをフォーマットします。

SSDのフォーマットは、オプションのSSDを初めて本機に装着した際に必要な操作です。



重要

SSDをフォーマットすると、そのSSD内のデータはすべて消去されます。



参考

オプションのセキュリティーキットを装着している場合は、この設定は表示されません。

SDカード

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [SDカード] > [▶]キー

SDカードをフォーマットします。

SDカードを使用するためには、最初に本機でSDカードをフォーマットする必要があります。



重要

SDカードをフォーマットすると、データはすべて消去されます。

エラー処理

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [エラー処理] > [▶]キー

エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。

項目	説明
両面印刷処理	選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合の処理方法を設定します。 設定値 オフ:片面印刷で印刷します。 オン:メッセージが表示され、印刷を停止します。
用紙ミスマッチエラー	カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷するとき、選択した用紙サイズまたは用紙種類と選択した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しない場合の処理方法を設定します。 設定値 オフ:設定を無視して印刷します。 オン:メッセージが表示され、印刷を停止します。
手差し紙なし表示	給紙元を手差しトレイに固定して印刷するときに、手差しトレイに用紙が無い場合、用紙なしメッセージを表示するかどうかを設定します。 設定値: オン、オフ

カラートナーなし時印刷

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [カラートナーなし時印刷] > [OK]キー

項目	説明
カラートナーなし時印刷	カラートナーがなくなったとき、印刷しないか、すべて白黒で印刷するかを設定します。 設定値: 印刷しない、すべて白黒で印刷

スリープレベル設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [スリープレベル設定] > [▶]キー

項目	説明
スリープレベル	スリープレベルを設定します。 節電優先を設定すると、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えることができます。 設定値 : 復帰優先、節電優先
ICカードリーダ接続時 ^{*1}	ICカードリーダ接続時に、節電優先を使用するかどうかを設定します。 設定値 : 使用する、使用しない  参考 節電優先のスリープモードに入ると、ICカードは認識しません。
アプリケーション起動時	アプリケーション起動時に、節電優先を使用するかどうかを設定します。 設定値 : 使用する、使用しない

*1 オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。

状況/履歴の表示

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [状況/履歴の表示] > [▶]キー

項目	説明
状況/履歴の表示	状況/履歴の表示を設定します。 この設定は、ICカード認証が有効の場合に、Command Center RXから印刷ジョブおよび印刷ジョブ履歴を参照するときに反映されます。
ジョブ状況の詳細	設定値 : すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない
ジョブ履歴	設定値 : すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない

トナー残量少の通知

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [デバイス全般] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [トナー残量少の通知] > [▶]キー

項目	説明
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。 設定値 Off/On: オフ、オン トナー残量少の通知: 通知するトナー残量を設定します。 設定範囲は5～100%(1%単位)です。[Off/On]を[オン]にして[▼]キーを選択した場合に表示されます。  参考 [オフ]を選択した場合は、トナー残量が5%になると通知します。

時間

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [時間] > [▶]キー

時間に関する設定を行います。

項目	説明
オートパネルリセット	オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。ここでは、オートパネルリセットを使用するかどうかを設定します。 設定値: オン、オフ  参考 リセットされるまでの時間は、次を参照してください。 ▶ パネルリセット時間 (7-24ページ)
パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合は、操作終了後リセットされるまでの時間を設定できます。 設定値: 5～495秒(5秒単位)  参考 この機能は、[オートパネルリセット]を[オン]にしている場合に表示されます。
スリープ時間	スリープに入る時間を設定します。 設定値: 1～240分(1分単位) ▶ スリープとオートスリープ (2-26ページ)
オートエラークリア	処理中にエラーが発生すると、通常は処理が停止してユーザーによる対処を待ちます。オートエラークリアは、エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能です。 設定値: オン、オフ
エラークリア時間	オートエラークリアを設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。 設定値: 5～495秒(5秒単位)  参考 この機能は、[オートエラークリア]を[オン]にしている場合に表示されます。
改ページ待ち時間	本機は、パソコンからの印刷データを受け取る際、データの末尾であることを示す情報がないと、最終ページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ(印刷)を行います。この待ち時間を5～495秒の範囲で設定します。 設定値: 5～495秒(5秒単位)
週間予約設定	各曜日で指定した時刻に、本機を自動的に電源オフにしたり、復帰させるように設定します。 設定値: オン、オフ
リトライ ^{*1}	本機を電源オフにする動作のリトライを行うかどうかを設定します。 設定値: 回数を制限する、回数を制限しない
リトライ回数 ^{*2}	リトライする回数を設定します。 設定値: 0～10回
リトライ間隔 ^{*2}	リトライする間隔を設定します。 設定値: 10～60秒(1秒単位)
電源オン時間(###) ^{*1}	曜日毎に時間を指定して本機の電源を入れるかどうかを設定します。 設定値: 不可能、可能
電源On時間	曜日毎に本機の電源を入れる時刻を指定します。 設定値: 時(00～23)、分(00～59)
電源オフ時間(###) ^{*1}	曜日毎に時間を指定して本機の電源を切るかどうかを設定します。 設定値: 不可能、可能
電源Off時間	曜日毎に本機の電源を切る時刻を指定します。 設定値: 時(00～23)、分(00～59)

*1 この機能は、[週間予約設定]を[オン]にしている場合に表示されます。

*2 この機能は、[リトライ]を[回数を制限する]にしている場合に表示されます。

セキュリティ

本機の操作およびデータを保護するため、セキュリティ機能の設定ができます。

インターフェイスブロック

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [セキュリティ] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [インターフェイスブロック] > [▶]キー
USBホストなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。

項目	説明
USBホスト	USBポートおよびUSBポート(USBホスト)をブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする
USBデバイス	USBインターフェイスコネクタ(USBデバイス)をブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする
オプションインターフェイス	オプションインターフェイスをブロックして本機を保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする
USBストレージ	USBメモリースロットをブロックして保護します。 設定値:ブロックしない、ブロックする  参考 この機能は、USBホストを[ブロックしない]にしている場合に設定できます。



重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

セキュリティレベル

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [セキュリティ] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [セキュリティレベル] > [OK]キー

項目	説明
セキュリティレベル	セキュリティのレベルを設定します。 設定値 最高:[高い]の状態に加えて、外部のコマンドから本体の設定を変更できないようにします。 高い:弊社が推奨するセキュリティ設定です。通常はこの設定を使用してください。 低い:メンテナンス時に使用します。通常は使用しないでください。

SSD初期化

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [セキュリティ] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [SSD初期化] > [▶]キー

項目		説明
SSD初期化		セキュリティ機能の設定を変更します。  参考 - この機能は、オプションのSSDを装着し、オプションのセキュリティキットを起動している場合に表示されます。 - セキュリティ機能の設定を変更するには、セキュリティパスワードの入力が必要です。工場出荷時は000000となっています。
	セキュリティパスワード	セキュリティパスワードを工場出荷時の値から変更して、管理者だけがセキュリティキットを操作できるようにします。 パスワードは6～16桁の英数字記号で入力してください。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力する必要があります。  重要 セキュリティパスワードは11111111や12345678など推測されやすい番号の使用はできるだけ避けてください。
	初期化	SSDの内容を完全に消去することができます。本体の使用を中止するときなどに行ってください。  重要 初期化中に電源スイッチを切ると、SSDが破損し、初期化が完了しなくなるおそれがあります。  参考 万一初期化中に電源スイッチを切ってしまった場合は、電源スイッチを入れ直してください。自動的に初期化が再開します。

データセキュリティ

[メニュー]キー>[▲][▼]キー>[セキュリティ]>[▶]キー>[▲][▼]キー>[データセキュリティ]>[▶]キー
メモリーに保存されているデータに関する設定を行います。

項目	説明
セキュリティデータ消去	本機に登録されている次の情報を、工場出荷時に戻します。 - システム設定 - ユーザーボックス内のデータ - オプションアプリケーションデータ  重要 アプリケーションやSD/SDHCメモリーカードに保存されたジョブボックスのデータは消去できません。これらを消去する場合は、SD/SDHCメモリーカードのフォーマットが必要です。 ➡ SDカード (7-22ページ)  参考 - 途中で処理を取り消すことはできません。 - この操作を行う前にモジュラーケーブルやネットワークケーブルなどを外してください。 - この機能を実行する前に、インターフェイスブロック設定をすべて[ブロックしない]に設定してください。 ➡ インターフェイスブロック (7-25ページ) - 消去中に電源を切らないでください。消去中に電源を切った場合、電源起動後に自動的に消去を実行しますが、完全な動作保証はできません。
今すぐ実行	セキュリティデータの完全消去を実行します。
タイマー予約	指定された時刻に本機内のアドレス情報や画像データを完全に消去します。 設定値: オン、オフ [オン]を選択した場合は、完全消去を実行する日時を設定してください。設定範囲は、年(2000～2037)、月(1～12)、日(1～31)、時(00～23)です。
実行後の機器使用	セキュリティデータの消去後、本機に使用制限を行います。 [禁止する]を選択すると、本機の操作ができなくなります。 設定値: 許可する、禁止する

ユーザー/部門管理

[メニュー]キー>[▲][▼]キー>[ユーザー/部門管理]>[▶]キー

本機の管理に関する設定を行います。

- ➡ [ユーザー管理について \(8-2ページ\)](#)
- [部門管理について \(8-6ページ\)](#)
- [ID不明ジョブ処理 \(8-20ページ\)](#)

管理者

[メニュー]キー>[▲][▼]キー>[管理者]>[▶]キー

本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる管理者の管理者IDと管理者パスワードを設定します。

- ➡ [管理者の設定 \(8-21ページ\)](#)

調整/メンテナンス

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [調整/メンテナンス] > [▶]キー

印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。

項目	説明
静音モード	本機の動作音を抑えることができます。
静音モード	静音モードを設定します。動作音が気になるときに設定してください。 設定値: オフ、オン
ジョブごとの設定	ジョブごとに静音モードを設定することができます。ここではジョブごとの設定を許可するかどうか設定します。 設定値: 許可、禁止
カラー調整の実行	長期間の使用や、周辺の温度や湿度の影響で、カラー出力の色合いが変わってきたり、色ずれが起こったりすることがあります。この機能を使うと、色合いと色ずれの微調整をして最適なカラーで印刷できるようになります。 ➡ カラー調整 (9-21ページ) このカラー調整を実行しても色合いが改善されないときや、色ずれが改善されないときは、次を参照してください。 ➡ カラー位置補正 (9-21ページ)
カラー位置補正 標準	本機を初めて設置したときや移動などで再設置した場合に、印刷時に色ずれが起こる場合があります。この機能を使うと、シアン、マゼンタ、イエロー各色の印刷位置を補正し、色ずれを解消できます。 ➡ カラー位置補正 (9-21ページ)
カラー位置補正 詳細	
プリンターの再起動	電源スイッチを切ることなく、再起動できます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。
サービス	本機の保守・点検を行います。主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。

オプション機能

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [オプション機能] > [▶]キー

項目	説明
オプション機能	本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。 ➡ オプションのアプリケーションについて (10-6ページ)

ソフトウェア

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ソフトウェア] > [▶]キー

項目	説明
バージョン	本機のシステムとエンジンソフトのバージョンを確認します。

有線状況

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [有線状況]

有線ネットワークの接続状態が表示されます。

オプションネットワークステータス

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [オプションネットワークステータス]

オプションのネットワークインターフェイスキットの接続状態が表示されます。

Wi-Fi状況

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fi状況]

Wi-Fiの接続状態が表示されます。

項目		説明
Wi-Fi状況		Wi-Fiの接続状態を確認します。
	ネットワーク名 (SSID)	本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier) を確認します。  参考 - この設定は、[Wi-Fi]を[オン]にしている場合に表示されます。 [▶]キーを選択すると、詳細情報を表示します。

Wi-Fiダイレクト

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト]

Wi-Fiダイレクトで接続しているデバイスの情報が表示されます。

項目	説明
Wi-Fiダイレクト	現在の接続数を確認します。
プッシュボタン接続	接続したいデバイスのプッシュボタンを実行すると、本機との接続が開始されます。  参考 この設定は、[Wi-Fiダイレクト]を[オン]にしている場合に表示されます。
デバイス名	デバイス名を確認します。  参考 - この設定は、[Wi-Fiダイレクト]を[オン]にしている場合に表示されます。 [▶]キーを選択すると、詳細情報を表示します
ネットワーク名(SSID)	本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier)を確認します。  参考 - この設定は、[Wi-Fiダイレクト]を[オン]にしている場合に表示されます。 [▶]キーを選択すると、詳細情報を表示します
パスワード	本機を接続する無線LANのパスワードを確認します。  参考 この設定は、[Wi-Fiダイレクト]を[オン]にしている場合に表示されます。
IPアドレス	本機のIPアドレスを確認します。  参考 この設定は、[Wi-Fiダイレクト]を[オン]にしている場合に表示されます。
ネットワーク認証	ネットワーク認証の方式を確認します。  参考 この設定は、[Wi-Fiダイレクト]を[オン]にしている場合に表示されます。
データの暗号化	データの暗号化の方式を確認します。  参考 この設定は、[Wi-Fiダイレクト]を[オン]にしている場合に表示されます。
すべて切断	接続されているすべての接続を切断します。  参考 この設定は、[Wi-Fiダイレクト]を[オン]にしている場合に表示されます。

8 ユーザー認証、集計管理 (ユーザー管理、部門管理)

この章では、次の項目について説明します。

ユーザー管理について	8-2
ユーザー管理を有効にする	8-3
キーログイン	8-4
ユーザー管理の使いかた	8-5
ログイン/ログアウト	8-5
部門管理について	8-6
部門管理を有効にする	8-7
部門管理方式	8-8
部門管理の設定	8-9
部門の新規登録	8-9
使用制限	8-10
部門の編集	8-12
部門の削除	8-13
印刷の部門管理	8-14
部門管理の運用	8-16
制限超過時設定	8-16
使用枚数の集計	8-17
部門管理リストの印刷	8-18
部門管理の使いかた	8-19
ログイン/ログアウト	8-19
ID不明ジョブ処理	8-20
管理者の設定	8-21

ユーザー管理について

ユーザー管理は、本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる機能です。本機へのログインはICカードを使って行います。



参考

ユーザー管理を行うには、ICカード認証キットが必要です。

➡ [ICカード認証キット\(B\) <ICカード認証キット> \(10-3ページ\)](#)

ユーザー管理を有効にする

ユーザー管理を有効にします。



参考

この機能は、ICカード認証キットが起動されている場合に表示されます。

➡ [ICカード認証キット\(B\) <ICカード認証キット> \(10-3ページ\)](#)

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [▶]キー

2 設定する

- [▲][▼]キー > [認証方法] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク認証] > [OK]キー



参考

ユーザー管理を無効にする場合は[オフ]を選択します。

キーログイン

ユーザー管理が有効の場合、矢印キーによるログインを許可するかどうかを設定します。



参考

- この機能は、ICカード認証キットが起動されている場合に表示されます。

➡ [ICカード認証キット\(B\) <ICカード認証キット> \(10-3ページ\)](#)

- この機能は、管理者がログインする時のみ有効です。

1 画面を表示する

1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー

2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

4 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [▶]キー

2 設定する

[▲][▼]キー > [キーログイン] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [禁止]または[許可] > [OK]キー

ユーザー管理の使いかた

ユーザー管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウト

ユーザー管理が有効の場合は、本機を使用するとき、ICカード認証画面が表示されます。

ログイン、ログアウトの操作手順は、次のとおりです。

ログイン

ICカード読み取り部にICカードをかざしてください。

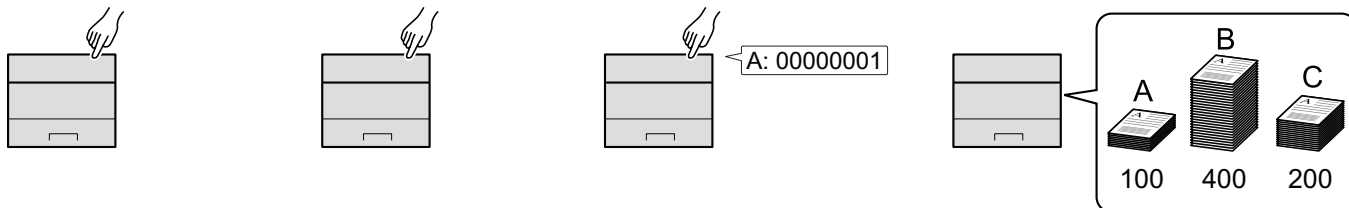
ログアウト

操作が終了したら、[ログアウト]キーを選択します。ICカード認証画面に戻ります。

部門管理について

部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別に印刷の使用枚数を管理できる機能です。

- 1 部門管理を有効にする (8-7ページ)
- 2 部門を設定する (8-9ページ)
- 3 部門コードを入力してジョブを実行する (8-19ページ)
- 4 使用枚数が集計される。



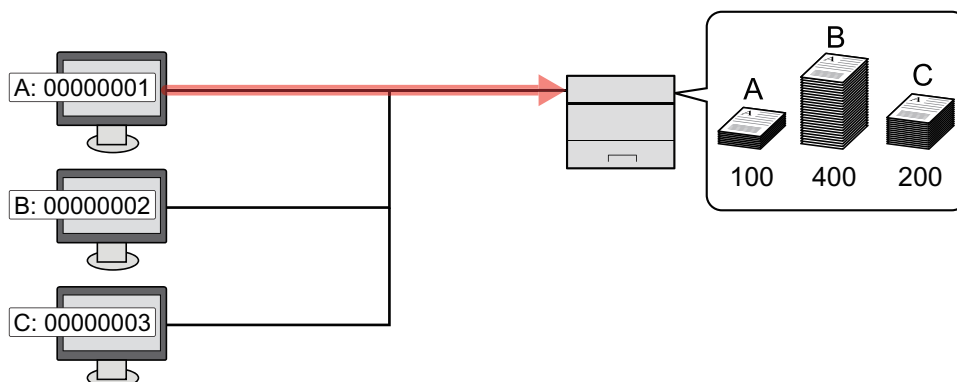
パソコンからのジョブの使用枚数を管理する場合

パソコンから本機を使用する枚数を管理するには、次の設定が必要です。

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する場合

パソコンから本機で印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

- 1 プリンタードライバーでパソコンに部門管理を設定する (8-14ページ)
- 2 印刷する
- 3 使用枚数が集計される。



部門管理を有効にする

部門管理を有効にします。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー

2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

2 設定する

[▲][▼]キー > [部門管理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [オン] > [OK]キー



参考

部門管理を無効にする場合は、[オフ]を選択してください。

部門管理方式

部門管理方式を設定します。

1 画面を表示する

1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー

2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

2 設定する

[▲][▼]キー > [部門管理方式] > [OK]キー > [▲][▼]キー >
[ローカル]または[ネットワーク] > [OK]キー

部門管理の設定

部門の登録や編集、削除をしたり、部門ごとに使用制限を設定できます。

部門の新規登録

新しい部門を登録します。



参考

部門コードは、数字列で管理されますので、「1」と「001」は区別され違う部門として管理されます。また、部門管理が[オン]の場合、印刷データをどの部門で印刷するか情報を付加しないと出力されません。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 [▲][▼]キー > [部門の登録] > [OK]キー

2 部門コードを入力する

- 1 「部門コード」を入力します。



参考

1～8 桁の数字で設定できます。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
すでに登録されている「部門コード」は使用できません。別の部門コードを入力してください。

- 2 [OK]キーを選択します。
部門リストに新しい部門が追加されます。

使用制限

部門ごとに使用を禁止したり、使用できる枚数を制限したりすることができます。

使用制限できる項目

項目	詳細
制限の種類	印刷の合計の使用枚数を制限します。
カラー制限種類	カラー印刷の合計の使用枚数を制限します。
印刷制限	印刷の使用枚数を設定します。「制限の種類」で[カウンター]を選択した場合に表示されます。
カラー印刷制限	カラー印刷の使用枚数を設定します。「カラー制限種類」で[カウンター]を選択した場合に表示されます。

使用制限の方法

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。

参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
 [▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
 [◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
 管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。

参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
 [▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
 [◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
 管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 [▲][▼]キー > [部門の選択] > [OK]キー

2 編集する

- 1 部門情報を変更したい部門を選択して、[OK]キーを選択します。
- 2 [▶]キーを選択します。
- 3 [▲][▼]キー > [制限の種類]または[カラー制限種類] > [OK]キー
- 4 [▲][▼]キー > [制限なし]、[カウンター]または[印刷禁止] > [OK]キー
 [カウンター]を選択した場合は、次の手順に進みます。
- 5 [▲][▼]キー > [印刷制限]または[カラー印刷制限] > [OK]キー

6 使用枚数を設定 > [OK]キー



参考

1～9,999,999枚の間で設定できます。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

部門の編集

登録されている部門情報の変更ができます。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 [▲][▼]キー > [部門の選択] > [OK]キー

2 編集する

- 1 部門情報を変更したい部門を選択して、[OK]キーを選択します。
- 2 [▶]キーを選択します。
- 3 変更したい項目を選択し、[OK]キーを選択します。
- 4 「使用制限」を参照して、部門情報を変更します。

➡ [使用制限 \(8-10ページ\)](#)

部門情報が変更されます。

部門の削除

部門を削除します。



参考

部門コードは、数字列で管理されますので、「1」と「001」は区別され違う部門として管理されます。また、部門管理が[オン]の場合、印刷データをどの部門で印刷するかの情報を付加しないと出力されません。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 [▲][▼]キー > [部門の削除] > [OK]キー

2 削除する

削除したい部門を選択して、[OK]キーを選択します。
部門が削除されます。

印刷の部門管理

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理することができます。

プリンタードライバーの設定

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。

ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

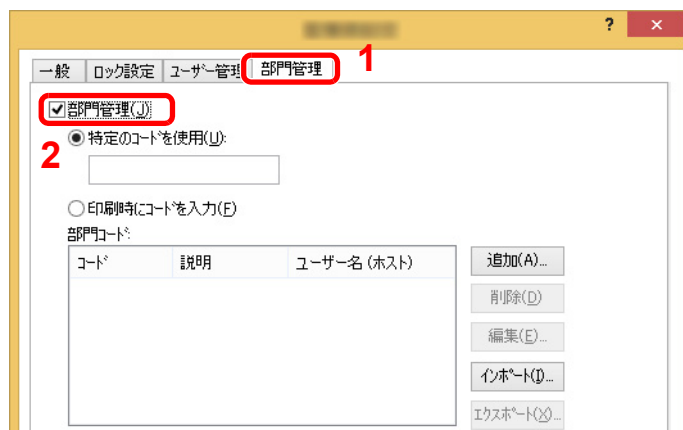


Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [部門管理]タブの[部門管理]を選択します。



- 2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]: 特定の部門コードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびに部門コードを入力する必要があります。

[印刷時にコードを入力]: 印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードを入力(コードリストの確認)]: 印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されているものを入力します。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードリストから選択]: 印刷時に部門コードリストが表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されている必要があります。

[ユーザー(ホスト)ごとに部門コードを確認]: 印刷時に、Windowsユーザー名を「部門コードリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、部門コードを入力する画面が表示されます。

3 [OK]をクリックします。



参考

部門管理についてのその他の設定は、次を参照してください。

➡ [プリンタードライバー操作手順書](#)

部門管理の運用

制限超過時設定

部門の印刷制限枚数が超過した場合の動作を設定できます。

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [制限超過時設定] > [▶]キー

詳細については、次の表を参照してください。

項目	説明
制限超過時設定	制限枚数に達したときの処理を変更できます。処理の内容は次のとおりです。 設定値 即時禁止: 制限枚数に達した時点でジョブの処理が禁止されます。 次ジョブから禁止: 印刷中のジョブは続行されますが、次のジョブから使用禁止になります。

使用枚数の集計

使用枚数を集計することができます。集計は、全部門または部門別に行います。また、一定期間管理した使用枚数をリセットして、新たに使用枚数のカウントを始めることができます。

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [部門の選択] > [▶]キー

部門別集計

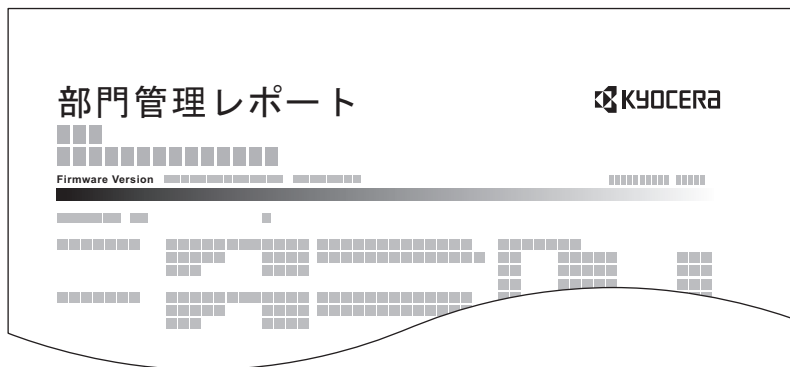
部門別の使用枚数を集計します。また、部門別に使用枚数をリセットできます。

使用枚数は次の項目別にカウントされています。

項目	説明
カウンターの表示	カラー印刷と白黒印刷の合計の使用枚数が表示されます。
カラーカウンターの表示	カラー印刷の使用枚数が表示されます。
カウンターの初期化	使用枚数をリセットします。 確認画面で[OK]キーを選択してください。

部門管理リストの印刷

全部門で集計された枚数を、部門管理リストとして印刷できます。



部門管理レポートを印刷する操作手順は、次のとおりです。

1 用紙を準備する

カセットにA4またはLetterの用紙が補給されていることを確認します。

2 画面を表示する

1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー

2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。

参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。

参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

3 印刷する

[▲][▼]キー > [部門管理リストの印刷] > [OK]キー > [OK]キー

部門を選択して[OK]キーを選択すると、印刷されます。

参考

1～8桁の数字で設定できます。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴り、ログインできません。正しい部門コードを入力してください。

部門管理の使いかた

部門管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウト

部門管理が有効の場合は、本機を使用するとき、部門コードを入力する画面が表示されます。

ログイン、ログアウトの操作手順は、次のとおりです。

ログイン

- 1 本機を操作して部門コード入力画面が表示されたら、矢印キーで部門コードを入力して、[OK]キーを選択します。



参考

1～8桁の数字で設定できます。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴り、ログインできません。正しい部門コードを入力してください。

- 2 通常の操作を行います。

ログアウト

操作が終了したら、[ログアウト]キーを選択します。部門コードを入力する画面に戻ります。

ID不明ジョブ処理

ジョブの部門コードが不明のときの処理方法となります。
設定項目は次のとおりです。

項目	詳細
許可する	ジョブを処理します。
拒否する	ジョブを処理しません。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

2 設定する

- [▲][▼]キー > [ID不明ジョブ処理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [拒否する]または[許可する] > [OK]キー

管理者の設定

本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる管理者の管理者IDと管理者パスワードを設定します。

セキュリティ機能および部門管理機能を使用するときに、ここで設定した管理者ID と管理者パスワードで認証が行われ、正しく認証されたときに設定を行うことが可能になります。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [管理者] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

2 設定する

設定できる項目は、次のとおりです。

項目	詳細
IDの変更	管理者ID を設定できます。工場出荷時は、「3000」となります。 [▲]または[▼]キーを選択すると、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。変更するIDを入力してください。[◀]または[▶]キーを選択するとカーソルが左右に移動します。IDは1～16桁の数字で入力してください。
パスワードの変更	管理者パスワードを設定できます。工場出荷時は、「3000」となります。 [▲]または[▼]キーを選択すると、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。変更するパスワードを入力してください。[◀]または[▶]キーを選択するとカーソルが左右に移動します。IDは0～16桁の数字で入力してください。 参考 管理者パスワードは表示されません。

9 こんなときには

この章では、次の項目について説明します。

日常のお手入れ	9-2
清掃	9-2
トナーコンテナの交換	9-3
廃棄トナーボックスの交換	9-7
こまったときは	9-9
一般的な問題について	9-9
こんな表示がでたら	9-13
調整/メンテナンスメニューについて	9-21
紙づまりが発生したら	9-26

日常のお手入れ

清掃

印刷品質を保つため、定期的に本機を清掃します。



注意

本機の清掃を行うときは、安全上必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

搬送ユニット

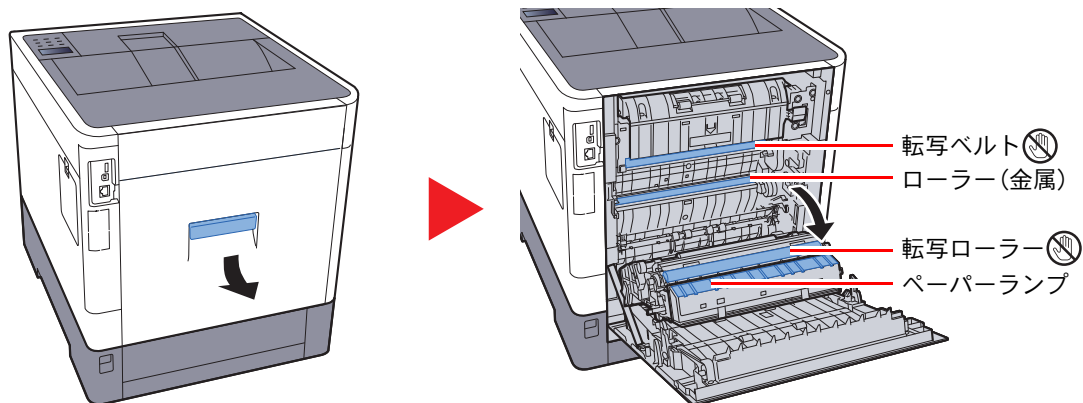
トナーコンテナや廃棄トナーボックスの交換時は、搬送ユニットの清掃をします。最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナ交換時以外にも月に1回程度は本体内部を清掃することをお勧めします。

搬送ユニットが汚れると、印刷した用紙の裏が汚れるなどの問題が起こる場合があります。



注意

本体の内部には高温になっている部分があります。火傷のおそれがありますのでご注意ください。



乾いた柔らかい布で、金属のローラーに付着している紙粉やペーパーランプ上の汚れを拭き取ります。



重要

清掃中は転写ローラーや転写ベルトに触れないようにご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

トナーコンテナの交換

トナー残量が少なくなってくると、メッセージディスプレイに「トナーが少なくなりました」と表示されます。新しいトナーコンテナをご用意ください。

メッセージディスプレイに「トナーを交換してください」が表示されたときは、すぐにトナーコンテナを交換してください。

トナーの色	トナーコンテナの型番
ブラック (K)	TK-5271K
シアン (C)	TK-5271C
マゼンダ (M)	TK-5271M
イエロー (Y)	TK-5271Y

トナーコンテナの交換時期

1本のトナーコンテナで印刷可能な枚数は、印刷データ（どれだけのトナーを使うか）によって変わります。JIS X 6932 (ISO/IEC 19798) に準拠し、エコプリントモードをオフで使用情况の場合、トナーコンテナの平均的な印刷可能枚数は以下のとおりです。（A4で印刷の場合。）

トナーの色	トナーコンテナの寿命 (印刷枚数)
ブラック (K)	8,000枚
シアン (C)	6,000枚
マゼンダ (M)	6,000枚
イエロー (Y)	6,000枚

参考

- 本機に付属しているトナーコンテナの平均的な印刷可能枚数は次のとおりです。
ブラック (K) は、3,500枚。シアン (C)、マゼンダ (M)、イエロー (Y) は、2,500枚。
- 品質維持のため、トナーコンテナは数々の品質検査に合格した弊社純正品の使用をお勧めします。
- 本製品のトナーコンテナに装着されているメモリーチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。



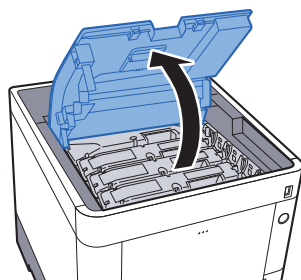
注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

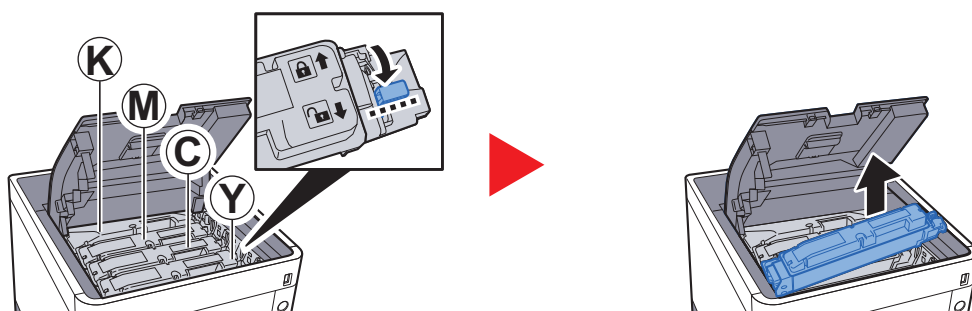
トナーコンテナの交換方法

トナーコンテナの交換手順は全色同じです。ここでは、イエローのトナーコンテナを例に説明します。

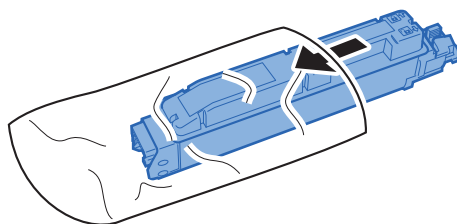
1



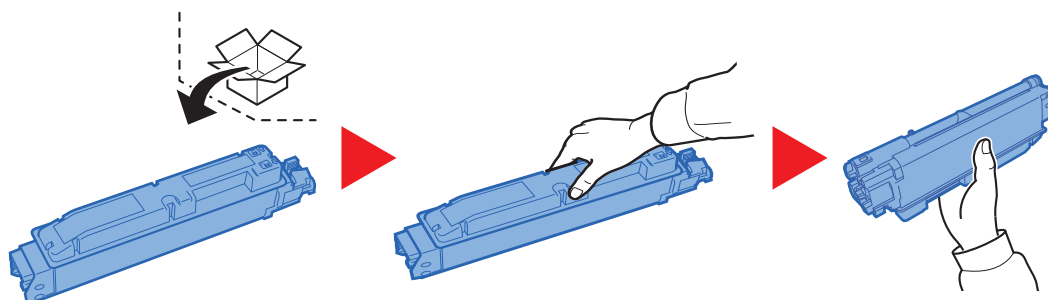
2



3

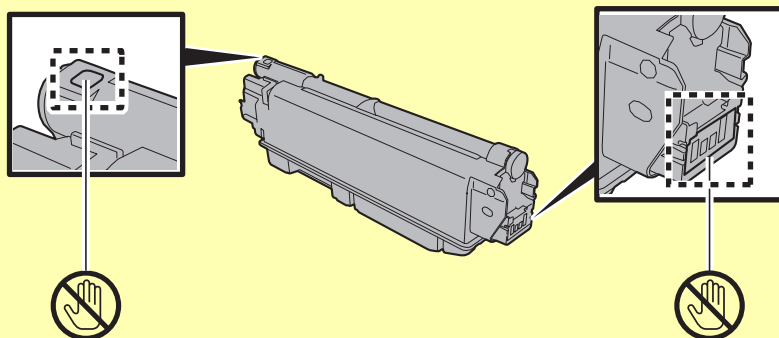


4

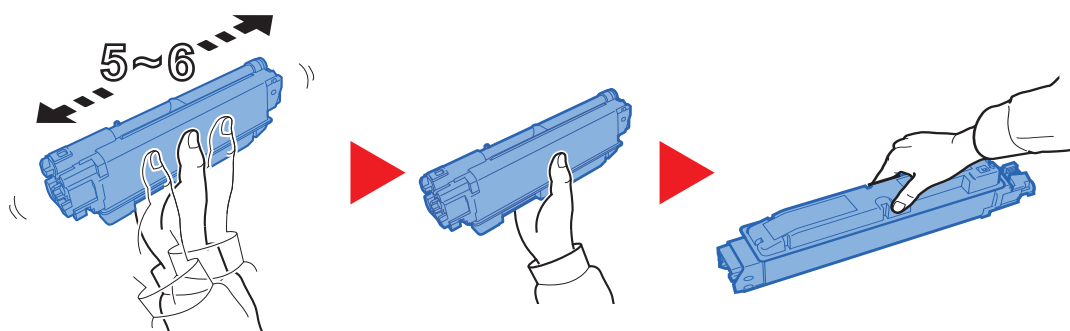


✓ 重要

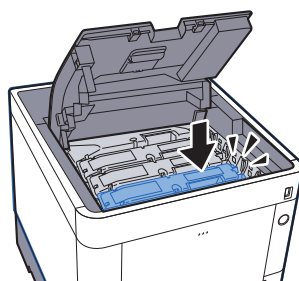
以下の箇所には手を触れないでください。



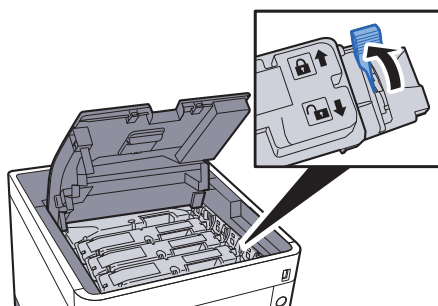
5



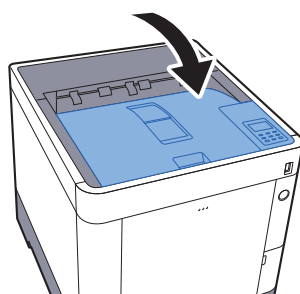
6



7



8



参考

- 上トレイが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しい位置にあるか(手順6) もう一度確認してください。
- 使用後、不要となったトナーコンテナは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

廃棄トナーボックスの交換

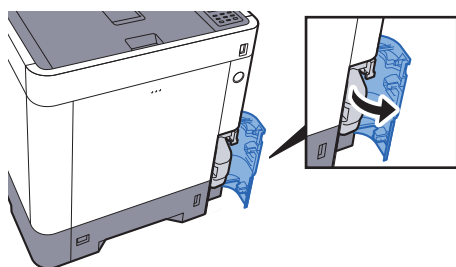
廃棄トナーボックスがいっぱいになったときは、すぐに廃棄トナーボックスを交換します。



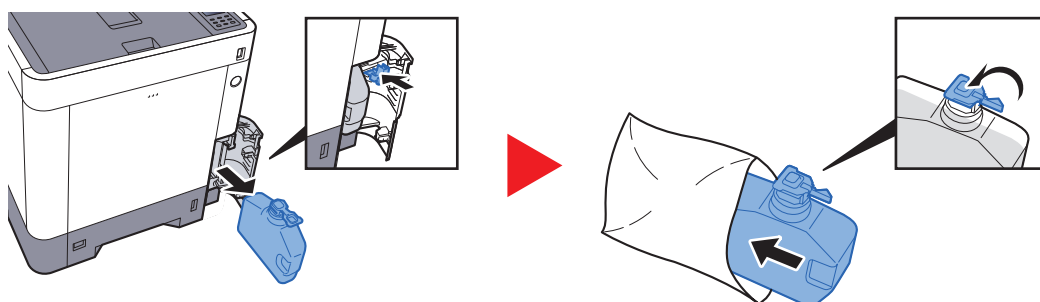
注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

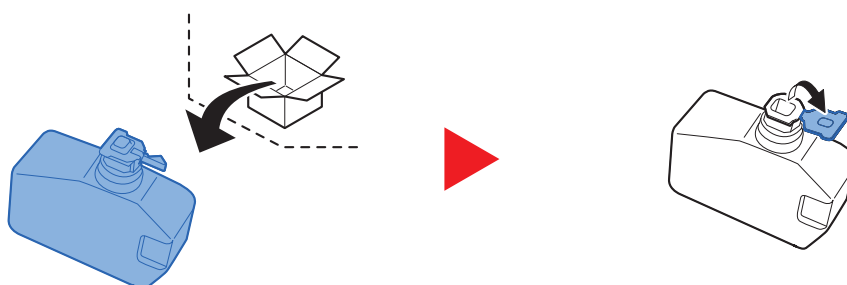
1



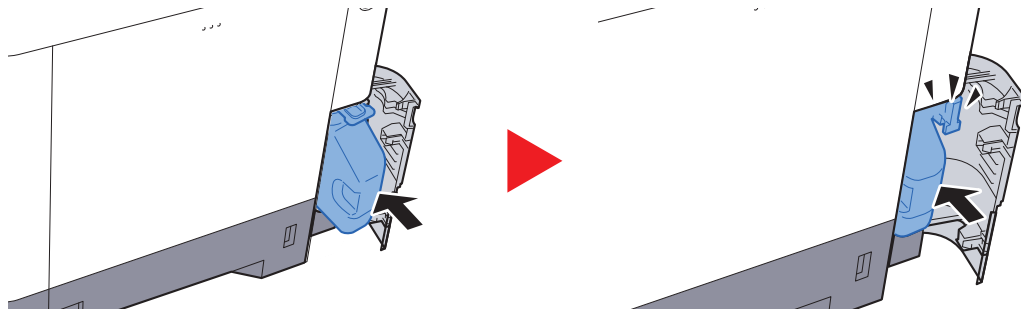
2



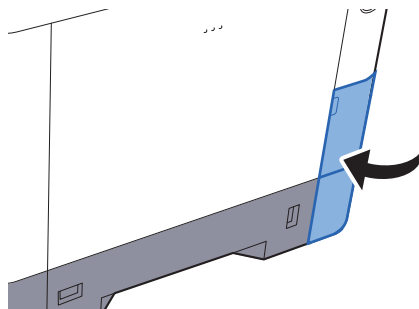
3



4



5



参考

使用后、不要となった廃棄トナーボックスは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収された廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

こまったときは

一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行ってください。

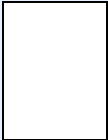
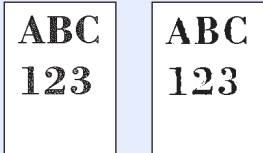
ここで説明する処置を行っても問題が解決されないときは、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。

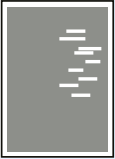
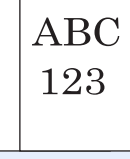
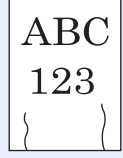


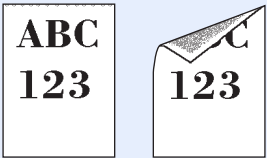
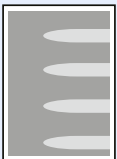
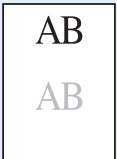
参考

お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。
シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。

➔ [シリアル番号の記載位置について \(iページ\)](#)

現象	確認事項	処置	参照ページ
電源を入れても、画面に何も表示されない。	電源コードを確認してください。	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	2-8ページ
何も印刷しない。 	—	アプリケーションソフトの設定を確認してください。	—
印刷が全体的にうすい。 	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-2ページ
	トナーコンテナをよく振り了吗か？	トナーコンテナを数回左右に振ってください。	9-3ページ
	エコプリントを設定していませんか？	【エコプリントモード】の設定を、【オフ】に切り替えてください。	7-10ページ
	—	【メニュー】キー > 【調整/メンテナンス】 > 【サービス】 > 【ドラム】を選択し、【OK】 > 【OK】を選択してください。	—
	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	7-8ページ
印刷がぼける。 	湿気が高い、または急激に温度や湿度が変化する場所で使用していませんか？	湿度が適切な環境で使用してください。	—
	—	【メニュー】キー > 【調整/メンテナンス】 > 【サービス】 > 【ドラム】を選択し、【OK】 > 【OK】を選択してください。	—
印刷位置がズレる。 	用紙が正しくセットされていますか？	カセットの用紙幅ガイドの位置を確認してください。	3-4ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
画像に不規則な横すじが入る。 	—	[メニュー]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス] > [MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
使用環境が標高1000 m以上の高地であり、画像に不規則な横白すじが入る。 	—	[メニュー]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス] > [高度調整]を選択し、現状の設定より1段階高い標高の設定値を設定してください。	—
使用環境が標高1000 m以上の高地であり、画像に色点が入る。 	—	[メニュー]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス] > [高度調整]を選択し、現状の設定より1段階高い標高の設定値を設定してください。	—
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-2ページ
	用紙の種類や保管状態は正しいですか？	用紙をカセットから一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	3-4ページ
	用紙がカールしたり、折れやシワがありませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-4ページ
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っていませんか？	つまった用紙を取り除いてください。	9-26ページ
用紙が2枚以上重なってでる。(重送) 	—	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-2ページ
用紙にシワが発生する。 	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-2ページ
	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。	3-2ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
用紙にカールが発生する。 	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。	3-2ページ
印刷が開始されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか？	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	—
	電源が入っていますか？	電源スイッチを入れてください。	2-9ページ
	USBケーブルやネットワークケーブルが、正しく接続されていますか？	USBケーブルやネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-7ページ
USBメモリーで印刷できない。 USBメモリーを認識しない。	USBホストの設定が、[ブロックする]になっていませんか？	USBホストの設定を、[ブロックしない]に変更してください。	7-25ページ
	—	USBメモリーが、本機にしっかり接続されているか確認してください。	—
用紙の先端や裏側が汚れる 	本体内部が汚れていませんか？	本体内部を清掃してください。	9-2ページ
画像の一部が周期的にうすい、または白いすじが入る。 	—	後ろカバーを開けて、閉め直してください。	—
	—	[メニュー]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス] > [MC]を選択し、設定値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ小さくしてください。1段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
色ずれが起こる。 	—	[カラー調整]を実行してください。	9-21ページ
	—	[カラー印刷位置補正]を実行してください。	9-21ページ
印刷で思ったとおりの色がでない。	—	【パソコンからの印刷の場合】 プリンタードライバーでカラーの調整をしてください。	—
前の画像が周期的にうすく残る。 	—	[メニュー]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス] > [MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—

現象	確認事項	処置	参照ページ
カラートナーがなくなった。	白黒で印刷しますか？	黒トナーがある場合、「カラートナーなし時印刷」の[すべて白黒で印刷]を設定すると、一時的に白黒で印刷できます。	7-22ページ
排紙口付近から湯気が出る	本機を使用している場所の温度が低くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	本機を使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。	—

こんな表示がでたら

メッセージディスプレイにメッセージが出たときには、それぞれ確認事項と処理方法を参考に問題を解決してください。

問題が解決されないときは、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。



参考

お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。
シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。

➡ [シリアル番号の記載位置について \(iページ\)](#)

英数字

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
Error.Power off F###	—	プリンターコントローラーのエラーが発生してプリンターは停止しました。電源を入れ直して復帰するかご確認ください。改善されない場合、「###」の表示をメモに控え、その後プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。	—
Error.Power off F000	—	プリンターコントローラーと操作パネル間のデータのやり取りができません。電源を入れ直して復帰するかご確認ください。改善されない場合、プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。	—
Google Cloud Printに登録しますか？	—	プリンターにGoogle Cloud Printのデバイス登録要求が来ると表示されます。[OK]キーを選択すると、本機がGoogle Cloud Printのデバイスとして登録されます。[キャンセル]キーを選択すると、デバイス登録をキャンセルします。	—
IDが違います	—	プライベートプリントもしくはジョブ保留モードで印刷する時に、入力したアクセスコードと設定したアクセスコードが違います。正しいアクセスコードを確認してください。	4-9ページ 4-11ページ
KPDLエラー 解除を押してください	—	PostScriptエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。	—
MKを交換してください	—	メンテナンスキットの交換が必要です。メンテナンスキットは、約200,000イメージの印刷ごとに交換します。お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
RAMディスクエラー 解除を押してください	—	RAMディスクでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 04: RAMディスク上の空き容量が足りません。オプションのRAMディスクを装着している場合は、メニューの「RAMディスクモード」でRAMディスクサイズを大きくしてください。	7-21ページ
SSDエラーです 解除を押してください	—	SSDでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 01: 一度に保存できるデータ容量を超えています。電源をOFF/ONしてください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。それでも解消されない場合は、指定されたファイルが壊れている可能性があります。ファイルを削除してください。 04: SSD上の空き容量が足りません。データを移動する、または不要なデータを削除してください。	—
SSDのフォーマットが必要	—	SSD (HD-6/HD-7) がフォーマットされていないため、データの読み取りまたは書き込みができません。SSDをフォーマットしてください。	7-21ページ
USBメモリーエラー 解除を押してください	—	USBメモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 01: 一度に保存できるデータ容量を超えています。電源をOFF/ONしてください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。それでも解消されない場合は外部メモリーが本機の仕様に適していません。	—

あ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
印刷制限されています 解除を押してください	—	部門管理機能がオンの状態で、部門ごとに設定された印刷の制限方法が印刷禁止の時、印刷しようとした場合に表示されます。[印刷可/解除]キーを選択すると印刷可能な状態に戻ります。	8-10ページ
印刷制限を超えました 解除を押してください	—	部門管理機能がオンの状態で、部門ごとに設定された印刷の制限枚数を超えて印刷しようとした場合に表示されます。[印刷可/解除]キーを選択すると印刷可能な状態に戻ります。	8-10ページ
上カバーを閉じてください	開いているカバーはありませんか？	プリンターの上カバーが開いています。上カバーを閉めてください。	—
上トレイの用紙を取り除いてください	—	上トレイに用紙がたまっています。上トレイにある用紙をすべて取り除いてください。上トレイには約250枚まで収納できます。用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。	—
後カバーを閉じてください	開いているカバーはありませんか？	プリンターの後カバー、またはオプションのペーパーフィーダーの後カバーが開いています。表示された番号の後カバーを閉めてください。	—

か行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
カセット○から給紙します 用紙サイズ ↑↓ カセット○から給紙します 用紙種類	—	印刷データと一致した給紙カセット内(用紙サイズ、用紙種類)に用紙がありません。操作パネルに表示された給紙カセットに用紙をセットし、[印刷可/解除]キーを選択すると、印刷を再開します。 違う給紙元から印刷をしたい場合は、[メニュー]キーを選択して表示される用紙に給紙元の設定を合わせると、エラーは解除されます。	7-9ページ
カセット○が抜けています	—	給紙カセットが入っていません。表示された番号の給紙カセットを正しく入れてください。	—
カセット○に用紙がありません	表示されている給紙元の用紙がなくなっていますか？	給紙元の用紙がなくなりました。表示された給紙元(給紙カセットまたはオプションのペーパーフィーダー)に、要求された用紙を補給してください。	3-2ページ
カセット○を確認してください	—	カセットを引き出してから閉じてください。	—
カセット準備中	—	選択している給紙カセットが準備中です。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
紙づまりです #####	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	9-26ページ
給紙経路が開いています	—	プリンターに給紙カセットが装着されていないか、正しく装着されていません。給紙カセットを正しく装着してください。オプションのペーパーフィーダーを装着し、下段のペーパーフィーダーを給紙元として選択している際に、上段のペーパーフィーダーまたはプリンターの給紙カセットが正しく装着されていない場合に表示されます。	—
権限がありません。	—	管理者および機器管理者権限が必要なメニューに入ろうとした場合に表示されます。	—
高温環境を検知 室温調整してください	—	機械設置場所の空調温度を調整してください。	—

さ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
サーバーに接続できません 解除を押してください	—	認証サーバーに接続できませんでした。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。サーバーとの接続状況を確認してください。	—
サービスをお呼びください F###	—	プリンターコントローラーのエラーが発生してプリンターは停止しました。「F###」の表示をメモに控え、その後プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。	—
サービスをお呼びください ####:0123456	—	機械的なエラーが発生してプリンターは停止しました。「#」に4桁の数字やアルファベットが表示され、プリンターの総印刷ページ数も同時に表示されます。「#」の表示をメモに控え、その後プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。	—
再起動できません 解除を押してください	—	オプションネットワークの再起動に失敗しました。もう一度再起動してください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
指定外のトナー PC [C][M][Y][K]	装着されたトナーの仕向け地が、本体仕向け地と一致していますか？	本体仕向け地と一致したトナーを使用してください。	—
指定外のトナーです。	装着されたトナーは純正消耗品(指定トナー)ですか？	純正消耗品以外の消耗品(指定外トナー)が原因の故障については、責任を負いかねますのでご了承ください。 純正品トナーコンテナへの交換をお勧めいたします。 装着中のトナーコンテナを使い続ける場合は、[OK]キーと[キャンセル]キーを同時に3秒以上押すことで印刷を継続します。	—
使用を禁止しました。 ログインできません。	—	規定回数以上、ログインに失敗した後、再度ログインしようとした場合に表示されます。	—
ジョブを実行できません 解除を押してください	—	認可設定によりジョブが実行できませんでした。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。	—
ジョブを保存できません 解除を押してください	—	ジョブボックス機能を使った印刷時に、SSDやRAMディスクの容量が不足している、またはSSD未装着時にRAMディスクが無効となっているため、印刷できませんでした。[印刷可/解除]キーを選択すると、エラーレポートを出力し、印刷可能な状態に戻ります。	—
セキュリティーレベルが 低いです	—	セキュリティーレベルを低い設定にしているとき表示されます。	—
選択された機能は設定で きません。	—	ユーザーが認可されていない機能を使おうとした場合に表示されます。	—

た行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
代用給紙しますか？ #####	—	印刷データと一致した給紙カセット内(用紙サイズ、用紙種類)に用紙がないときに表示されます。[▲][▼]キーで代用の給紙元を選択し、[OK]キーを選択すると印刷が再開されます。	—
低温環境を検知 室温調整してください	—	機械設置場所の空調温度を調整してください。	—
データキャンセル中	—	データのキャンセル中に表示されます。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
手差しから給紙します 用紙サイズ ↑↓ 手差しから給紙します 用紙種類	—	印刷データと一致した手差しトレイ（用紙サイズ、用紙種類）に用紙がありません。手差しトレイに用紙をセットし、[印刷可/解除]キーを選択すると、印刷を再開します。 違う給紙元から印刷をしたい場合は、[メニュー]キーを選択して表示される用紙に給紙元の設定を合わせると、エラーは解除されます。	7-9ページ
手差しトレイに 用紙がありません	表示されている給紙元の用紙がなくなっていますか？	給紙元の用紙がなくなりました。手差しトレイに、要求された用紙を補給してください。	3-7ページ
デバイス使用中です	—	USBメモリー使用中に、取り外しメニューを実行した場合に表示されます。1、2秒表示された後、直前の表示に戻ります。	—
トナーが少なくなりました [C][M][Y][K]	—	トナーコンテナの交換時期が近づいています。トナーコンテナを準備してください。	—
トナーコンテナを確認してください	—	トナーコンテナが正しく装着されていません。トナーコンテナを正しく装着してください。	9-3ページ
トナーコンテナを振ってください。[C][M][Y][K]	—	トナーコンテナを振ってセットし直してください。	9-3ページ
トナーを交換してください [C][M][Y][K]	—	当社指定のトナーコンテナに交換してください。 黒トナーが残っている場合は、[印刷可/解除]キーを選択すると一時的に白黒で印刷できます。	9-3ページ

な行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
認証サーバーに接続できません。	—	本機の時刻とサーバーの時刻を合わせてください。	2-14ページ
	—	サーバーとの接続状況を確認してください。	—

は行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
廃棄トナーカバーを閉じてください	開いているカバーはありませんか？	廃棄トナーカバーを閉じてください。	—
廃棄トナーボックスを確認してください	—	廃棄トナーボックスが正しくセットされていません。廃棄トナーボックスを正しくセットしてください。	9-7ページ
	廃棄トナーボックスがいっぱいになっていませんか？	廃棄トナーボックスを交換してください。	9-7ページ
パスワードが違います	—	入力したパスワードと設定したパスワードが違います。正しいパスワードを確認してください。	8-21ページ

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
複数印刷できません 解除を押してください	—	SSDあるいはRAMディスクが装着されていないため、複数部印刷できません。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。 SSDを装着して、RAMディスクの設定を行ってください。	—
部門管理設定エラー 解除を押してください	—	外部からジョブを実行する際に、部門管理の設定に失敗しました。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。	—
部門コードが違います 解除を押してください	—	部門管理機能がオンの状態で、送信された印刷ジョブに部門指定がされていなかった場合や、指定された部門が登録されていなかった(誤った部門が指定されていた)場合に表示されます。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。	8-9ページ
部門の登録ができません	—	部門管理メニューで、部門を登録する際に入力された部門コードがすでに存在するとき表示されます。	8-9ページ
部門指定してください	—	部門コードの入力が必要です。部門管理機能がオンの状態で、ジョブボックスからの印刷やステータスページなど、パネル操作による印刷を行おうとした場合に表示されます。	—
ボックスを使用できません 解除を押してください	—	指定されたボックスを使用する権限がありません。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。	—

ま行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
メモリーオーバーフロー 解除を押してください	—	プリンターのメモリーが不足しています。メモリーを増設してください。印刷を再開するには[印刷可/解除]キーを選択してください。印刷を中止する場合は、[キャンセル]キーを選択してください。	—

ら行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
両面印刷できません 解除を押してください	両面印刷できないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	両面印刷可能な用紙を選択する場合は、[メニュー]を選択してください。両面印刷を解除して印刷をする場合は、[印刷可/解除]キーを選択してください。	—
ログイン情報が違います 解除を押してください	—	外部からジョブを実行する際に、ログインユーザー名またはパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[印刷可/解除]キーを選択してください。	—

調整/メンテナンスメニューについて

カラー調整

長期間の使用や、周辺の温度や湿度の影響で、カラー出力の色合いが変わってきたり、色ずれが起こったりすることがあります。この機能を使うと、色合いと色ずれの微調整をして最適なカラーで印刷できるようになります。このカラー調整を実行しても色合いや色ずれが改善されないときは、以下を参照してください。

➡ [カラー位置補正 \(9-21ページ\)](#)

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [調整/メンテナンス] > [▶]キー

2 調整する

[▲][▼]キー > [カラー調整の実行] > [OK]キー > [OK]キー

カラー調整が実行され、終了後、調整/メンテナンスに戻ります。

カラー位置補正

色ずれを補正します。標準の補正で解消できない場合や、より精密な補正が必要な場合は詳細補正を行ってください。



参考

カラー位置補正を行うときは、カセットにA4 の用紙がセットされていることを確認してください。



重要

カラー位置補正は、先にカラー調整([9-21ページ参照](#))を実行し、それでも色ずれが改善しない場合にのみ実行してください。カラー調整を行わずにカラー位置補正を実行すると、実行時は色ずれが解消されますが、後で大きな色ずれが発生する可能性があります。

通常の補正

1 画面を表示する

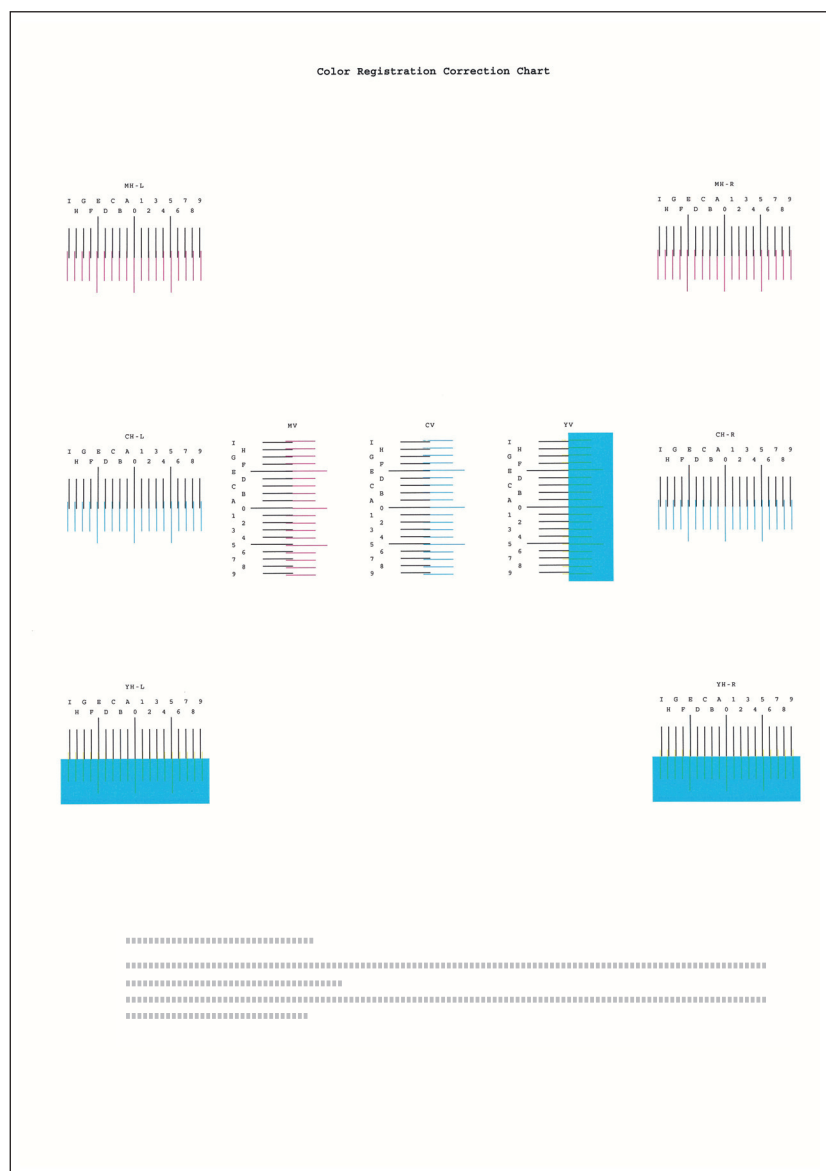
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [調整/メンテナンス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [カラー位置補正 標準] > [▶]キー

2 チャートを印刷する

[▲][▼]キー > [補正チャートの印刷] > [OK]キー > [OK]キー

チャートが出力されます。チャートにはM(マゼンタ)、C(シアン)、Y(イエロー)各色について、H-L(左)、V(中央)、H-R(右)の3種類のチャートが1枚の用紙に印刷されます。

チャートサンプル

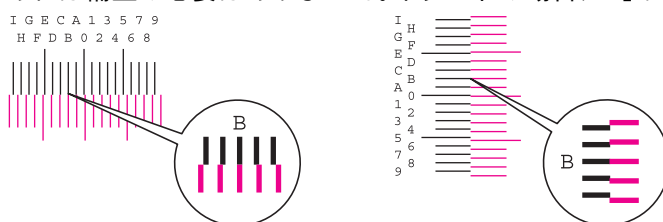


3 補正メニューを表示します。

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [調整/メンテナンス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [カラー位置補正 標準] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [マゼンタの補正] > [OK]キー
マゼンタの補正メニューが表示されます。

4 数値を入力する

- 1 それぞれのチャートから、2つの線が最もよく合っている箇所を見つけます。「0」の位置であれば補正の必要はありません。イラストの場合、「B」が設定すべき値です。



- 2 [◀]または[▶]キーを選択して、L、V、Rの項目を変更し、[▲]または[▼]キーを選択して、チャートから読み取った値を入力し、[OK]キーを選択してください。
[▲]キーを選択すると、値が0 から9 へと進みます。逆に進むときは[▼]キーを選択してください。
[▼]キーを選択すると、値が0 からアルファベットになり、A からI へと進みます。逆に進むときは[▲]キーを選択してください。
- 3 [OK]キーを選択します。
マゼンタの補正が完了します。
- 4 手順3～4を繰り返して、シアン、イエローの補正を行ってください。

詳細設定

1 画面を表示する

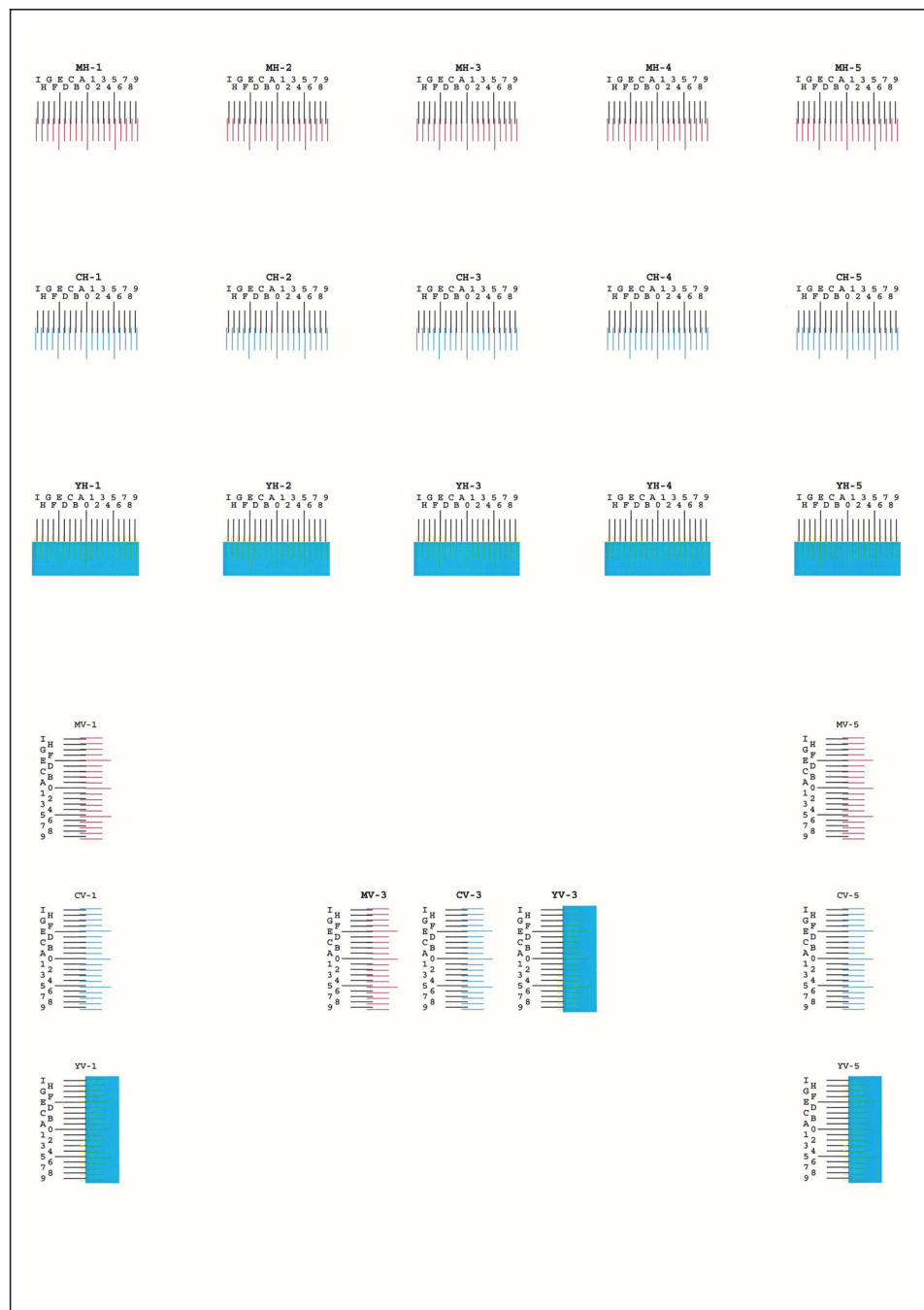
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [調整/メンテナンス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [カラー位置補正 詳細] > [▶]キー

2 チャートを印刷する

[▲][▼]キー > [補整チャートの印刷] > [OK]キー > [OK]キー

チャートが出力されます。チャートにはM(マゼンタ)、C(シアン)、Y(イエロー)各色について、H-1～5(上部)、V-1～5(下部)のチャートが印刷されます

チャートサンプル



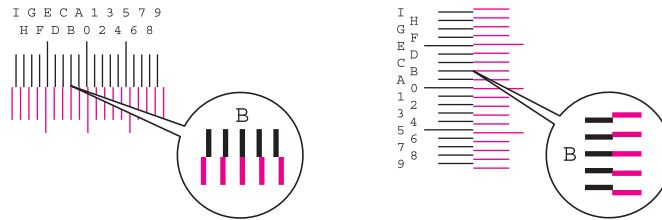
3 補正メニューを表示します。

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [調整/メンテナンス] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [カラー位置補正 詳細] > [▶]キー > [▲][▼]キー > [M 12345 3] > [OK]キー

マゼンタの補正メニューが表示されます。

4 数値を入力する

- 1 それぞれのチャートから、2つの線が最もよく合っている箇所を見つけます。「0」の位置であれば補正の必要はありません。イラストの場合、「B」が設定すべき値です。



H-1～5のチャートからはH-1～5の数値を読み取ります。

V-1～5のチャートからはV-3(中央)の数値のみを読み取ります。

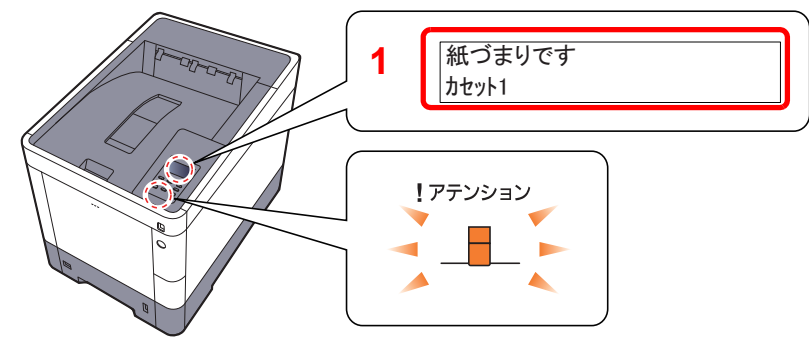
- 2 [◀]または[▶]キーを選択して、H、Vの項目を変更し、[▲]または[▼]キーを選択して、チャートから読み取った値を入力し、[OK]キーを選択してください。
[▲]キーを選択すると、値が0 から9 へと進みます。逆に進むときは[▼]キーを選択してください。
[▼]キーを選択すると、値が0 からアルファベットになり、A からI へと進みます。逆に進むときは[▲]を選択してください。
- 3 [OK]キーを選択します。
マゼンタの補正が完了します。
- 4 手順3～4を繰り返して、シアン、イエローの補正を行ってください。

紙づまりが発生したら

紙づまりが発生すると、印刷が停止し、メッセージディスプレイに「紙づまりです。」が表示されます。
以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除きます。

紙づまり位置表示

1 紙づまりの位置情報を表示します。



 **参考**

本機はオンラインヘルプメッセージ機能により、紙づまりの処理方法がメッセージディスプレイに表示されます。紙づまりのメッセージが表示された場合は、**[H]**キーを選択してください。ヘルプ画面については、以下を参照してください。

➡ [ヘルプ画面の使いかた \(2-12ページ\)](#)

紙づまりが発生すると、メッセージディスプレイに紙づまり位置表示と処置方法が表示されます。

紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
紙づまりです 手差しトレイ	手差しトレイ	9-27ページ
紙づまりです カセット1(～4)	カセット1～4	9-29ページ
後カバー	後ろカバー1(搬送)	9-30ページ
紙づまりです 後ろカバー2	後ろカバー2	9-31ページ
紙づまりです 後ろカバー3	後ろカバー3	9-33ページ
紙づまりです 後カバー	後ろカバー1	9-34ページ
紙づまりです 両面ユニット	両面ユニット	9-36ページ

紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットし直されます。

注意事項

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

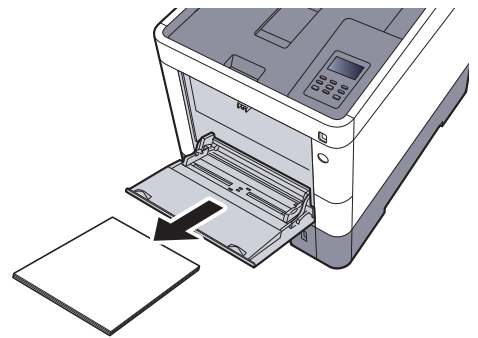
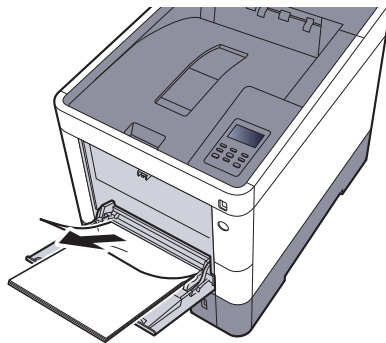


注意

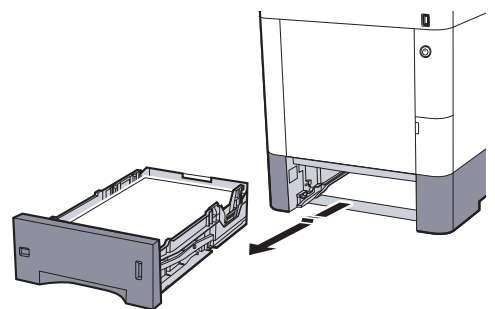
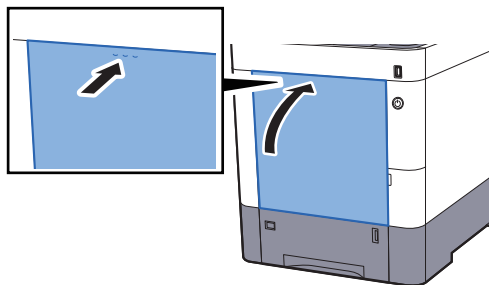
本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

手差しトレイ

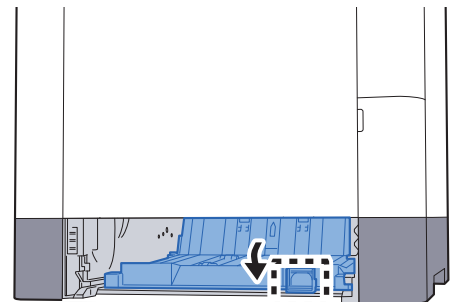
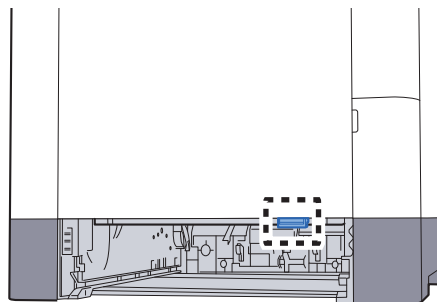
1



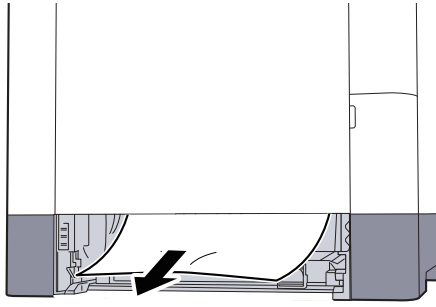
2



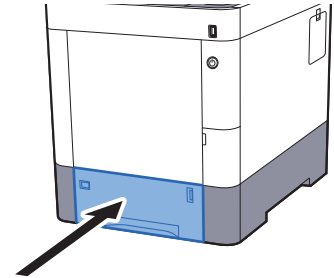
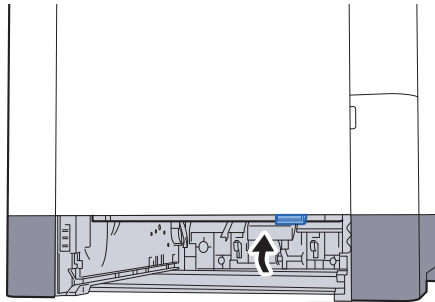
3



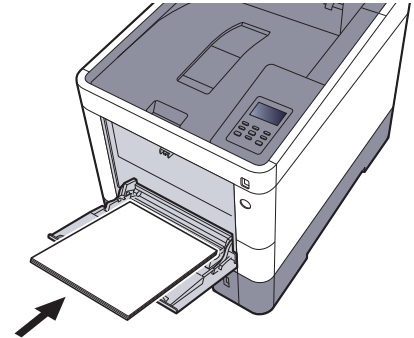
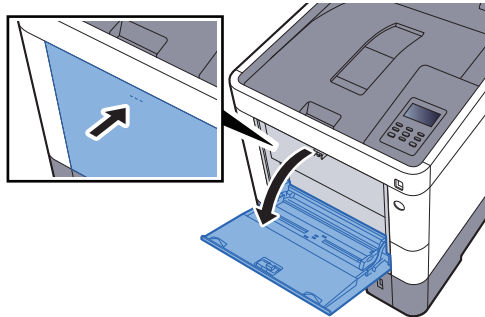
4



5



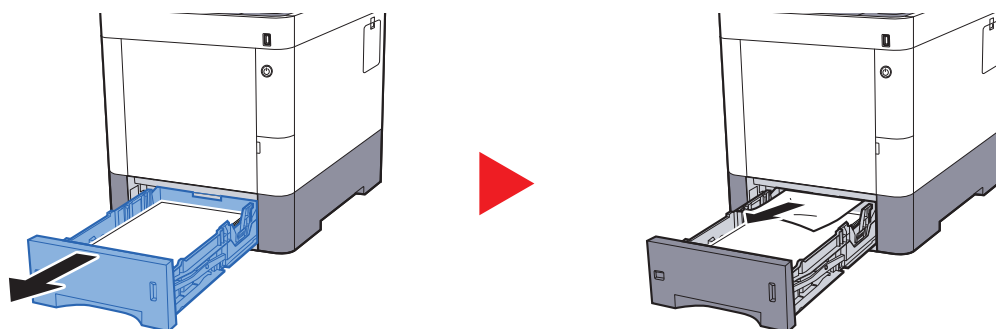
6



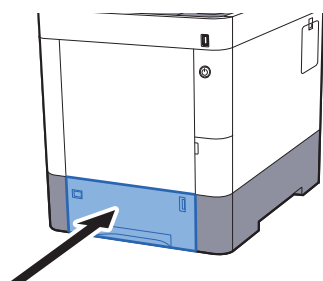
カセット1～4

カセット1～4の紙づまりの処置方法はすべて同じです。ここではカセット1を例に説明します。

1

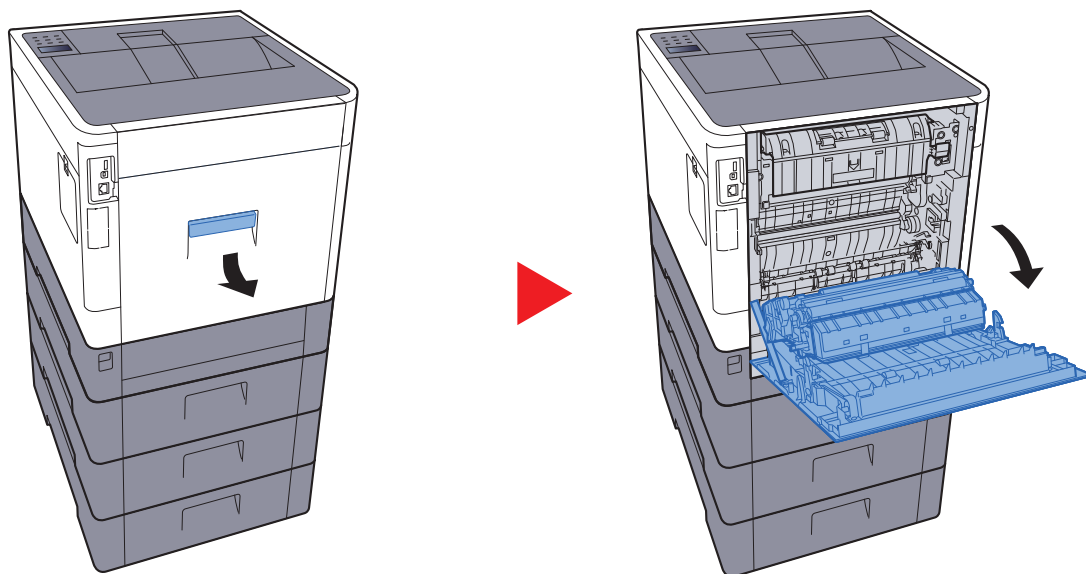


2



後ろカバー1(搬送)

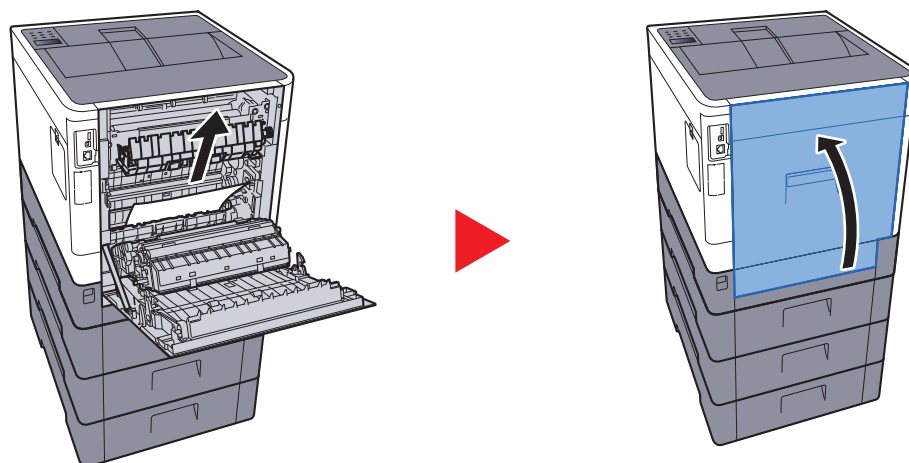
1



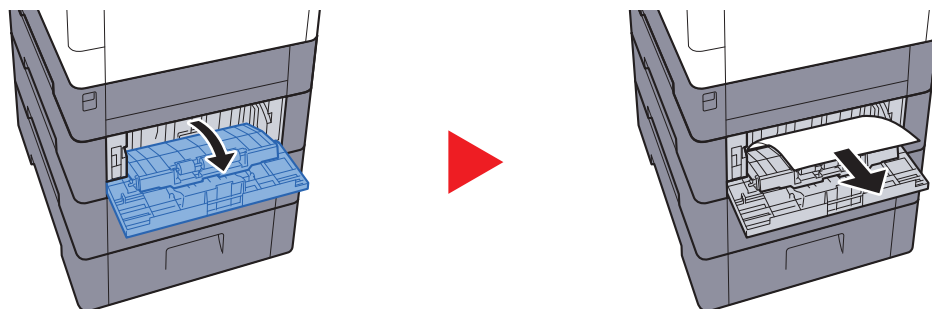
注意

本体の内部には高温になっている部分があります。火傷のおそれがありますのでご注意ください。

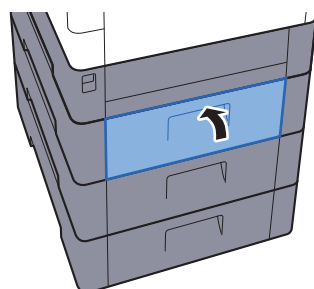
2



3

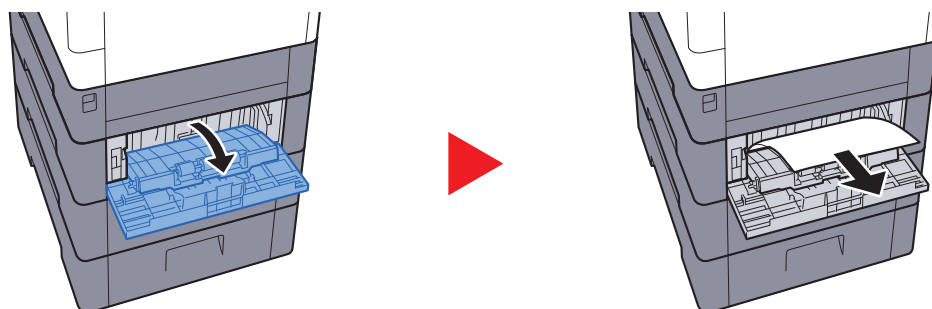


4



後ろカバー2

1

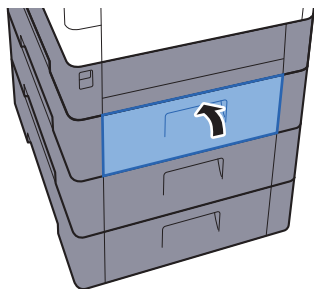


参考

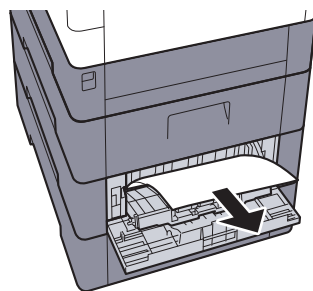
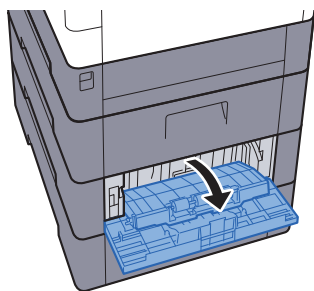
用紙が取り出せない場合は、無理に取り出さないでください。

➡ [後ろカバー1\(搬送\) \(9-30ページ\)](#)

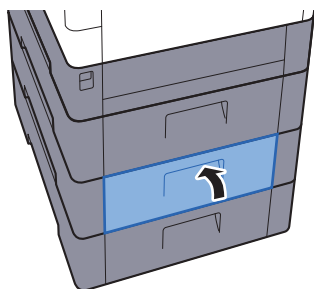
2



3

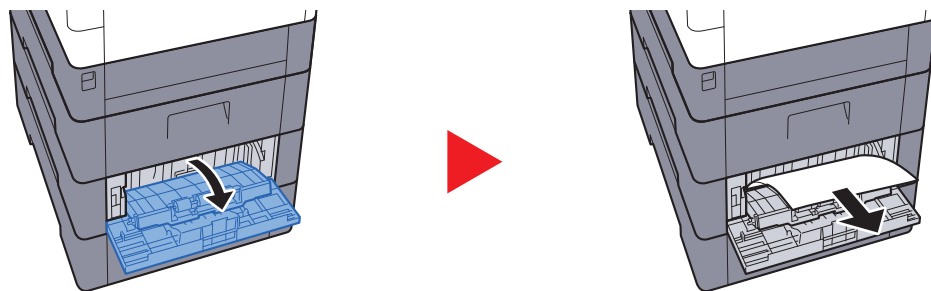


4



後ろカバー3

1

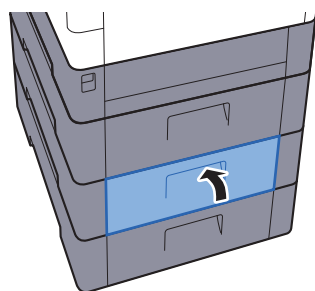


参考

用紙が取り出せない場合は、無理に取り出さないでください。

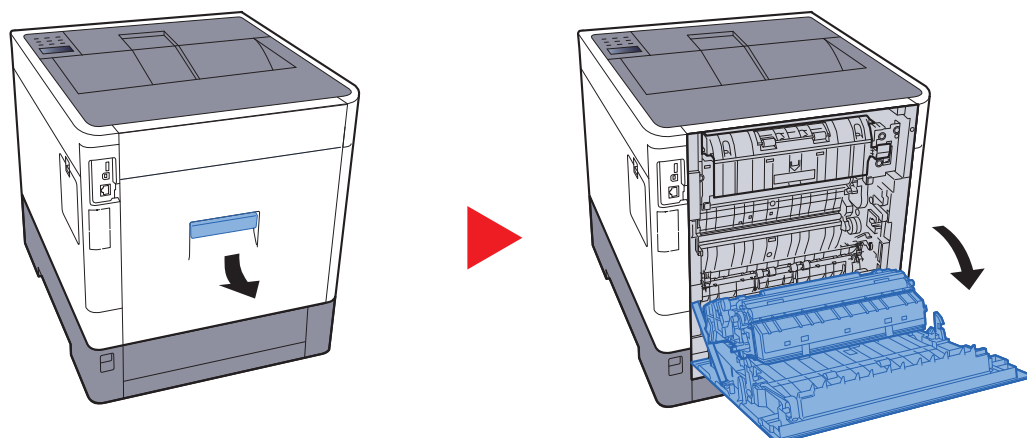
➡ [後ろカバー1\(搬送\) \(9-30ページ\)](#)

2



後ろカバー1

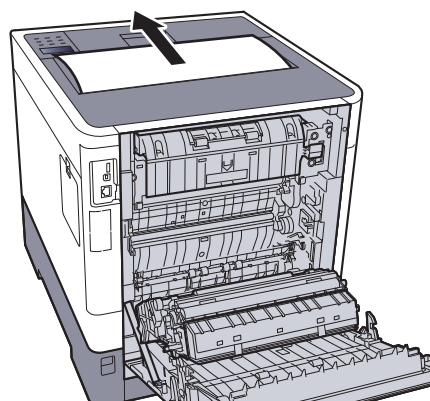
1



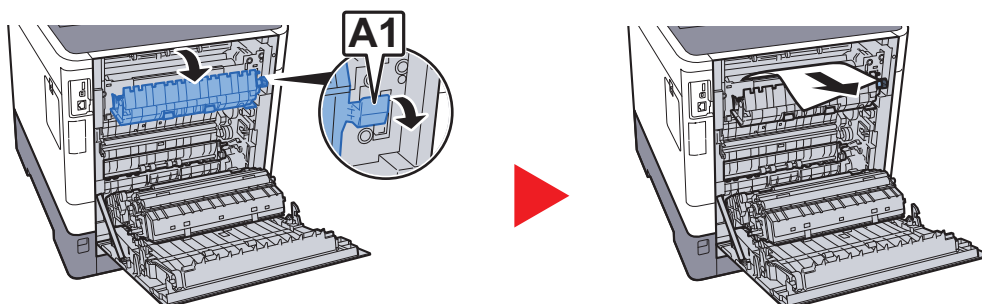
注意

本体の内部には高温になっている部分があります。火傷のおそれがありますのでご注意ください。

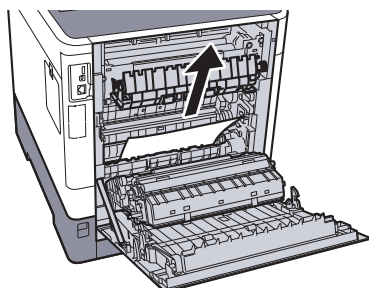
2



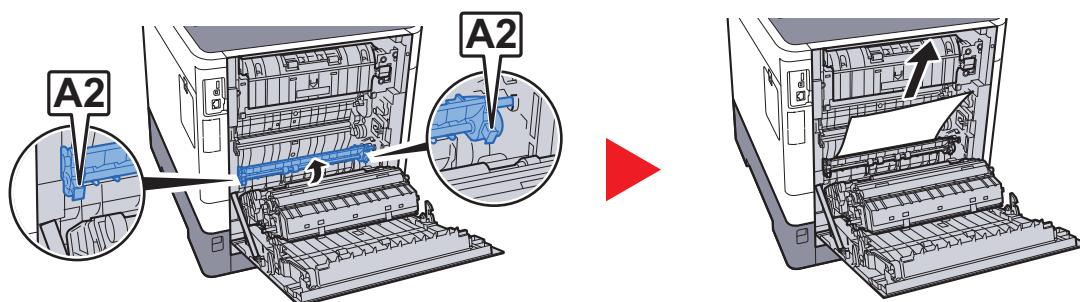
3



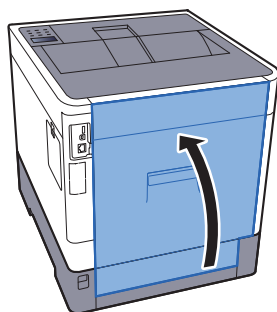
4



5

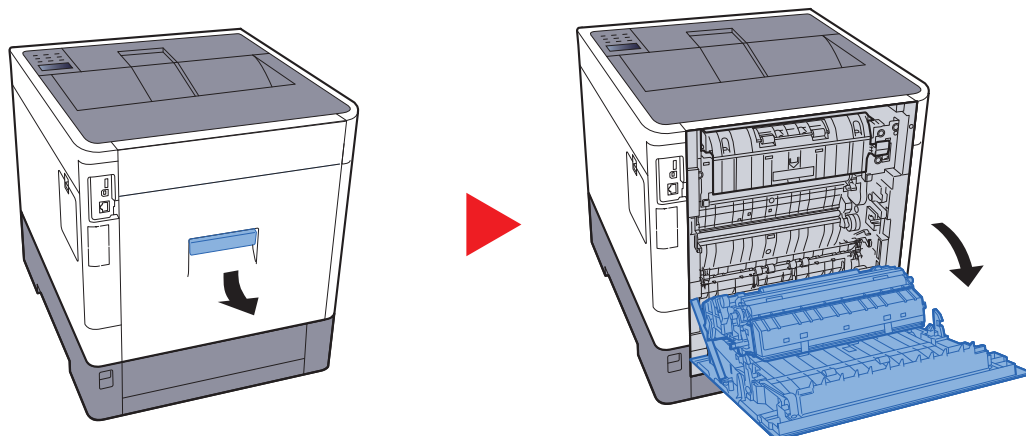


6



両面ユニット

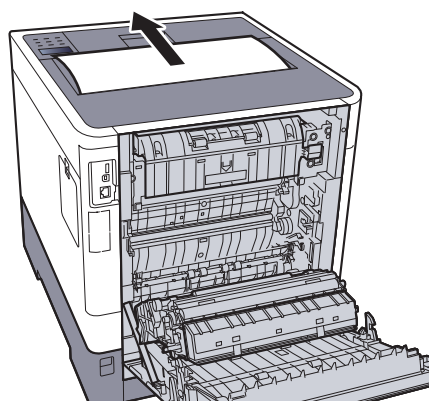
1



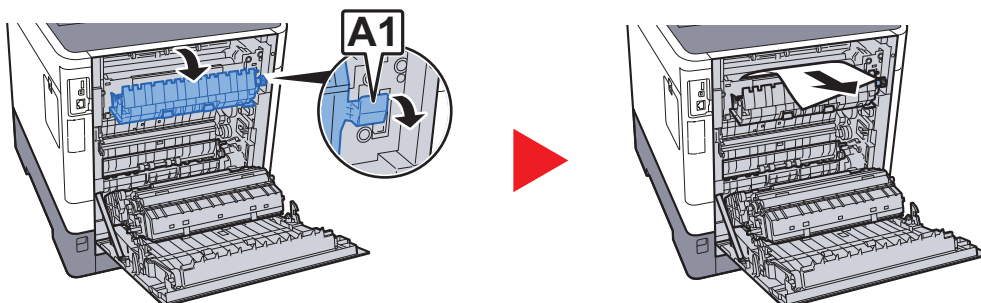
⚠ 注意

本体の内部には高温になっている部分があります。火傷のおそれがありますのでご注意ください。

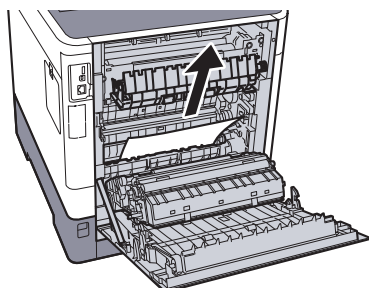
2



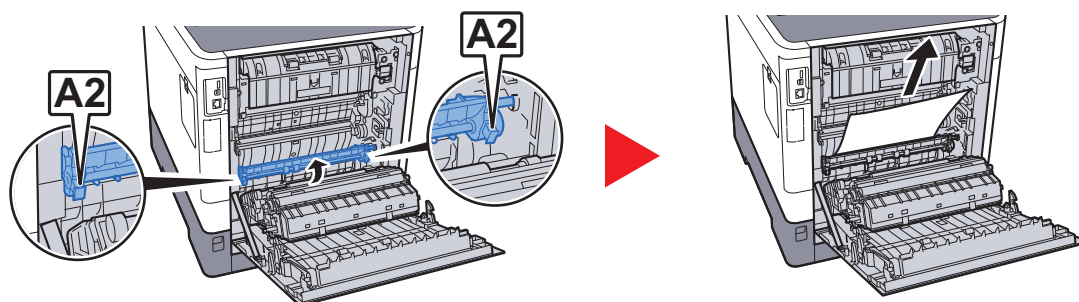
3



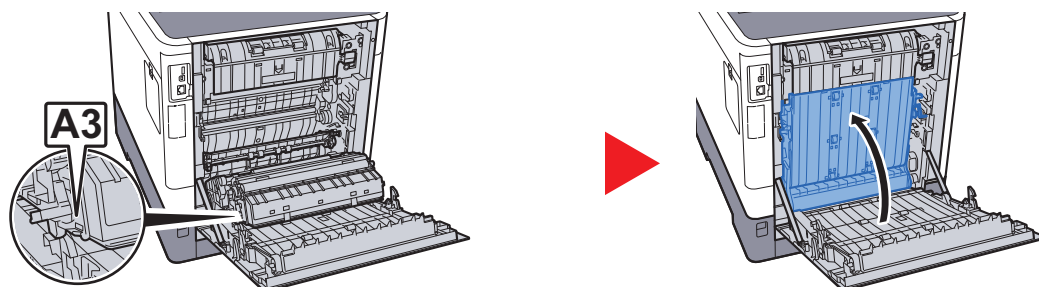
4



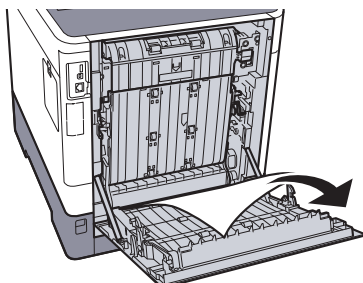
5



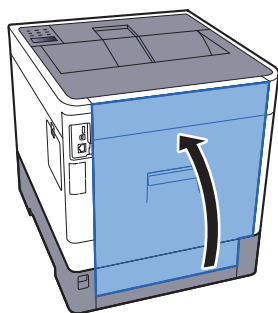
6



7



8



10 付録

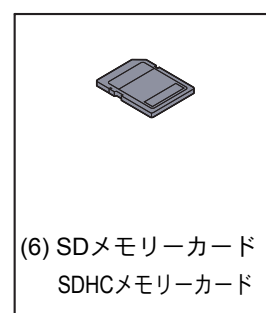
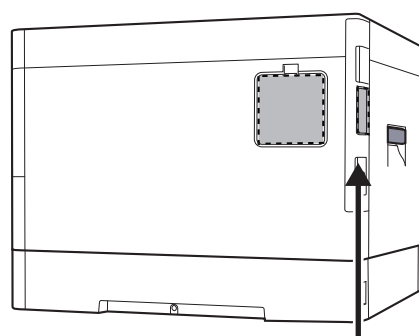
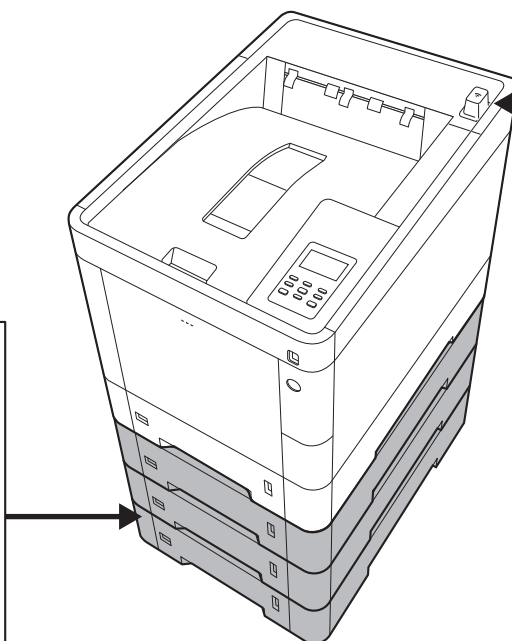
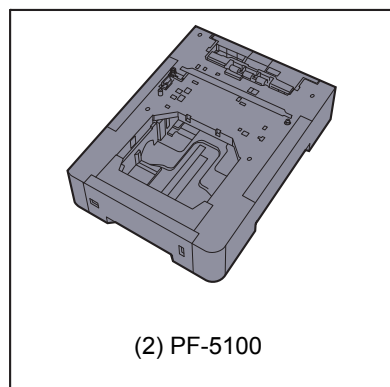
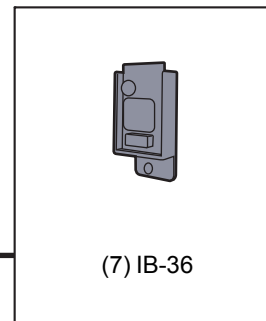
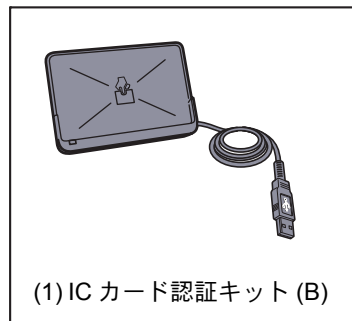
この章では、次の項目について説明します。

オプションについて	10-2
オプション構成	10-2
オプションのアプリケーションについて	10-6
用紙について	10-9
用紙の基本仕様	10-9
適正な用紙の選択	10-10
特殊な用紙	10-13
仕様	10-18
本体	10-18
プリンター機能	10-20
ペーパーフィーダー (500枚×1)	10-20
環境設定コマンド	10-21
環境設定コマンドの設定	10-21
FRPOパラメーター	10-21
補修用性能部品について	10-28
廃棄について	10-28
使用済み製品の廃棄	10-28
初期化について	10-28
トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄	10-28
用語集	10-29

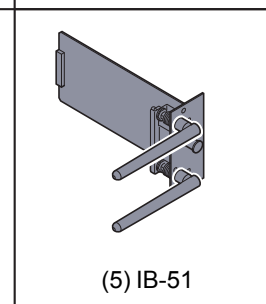
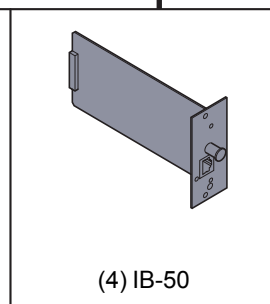
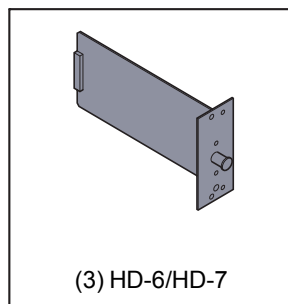
オプションについて

オプション構成

本機では、次のオプションが使用できます。



ソフトウェアオプション
(8) Data Security kit(E)
(9) UG-33



(1) ICカード認証キット(B) <ICカード認証キット>

ICカードでユーザー認証を行うことができます。ICカードで認証を行うには、事前に登録したローカルユーザーリストにICカード情報を登録する必要があります。登録方法は、次を参照してください。

➡ [ICカード認証キットの使用説明書](#)

(2) PF-5100 <ペーパーフィーダー(500枚×1)>

本体のカセットと同様のものを3段増設することができます。用紙のセットのしかたは標準カセットと同じです。

➡ [カセットにセットする\(3-4ページ\)](#)

(3) HD-6/HD-7<SSD>

SSDは印刷データの保存に使います。複数部印刷する時は、電子ソート機能で高速な印刷が可能になるなどのメリットがあります。また、文書ボックス機能を使用することもできます。

➡ [文書ボックスとは\(5-3ページ\)](#)

(4) IB-50 <ネットワークインターフェイスキット>

ネットワークインターフェイスキットは、通信速度が1ギガビット/秒に対応する高速のインターフェイスです。TCP/IP、NetBEUIプロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIXなどのさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

➡ [IB-50の使用説明書](#)

(5) IB-51 <ワイヤレスインターフェイスキット>

無線LAN規格IEEE802.11n(MAX 300Mbps)および11g/bに対応した無線LANネットワークインターフェイスカードです。

付属のユーティリティーによって多彩なOSやネットワーク・プロトコルに対して設定が可能です。

➡ [IB-51の使用説明書](#)

(6)SD/SDHCメモリーカード

SD/SDHCメモリーカードはオプションフロント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。SDHCメモリーカード(最大32 GB)およびSDメモリーカード(最大2 GB)は、メモリーカードスロットに差し込みます。

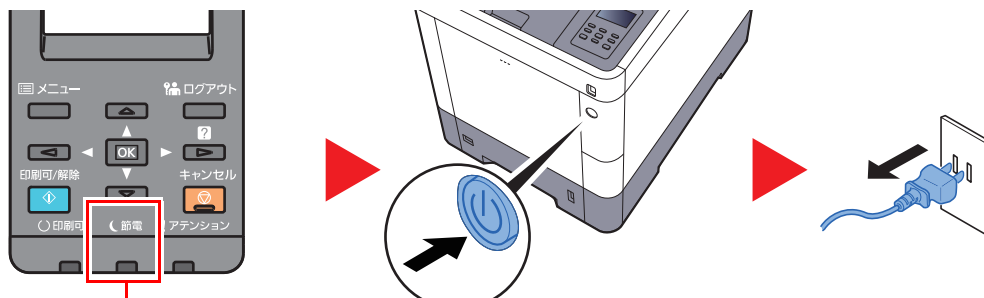
SD/SDHCメモリーカードの読み込み

本機の電源を入れるとSD/SDHCメモリーカードの内容が、本機に読み込まれます。

SD/SDHCメモリーカードのフォーマット

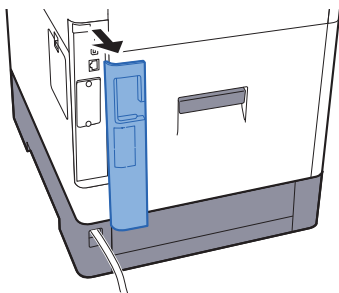
未使用のSD/SDHCメモリーカードを使用するためには、最初に本機でSD/SDHCメモリーカードをフォーマットする必要があります。

- 1 電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜きます。

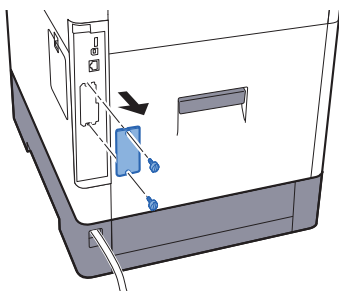


ランプが消えていることを確認する

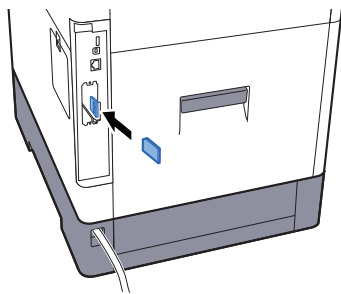
- 2 カバーを外します。



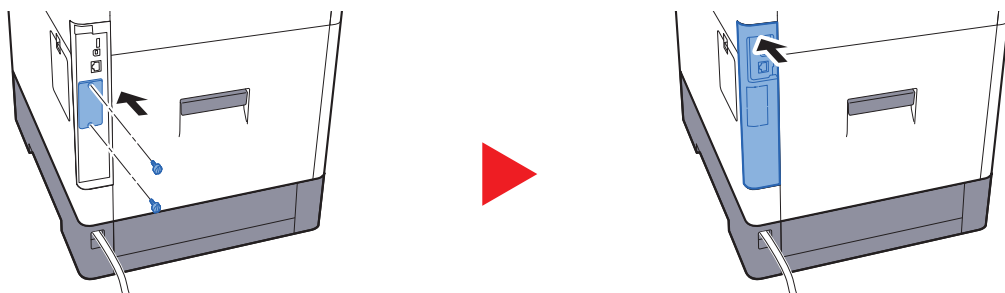
- 3 カバーを外します。



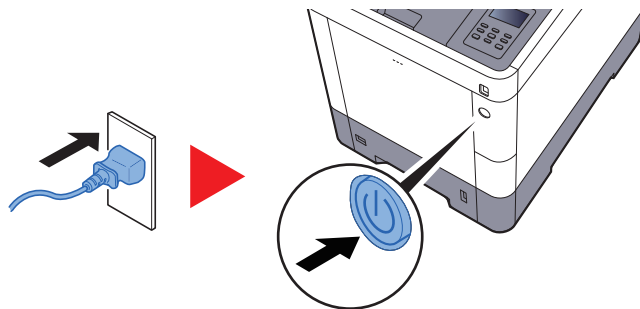
- 4 SD/SDHC メモリーカードをメモリーカードスロットに差し込みます。



- 5 カバーを元どおり取り付けます。



- 6 電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。



- 7 操作部からSD/SDHC メモリーカードをフォーマットします。

操作手順については、次を参照してください。

➡ [SDカード \(7-22ページ\)](#)

(7) IB-36 <ワイヤレスインターフェイスキット>

ワイヤレスネットワーク (無線LAN) 規格IEEE802.11n (MAX 65 Mbps) および11g/bに対応したワイヤレスネットワークインターフェイスカードです。

また、Wi-Fi Directにも対応しており、無線LANルーターを介さずにネットワーク印刷が可能になります。

(8) Data Security Kit(E) <セキュリティーキット>

セキュリティーキットは不要になったデータに上書き処理を行い、データの記録領域をすべて書き換えて、復元できないようにします。また、データをSSDに保存するとき、暗号化して書き込みます。通常の出力や操作以外では復号 (解読) できないため、万一の場合のセキュリティーが強化されます。

(9) UG-33 <ThinPrint Option>

プリンタードライバーがなくても印刷データを直接印刷することができるようになります。

オプションのアプリケーションについて

アプリケーションのご紹介

本機には、次のようなオプションのアプリケーションがあります。

アプリケーション
セキュリティーキット
ICカード認証キット ^{*1}
ThinPrint Option ^{*1}

^{*1} 一定の期間お試しとして使用することができます。



参考

- お試しの期間や使用できる回数などの制限は、アプリケーションによって異なります。
- 日付設定を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。

アプリケーションの使用を開始する

アプリケーションの使用を開始する操作手順は、次のとおりです。

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [オプション機能] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。
 [▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
 [◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
 管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。
 [▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
 [◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。
 管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 使用を開始するアプリケーションの[起動]を選択して、[▶]キーを選択します。
- 5 [▲][▼]キー > [正規使用] > [OK]キー > [OK]キー
 お試しで使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[お試し使用]を選択します。

6 ライセンスキーを入力 > [OK] キー



参考

[▲] または [▼] キーを選択して、数値を入力します。

[◀] または [▶] キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。ライセンスキーの入力画面が表示されない場合は手順7に進んでください。

7 [はい] を選択します。



参考

セキュリティーキットまたはThinPrint Optionを起動して、ライセンスキーを入力した場合は、電源のOFF/ONが必要です。

アプリケーションの詳細を確認する

アプリケーションの詳細を確認する操作手順は、次のとおりです。

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [オプション機能] > [▶]キー
- 2 管理者IDを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

IDは1～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者IDの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 3 管理者パスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。



参考

パスワードは0(設定なし)～16桁の数字で入力してください。

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動します。

管理者パスワードの工場出荷時の値は3000が設定されています。

- 4 使用を開始するアプリケーションの[詳細]を選択して、[▶]キーを選択します。

選択したアプリケーションの詳細な情報を参照することができます。[▲]キーを選択すると次のページが表示されます。[▼]キーを選択すると前のページに戻ります。

参照できる項目は次のとおりです。

項目
機能名
ライセンス
試用回数
試用期限
試用期限の延長
状況

試用期限を延長する

[▲][▼]キー > [試用期限の延長] > [OK]キー > [OK]キー

試用期限が延長されます。

用紙について

各カセットに使用できる用紙について説明します。
各給紙元にセットできる用紙のサイズ、種類、枚数については、次を参照してください。

➡ [仕様 \(10-18ページ\)](#)

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンター用の用紙(普通紙)に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。
本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができていたりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンター用のコピー用紙(普通紙)を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

用紙の基本仕様

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	仕様
重さ	カセット: 60～163 g/m ²
	手差しトレイ: 60～220 g/m ²
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°
保水度	4～6%
パルプ含有率	80%以上



参考

再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

仕様に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも80%以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20%以下ものを使用してください。

用紙サイズ

本機に使用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに ± 0.7 mmです。用紙四隅の角度は、 $90^\circ \pm 0.2^\circ$ のものを使用してください。

○: セットできます ×: セットできません

用紙サイズ	カセット1	カセット2~4	手差しトレイ
Envelope Monarch (3-7/8×7-1/2")	×	○	○
Envelope #10 (4-1/8×9-1/2")	×	○	○
Envelope DL (110×220 mm)	×	○	○
Envelope C5 (162×229 mm)	×	○	○
Executive (7-1/4×10-1/2")	○	○	○
Letter	○	○	○
Legal	○	○	○
A4 (297×210 mm)	○	○	○
B5 (257×182 mm)	○	○	○
A5 (210×148 mm)	○	○	○
A6 (148×105 mm)	○	×	○
B6 (182×128 mm)	○	○	○
Envelope #9 (3-7/8×8-7/8")	×	○	○
Envelope #6 3/4 (3-5/8×6-1/2")	×	○	○
B5 (ISO) (176×250 mm)	○	○	○
はがき (100×148 mm)	×	×	○
往復はがき (148×200 mm)	×	×	○
Oficio II	○	○	○
216 × 340 mm	○	○	○
16K (273×197 mm)	○	○	○

用紙サイズ	カセット1	カセット2～4	手差しトレイ
Statement	○	○	○
Folio (210×330 mm)	○	○	○
洋形4号 (105×235 mm)	×	○	○
洋形2号 (114×162 mm)	×	○	○
サイズ入力	カセット1: 105×148～216×356 mm カセット2～4: 92×162～216×356 mm 手差しトレイ: 70×148～216×356 mm		

滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙を1 m²の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給送の失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあります。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにズレが起きることがあります。用紙の保水度は4～6%の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- ・ 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- ・ 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない用紙は、もう一度密封してください。
- ・ 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- ・ 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たした上で使用してください。
- ・ 熱、日光、湿気にさらされる場所に放置しないでください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる用紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封したまま放置すると自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。このため、カールを打ち消し合うように用紙をセットすると、仕上がりがより平らになります。

静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

品質について

サイズの不ぞろい、角がきちんとはとれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合、特にご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理

次のような処理を施した用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじめ少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用することができます。

- OHPフィルム
- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙
- レターヘッド
- カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙
- ラベル紙
- 加工紙
- 上質紙

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、OHPフィルム、封筒、はがき、厚紙、ラベル紙は手差しトレイから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で 사용할 ことができます。ただしこれらの用紙は、構造および品質に大きなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザーに被害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を選択してください。

OHPフィルム

OHPフィルムは、印刷中の定着熱に耐えられることが条件です。使用できるOHPフィルムの仕様は次のとおりです。

耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること
厚さ	0.100～0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°

トラブルを避けるため、OHPフィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦方向に（用紙の長手方向を本機に向けて）補給してください。

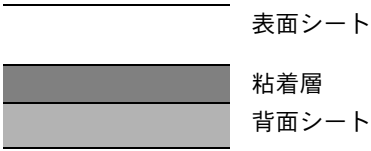
OHPフィルムが排紙部分で頻繁につまる場合は、排紙される際にOHPフィルムの先を少しだけ慎重に手で引いてみてください。

ラベル紙

ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

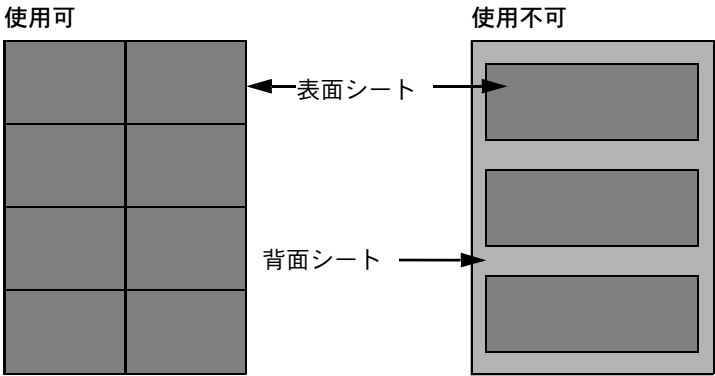
ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。



ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

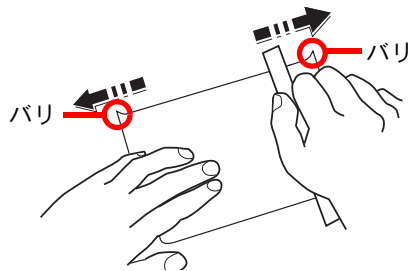
ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

表面シートの重さ	44～74 g/m ²
基本重量(用紙全体の重さ)	104～151 g/m ²
表面シートの厚さ	0.086～0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115～0.145 mm
保水度	4～6%(混合)

はがき



はがきは、さばいて端をそろえてから、手差しトレイに補給してください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してから補給してください。反りがあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください(郵便局などで入手できます)。また、裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。

封筒

封筒を手差しトレイから給紙する場合は印刷面を上、オプションのペーパーフィーダーから給紙する場合は印刷面を上にしてください。

参考

オプションのペーパーフィーダーの用紙幅ガイドにある用紙上限表示以上に封筒を入れないでください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足のいく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用にできません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。
- 特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打ってあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。

厚紙

厚紙は、さばいて端をそろえてから手差しトレイに補給してください。裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、用紙を平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考

バリを取り除いても給紙されない場合は、用紙の先端を数ミリ上にそらせてから手差しトレイに補給してください。

カラー紙

カラー紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

➡ [用紙の基本仕様 \(10-9ページ\)](#)

さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱(最高200℃)に耐えられる必要があります。

プレプリント

プレプリント用紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

➡ [用紙の基本仕様 \(10-9ページ\)](#)

着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

➡ [用紙の基本仕様 \(10-9ページ\)](#)



参考

再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくことをサンプル印刷で確認してください。

加工紙

加工紙は、原紙の表面をコーティングすることによって、普通紙よりもよい印刷品質を得ることができる用紙です。高品位の印刷用紙として利用されています。

上質紙あるいは中質紙の表面に特殊な薬品を塗布し、表面を滑らかにすることによって、インクの乗りをよくしています。薬品を塗布する面は表裏両面の場合もあれば、片面のみの場合もあります。塗布された面は少し光沢が出ます。



重要

コート紙を湿度の高い環境で印刷すると、重なって給紙されることがありますので、高湿度にならないようにしてください。高湿度の場合は1枚ずつセットしてください。

仕様



重要

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

本体

項目		仕様
名称		ECOSYS P6230cdn
型式		デスクトップ型
印刷方式		乾式静電転写方式(レーザー方式)
用紙の重さ	カセット	60～163 g/m ²
	手差しトレイ	60～220 g/m ²
用紙種類	カセット	普通紙、再生紙、薄紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、上質紙、カスタム(両面印刷時:片面印刷時と同じ)
	手差しトレイ	普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、加工紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、上質紙、カスタム1～8
用紙サイズ	カセット	A4、A5、A6、B5、Letter、Legal、B6、Folio、216×340 mm、Statement、Executive、Oficio II、16K、B5(ISO)、カスタム(105×148～216×356 mm)
	手差しトレイ	A4、A5、A6、B5、Letter、Legal、B6、Folio、216×340 mm、Statement、Executive、Oficio II、16K、B5(ISO)、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6 3/4、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム(70×148～216×356 mm)
ウォームアップ タイム (22℃、60%)	電源ONから	26秒以下
	スリープから	17秒以下

項目		仕様
用紙容量	カセット	500枚 (80 g/m ²) *1
	手差しトレイ	110枚 (64 g/m ²)
排紙トレイ容量	上トレイ	250枚 (80 g/m ²)
記録方式		半導体レーザー方式
メモリー		1024 MB
インターフェイス	標準	Hi-Speed USB:1 ネットワークインターフェイス:1 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) Hi-Speed USB:2 (USBフラッシュメモリースロット)
	オプション	eKUIO:1
使用環境	温度	10～32.5℃
	湿度	10～80%
	標高	3,500m以下
	照度	1,500lux以下
本体寸法 (幅×奥行き×高さ)		390×532×409.5 mm
質量		28.3kg (トナーコンテナを除く)
機械占有寸法 (幅×奥行き)		390×725.8 mm (手差しトレイ使用時)
電源		AC100V、50/60Hz、10.8 A
エネルギー消費効率		73 kWh/年 区分: プリンターA
オプション		➡ オプションについて (10-2ページ)

*1 カセット内上限高さラインまで

プリンター機能

項目		仕様	
印刷速度		白黒印刷	カラー印刷
		A4	30枚/分
		Letter	32枚/分
		Legal	26枚/分
		B5	27枚/分
		A5	27枚/分
		A6	27枚/分
ファースト プリントタイム (A4)	白黒	6秒以下	
	カラー	7秒以下	
解像度		600×600 dpi、9600 dpi相当×600 dpi、1200dpi×1200dpi	
対応OS		Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10、Windows Server 2008/R2、Windows Server 2012/R2、Windows Server 2016、Mac OS X v10.5以上	
インターフェイス		Hi-Speed USB:1 ネットワークインターフェイス:1 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) オプションインターフェイス(オプション):1 (IB-50/IB-51装着用) 無線LAN(オプション):1 (IB-36装着用)	
ページ記述言語		PRESCRIBE	
エミュレーション		PCL6 (PCL-XL、PCL5c)、KPDL3 (PostScript3互換)、XPS	

ペーパーフィーダー(500枚×1)

項目	仕様
給紙方式	フリクションローラー給紙方式 (収納枚数500 枚 (80 g/m ²) × 最大3段)
用紙サイズ	A4、A5、B5、Letter、Legal、B6、Folio、216×340 mm、Statement、Executive、Oficio II、16K、B5 (ISO)、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6 3/4、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、洋形4号、洋形2号、カスタム (92×162～216×356 mm)
使用用紙	紙厚:60 ～ 220 g/m ² 用紙種類:普通紙、再生紙、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、薄紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、加工紙、厚紙、上質紙、カスタム1～8
本体寸法 (W) × (D) × (H)	390×532×116 mm
質量	4.1 kg以下



参考

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

環境設定コマンド

本機は、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリーに記憶しています。これらの情報はプリスクライプFRPOコマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンターの初期状態として設定されます。

ここでは、FRPOコマンドとそのパラメーターの使用例を説明します。

プリスクライプコマンドの詳細については、付属のDVDに収録されているプリスクライプコマンド・リファレンスマニュアルを参照してください。プリスクライプコマンドごとの書式や機能について、実行例を含めて説明しています。

環境設定コマンドの設定

現在のFRPOパラメーターの設定値は、サービスステータスページで確認できます。

 **参考**
FRPOパラメーターを変更する前に、サービスステータスページを印刷しておくことをおすすめします。なお、FRPO INITコマンドですべてのFRPOパラメーターを、プリンターの初期状態にもどすこともできます。(!R! FRPO INIT; EXIT;)

FRPOコマンドは次の書式で実行します。

!R! FRPO パラメーター, 設定値 ; EXIT;

例ーエミュレーションをPCL6に設定

!R! FRPO P1, 6; EXIT;

FRPOパラメーター

項目	FRPO	設定値	工場設定
PRESCRIBEコンパチモード	B0	0～255	2
起動時のパターン解像度	B8	0:300 dpi 1:出力解像度	0
デフォルトのコピー枚数	C0	1～999	1
ページ方向	C1	0:縦置き (ポートレート) 1:横置き (ランドスケープ)	0
起動フォント ^{*1}	C2 C3 C5	起動フォント番号の中2桁 起動フォント番号の最後2桁 起動フォント番号の最初の2桁	0 0 0
PCLフォント選択範囲	C8	0: シンボルセット00D、00I、00S、00U、01E、01F、01G、02Sおよび04Nの第2バイト (0x80以降のコード) を印字しない (HP互換モード)。 32: シンボルセット00D、00I、00S、00U、01E、01F、01G、02Sおよび04Nの第2バイト (0x80以降のコード) を印字する (過去互換モード)。	0
受信データバッファ容量	H8	0～99 FRPO S5の値で積算 (0: 10 Kバイト)	5
タイムアウトの時間	H9	1～99 5秒単位	1 (5秒)

項目	FRPO	設定値	工場設定
縮小率	J0	0:100% 5:70% 6:81% 7:86% 8:94% 9:98%	0
自動改行モード (日本語エミュレーション時のみ)	J7	0:自動改行する 1:自動改行しない	0
横方向オフセット	K0	-7 ～ +7 (整数部)、単位はセンチ	0
	K1	-99 ～ +99 (小数部)、単位は1/100 センチ	0
縦方向オフセット	K2	-7 ～ +7 (整数部)、単位はセンチ	0
	K3	-99 ～ +99 (小数部)、単位は1/100 センチ	0
漢字フォント番号設定	K4	0:V7 と同じ 1:明朝体9.6ポイント 2:ゴシック体9.6ポイント 5:明朝体12ポイント 6:ゴシック体12ポイント	0
新旧JIS コードの切り換え	K6	0:JIS X 0208:1990 1:JIS X 0208:1978 8:JIS X 0213:2004	0
両面印刷モードの選択	N4	0:オフ (片面印刷) 1:ロングエッジモード (長辺とじ) 2:ショートエッジモード (短辺とじ)	0
スリープ時間	N5	1～240 1分単位	15
エコプリントモード	N6	0:オフ 2:オン	0
エミュレーションモード	P1	6:PCL 6 9:KPD L	6
キャリッジリターンの処理 ^{*1}	P2	0:無視 1:CR 2:CR+LF	1
改行の処理 ^{*1}	P3	0:無視 1:LF 2:CR+LF	1
KPD L自動切り替え	P4	0:なし 1:自動切り替え	0
KPD L 自動切替え先エミュレーション	P5	P1 と同じ (9 を除く)	6

項目	FRPO	設定値	工場設定
AESオプション 自動エミュレーション切り替え (AES) が起動するページ排出コマンド および 処理動作	P7	AES起動後、KPD Lまたは自動切替先(代替)エミュレーション のどちらにも該当しないデータはKPD Lで処理。 0: すべてのページ排出コマンドでAES起動。 1: なし 2: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライプEXITコ マンドでAES起動。 3: プリスクライプEXITコマンドのみでAES起動。 8: すべてのページ排出コマンドでAES起動。AES起動後、 KPD Lまたは自動切替先(代替)エミュレーションのどちらに も該当しないデータは、代替エミュレーションで処理。 10: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライプEXIT コマンドでAES起動後、KPD Lまたは自動切替先(代替)エミュ レーションのどちらにも該当しないデータは、代替エミュレー ションで処理。 11: プリスクライプEXITコマンドのみでAES起動後、KPD Lま たは自動切替先(代替)エミュレーションのどちらにも該当し ないデータは、代替エミュレーションで処理。	10
コマンド認識文字	P9	33~126のASCIIコード	82(R)
用紙サイズ(起動時)	R2	0:給紙カセットのサイズ(R4参照) 1:Envelope Monarch 2:Envelope #10 3:Envelope DL 4:Envelope C5 5:Executive 6:Letter 7:Legal 8:ISO A4 9:JIS B5 13:ISO A5 14:ISO A6 15:JIS B6 16:Envelope #9 17:Envelope #6-3/4 18:ISO B5 19:カスタム 22:A4→A4 98%縮小 31:はがき 32:往復はがき 33:Oficio II 40:16K 42:216 × 340 mm 50:Statement 51:Folio 52:洋形2号(封筒) 53:洋形4号(封筒)	0
初期給紙元	R4	0:手差しトレイ 1:カセット1 2:カセット2 3:カセット3 4:カセット4	1

項目	FRPO	設定値	工場設定
手差しトレイの用紙サイズ	R7	0:最大用紙サイズ その他のパラメーターは、22がない以外R2と同じ	8 (ISO A4)
A4/Letterの共通給紙	S4	0:オフ 1:オン	0
ホストバッファサイズ積算値 (H8の値と積算)	S5	0:10 KB 1:100 KB 2:1 MB	1
RAMディスクサイズ	S6	1～1024 MB単位	400
RAMディスクモード	S7	0:オフ 1:オン	1
ワイドA4対応	T6	0:オフ 1:オン	0
行間隔 ^{*1}	U0	インチあたりの行数/整数部分	6
行間隔 ^{*1}	U1	インチあたりの行数/小数部分	0
文字間隔 ^{*1}	U2	インチあたりの文字数/整数部分	10
文字間隔 ^{*1}	U3	インチあたりの文字数/小数部分	0
内蔵フォントの国別コード	U6	0:US 1:フランス 2:ドイツ 3:イギリス 4:デンマーク 5:スウェーデン 6:イタリア 7:スペイン 8:日本 9:USリーガル 10:IBM PC-850 (マルチ言語) 11:IBM PC-860 (ポルトガル語) 12:IBM PC-863 (カナダフランス語) 13:IBM PC-865 (ノルウェー語) 14:ノルウェー語 15:デンマーク語2 16:スペイン語2 17:ラテンアメリカ 21:US ASCII (U7=50に設定) 77:HP Roman-8 (U7=52に設定)	0
シンボルセット	U7	0:エミュレーションと同じ 1:IBM 6:IBM PC-8 (US) 50:US ASCII (U6=21に設定) 52:HP Roman-8 (U6=77に設定)	0
デフォルトフォントのピッチ ^{*1}	U8	デフォルトフォントのピッチ設定/整数部分 0～99	10
デフォルトフォントのピッチ ^{*1}	U9	デフォルトフォントのピッチ設定/小数部分 0～99	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
初期ANKアウトラインフォントサイズ*1	V0	起動時のANKアウトラインフォント・サイズの整数 上位2桁/設定有効範囲値:00~09	0
	V1	起動時のANKアウトラインフォント・サイズの整数 下位2桁/設定有効範囲値:00~99	12
	V2	起動時のANKアウトラインフォント・サイズの小数2桁 設定有効値:00, 25, 50, 75	0
初期ANKアウトラインフォント名*1	V3	起動時のANKアウトラインフォント名	Courier
初期漢字アウトライン・フォントサイズ*1	V4	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの整数上位2桁 設定有効範囲:00 ~ 09	0
	V5	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの整数下位2桁 設定有効範囲:00 ~ 99	10
	V6	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの小数2桁 設定有効値:00, 25, 50, 75	0
初期漢字アウトライン・フォント名*1	V7	起動時の漢字アウトライン・フォント名	MTHSMIN CHO-W3
クーリエおよびレターゴシックのフォントタイプ選択	V9	0:クーリエ=ダーク レターゴシック=ダーク 1:クーリエ=レギュラー レターゴシック=ダーク 4:クーリエ=ダーク レターゴシック=レギュラー 5:クーリエ=レギュラー レターゴシック=レギュラー	5
カラーモード	W1	0:モノクロ 1:カラー	1
光沢モード	W6	0:弱い 1:強い	0
用紙種類(手差しトレイ)	X0	1:普通紙 2:OHPフィルム 3:プレプリント 4:ラベル紙 5:ボンド紙 6:再生紙 7:薄紙 9:レターヘッド 10:カラー紙 11:パンチ済み紙 12:封筒 13:はがき 14:加工紙 16:厚紙 17:上質紙 21~28:カスタム1~カスタム8	1

項目	FRPO	設定値	工場設定
用紙種類(本体カセット1)	X1	1:普通紙 3:プレ印刷用紙 5:ボンド紙 6:再生紙 7:薄紙 9:レターヘッド 10:カラー紙 11:パンチ済み用紙 16:厚紙 17:上質紙 21~28:カスタム1~カスタム8	1
用紙種類(カセット2、3、4)	X2 X3 X4	1:普通紙 3:プレ印刷用紙 4:ラベル用紙 5:ボンド紙 6:再生紙 7:薄紙 9:レターヘッド 10:カラー紙 11:パンチ済み用紙 12:封筒 14:加工紙 16:厚紙 17:上質紙 21~28:カスタム1~カスタム8	1
給紙カセット選択モード(PCL)	X9	0:用紙種類の設定によって給紙カセットを切り替え 2:カセットの用紙サイズによって自動的に給紙カセットを切り替え	0
エラー時のオートエラークリア ([印刷可/解除]を押して解除するエラーのみ)	Y0	0:オフ 1:オン	0
オートエラークリアのエラー解除時間	Y1	1~99 5秒単位	6(30秒)
デバイスエラーの表示スイッチ	Y3	0: エラーが発生しても、一時停止およびエラーメッセージの表示をしない 1: 両面印刷できない用紙種類を指定した場合に、一時停止してエラーメッセージを表示する 32: 給紙元を固定して印刷するときに、用紙サイズまたは種類が異なる場合、一時停止して給紙エラーメッセージを表示する 33: Y3=1 と Y3=32 の両方を設定	0
強制両面印刷設定(用紙種類がプレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドのみ)	Y4	0:オフ 1:オン	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
PDFダイレクト動作	Y5	0:用紙に合わせて拡大縮小 1:PDF内の紙サイズ指定で用紙選択 2:PDF内の紙サイズ指定によって、A4、Letterから選択し、用紙に合わせて拡大縮小 3:PDF内の紙サイズ指定で、A4、Letterから印刷 8:等倍で印刷 9:PDF内の紙サイズ指定によって、Letter、Legal、A4から選択 10:PDF内の紙サイズ指定によって、Letter、Legal、A4から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 13～99:初期値(0)と同じ動作	0
ジョブボックス エラー制御	Y6	0:エラー制御をしない 1:エラーレポートを出力する 2:エラーを表示する 3:エラーを表示、およびエラーレポートを出力する	3

*1 エミュレーションによっては無視されます。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の保有期間は、販売終了後5年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品（トナーコンテナを含む）は、素材ごとに分解し、再利用可能な部品は、再利用（リユース）し、不可能なものは、マテリアルリサイクル等、環境に配慮した適正処理を行っています。

初期化について

お客様の大切な情報の漏洩防止のため、機械を廃棄または、入れ替える際には使用済みの機械について、下記の項目のデータを消去することをお勧めします。

削除する対象

- ネットワーク設定
- ボックス内データ

➡ [セキュリティーデータ消去（7-27ページ）](#)

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

使用後、不要になったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

用語集

Active Directory

Active Directory(アクティブディレクトリー)とはマイクロソフトによって開発されたディレクトリー・サービス・システムであり、Windows 2000 Serverから導入された、ユーザーおよびパソコン管理を実行するコンポーネント群の総称です。

AppleTalk

Macintoshとプリンターでデータを転送するプロトコルです。Macintoshを複数台接続したり、プリンターを共有する際に使われます。

Auto-IP

TCP/IPネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコルのことです。DHCPサーバーがないネットワークで、他の機器と重複しないようにIPアドレスを割り当てることができます。割り振られるIPアドレスは、Auto-IP用に予約されている169.254.0.0 ~ 169.254.255.255の範囲です。

Bonjour

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したりDNS サーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

bpp (bits per pixel)

色深度を表す単位です。1ピクセル当たりのビット数を表します。4 bppの場合は16階調になります。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

TCP/IPネットワーク上で、IPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。DHCPを利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンターを含めて個々のクライアントにIPアドレスを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

DHCP (IPv6)

DHCP (IPv6)は、次世代のインターネットプロトコルであるIPv6をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義しているBOOTPを拡張します。

DHCP(IPv6)を使うと、DHCPサーバーは拡張機能を使ってIPv6ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者がIPアドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6ノードの管理が低減されます。

dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1インチ (25.4 mm) 当たりのドット数を表します。

FTP (File Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POPと並んで頻繁に利用されています。

IPアドレス

ネットワークに接続されたパソコンや周辺機器1台ずつに割り振られる識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0から255までの数字を4つ並べて表現します。

IPP

IPP (Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル) は、インターネット網に代表されるTCP/IPネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコンの間で印刷データなどのやり取りを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われるHTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

KPDL (Kyocera Page Description Language)

Adobe PostScript Level 3互換の京セラのページ記述言語です。

KYOCERA Net Direct Printing

Adobe Acrobat/Adobe Readerを起動せずに、PDFファイルを印刷できるユーティリティです。付属のDVD-ROMに収録されています。

KYOCERA Net Viewer

ネットワーク上のプリンターの状態を確認できるネットワークマネジメントツールです。付属のDVD-ROMに収録されています。

NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) 設定

1985年にIBM社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOSをベースに拡張したもので、小規模なネットワークではTCP/IPなどの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM社のOS/2やMicrosoft社のWindowsシリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUIを利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueTypeフォントをプリンターで扱える機能などがあります。本機はPCL6エミュレーションモードを搭載しています。

PDF/A

ISO 19005-1. Document management - Electronic document file format for long-term preservation - Part 1: Use of PDF (PDF/A) のことで、PDF1.4を元に策定されたファイル形式です。ISO19005-1として標準規格化されています。主に印刷目的として利用されていたPDFを、長期保存用に特化させたものです。現在、ISO19005-2 (PDF/A-2) という新しいパートも策定中です。

POP3 (Post Office Protocol 3)

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するための標準的なプロトコルです。

PostScript

Adobe Systems社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷ができます。現在Level 1と呼ばれている最初のバージョンは1985年に登場しました。1990年にはカラー印刷や日本語などの2バイト言語に対応したLevel 2が、1996年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF形式への対応などを追加したLevel 3が発表されています。

PPM (prints per minute)

A4用紙を1分間に印刷できる枚数を示します。

RA (Stateless)

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6 で知らせます。この情報がRouter Advertisement (RA)です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

RAMディスク

本機のメモリーの一部を利用した仮想ディスクで、本機の総メモリーの中から、任意のメモリーサイズをRAMディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷時間の短縮）などの機能が使えるようになります。

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

パソコン同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TCP/IP (IPv6)

TCP/IP (IPv6) は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP (IPv4) をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

TWAIN (Technology Without Any Interested Name)

スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器とパソコンを接続するための技術仕様のひとつです。機器がTWAINに対応していれば、TWAINに対応したあらゆるアプリケーションソフトで画像の入力ができます。TWAINは、Adobe PhotoshopをはじめとするグラフィックソフトやOCRソフトで多く採用されています。

USB (Universal Serial Bus) 2.0

Hi-Speed USB 2.0 に準拠したUSB インターフェイスです。最大通信速度は480 Mbpsで、高速なデータ転送ができます。本機はこのUSB 2.0インターフェイスを装備しています。

WIA (Windows Imaging Acquisition)

Windows Me/XP以降でサポートされた、画像をデジタルカメラ等の周辺機器から取り込む機能です。従来TWAINが行っていた機能を置き換えるもので、Windows自身の機能として提供することによって、アプリケーションソフトを使わずともマイ コンピューターから直接取り込みが行えるなど、操作性や利便性が向上しています。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは0.25ポイント単位で最大999.75ポイントまで設定できます。

エコプリント

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。PCL6、KPDL3 (PostScript3互換) のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

本体の操作やデータの送/受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消費が最小限に抑えられます。

環境設定コマンド (FRPO コマンド)

本機は印刷設定を内部のメモリーに記憶しています。環境設定コマンドで設定すると、電源を入れたときの初期設定にすることができます。

グレースケール

パソコン上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表し、1ビットなら白と黒のみで中間色がない状態、8ビットなら (白と黒を含めて) 256階調、16ビットなら65536階調の灰色で表現されます。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス (Prefix) とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。IPアドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、「133.201.2.0/24」のように「/」(スラッシュ)の後にプレフィックス長 (この場合は「24」) を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長 (つまりネットワーク部) が24ビットの「133.201.2.0」というIPアドレスということになります。サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部 (本来のホスト・アドレス部の一部分) をサブネット・アドレスと呼びます。サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定をオフにしてください。

自動改ページ待ち時間

本機へのデータ送信中に、待ち時間が発生することがあります。このとき本機は、次のデータが届くまで一定時間待機します。自動改ページ待ち時間とは、この待機時間のことです。待機時間が、登録された待ち時間に達すると、本機は自動で排紙します。ただし、最終ページに印刷データがない場合は排紙しません。

自動用紙選択機能

印刷時に、原稿サイズと同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

ジョブボックス

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ステータスページ

本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷するページです。

手差しトレイ

本体前側にある給紙トレイです。はがき、OHPフィルム、ラベル用紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレイに補給してください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるパソコンにアクセスする際に使用する、パソコンやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリスクライブ(PRESCRIBE) コマンド

京セラドキュメントソリューションズプリンターに搭載されている独自のプリンター制御言語で、プリンターに必要な様々な設定を行うことができます。また、ニーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミングを容易にします。

プリンタードライバ

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタードライバは、付属のDVDに収録されています。本機に接続したパソコンにインストールしてください。

ユーザーボックス

ユーザーごとの印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ユニバーサル(Universal Design)

ユニバーサルデザインとは、高齢者や障害者を含むできるだけ多くの人に使いやすいデザインのことです。

ラスタライズ

文字や画像の印刷データを、プリンターで印刷するためにビットマップデータとして表現することです。

索引

A

Active Directory 10-29
AirPrint 4-7
AppleTalk 10-29
Auto-IP 10-29
 設定 7-13

B

Bonjour 10-29
 ネットワーク設定 7-15
bpp (bits per pixel) 10-29

C

Command Center RX 2-40

D

DHCP 10-29
 設定 7-13
DHCP (IPv6) 10-29
 設定 7-14
dpi 10-29

E

Enhanced WSD
 ネットワーク設定 7-17
EnhancedWSD (SSL)
 ネットワーク設定 7-17

F

FRPOコマンド 10-32
FTP 10-30
FTP(Server)
 ネットワーク設定 7-15

G

Google Cloud Print 4-7
GPL/LGPL 1-6

H

HTTP
 ネットワーク設定 7-16
HTTPS
 ネットワーク設定 7-17

I

ICカード認証キット 10-3
IPP 10-30
 ネットワーク設定 7-16
IPP over SSL
 ネットワーク設定 7-16
IPSec 7-15
IPアドレス 10-30
 設定 7-13

IPフィルター (IPv4)
 ネットワーク設定 7-15
IPフィルター (IPv6)
 ネットワーク設定 7-15

K

KPDL 10-30
KYOCERA Net Direct Printing 10-30
KYOCERA Net Viewer 10-30

L

LPD
 ネットワーク設定 7-16

M

Monotype Imagingライセンス契約 1-7
Mopria 4-7

N

NetBEUI 10-30
 ネットワーク設定 7-15

O

OpenSSLライセンス 1-6

P

PCL 10-30
PDF/A 10-30
POP3 10-30
 ネットワーク設定 7-16
PostScript 10-31
PPM 10-31
PRESCRIBE 10-33
Product Library viii

R

RA (Stateless) 10-31
 設定 7-14
RAMディスク 10-31
RAMディスクモード 7-21
RAW Port
 ネットワーク設定 7-16

S

SDカード 10-4
 フォーマット 7-22
SMTP 10-31
 ネットワーク設定 7-16
SNMP
 ネットワーク設定 7-16
SNMPv3
 ネットワーク設定 7-15
SSD 10-3
 フォーマット 7-21
SSD初期化 7-26

T

TCP/IP 10-31
TCP/IP (IPv4)
 設定 2-16
TCP/IP (IPv6) 10-31
ThinPrint over SSL
 ネットワーク設定 7-17
ThinPrint
 ネットワーク設定 7-17
ThinPrint Option 10-5
TIFF/JPEGサイズ
 初期値 7-10
TWAIN 10-31

U

USB 10-31
USBインターフェイス 2-6
USBインターフェイスコネクタ 2-3
USBケーブル
 接続 2-8
USBポート 2-3
USBメモリー
 印刷 5-9
 取り外しかた 5-11
USBメモリーからの印刷 5-9

W

WIA 10-31
Wi-Fi状況 7-29
Wi-Fi設定 7-12
Wi-Fiダイレクト 7-30
 印刷 4-7
 設定 2-23, 7-12
Wi-Fiダイレクト設定 7-12
WSD-PRINT
 ネットワーク設定 7-17

あ

アウトラインフォント 10-32

い

一般的な問題について 9-9
印刷後削除 6-3
印刷設定 4-5, 7-9
 A4/LT共通 7-9
 印刷環境 7-10
 印刷範囲補正 7-11
 印刷品質 7-10
 エミュレーション 7-9
 カラーモード 7-9
 給紙指定動作 7-9
 給紙元 7-9
 自動カセット切替 7-9
 ジョブ名 7-11
 手差しトレイ優先 7-9
 ユーザー名 7-11
 両面印刷 7-9
印刷速度 10-20
印刷用紙 1-9

インストール

Macintosh 2-36
Windows 2-29
アンインストール 2-35
ソフトウェア 2-28

う

上トレイ 2-2
後ろカバー1 2-2
後ろカバー2～4 2-5

え

エコプリント 10-32
絵表示 1-2
エミュレーション 10-32
エラークリア時間 7-24
エラー処理 7-22

お

オートエラークリア 7-24
オートスリープ 2-26, 10-32
オートパネルリセット 7-24
オプション
 ICカード認証キット 10-3
 SDカード 10-4
 SSD 10-3
 ThinPrint Option 10-5
 オプション構成 10-2
 セキュリティーキット 10-5
 ネットワークインターフェイスキット 10-3
 ペーパーフィーダー 10-3
 ワイヤレスインターフェイスキット 10-3
オプションインターフェイス 2-3
オプション機能 7-28
オプションネットワーク 7-19
 AppleTalk 7-19
 IPSec 7-19
 LANインターフェイス 7-19
 MACアドレスフィルター 7-19
 NetWare 7-19
 TCP/IP 7-19
 TCP/IP (IPv6) 7-19
 ネットワークの再起動 7-19
オプションネットワークステータス 7-29
オプションのアプリケーションについて 10-6
オリジナルSSLeayライセンス 1-6

か

解像度 10-20
カウンターの確認 2-38
各部の名称 2-2
加工紙 10-17
カセット
 用紙サイズと用紙種類 3-10
 用紙の補給 3-4
カセット1 2-2
カセット2～4 2-5
カセット設定 3-10

紙づまりが発生したら 9-26
 後ろカバー1 9-34
 後ろカバー1(搬送) 9-30
 後ろカバー2 9-31
 後ろカバー3 9-33
 カセット1~4 9-29
 紙づまり位置表示 9-26
 手差しトレイ 9-27
 両面ユニット 9-36
カラー印刷位置補正 9-21
環境設定コマンド 10-32
管理 8-1
管理者 7-27

く

グレースケール 10-32

け

ケーブル 2-6
原稿送り装置
 各部の名称 2-2

こ

国際エネルギースタープログラム 1-9
こまったときは 9-9
こんな表示が出たら 9-13

さ

サイズダイヤル 2-3
再生紙 10-17
サブネットマスク 10-32
 設定 7-13

し

時間
 エラークリア時間 7-24
 オートエラークリア 7-24
 オートパネルリセット 7-24
 スリープ時間 7-24
 パネルリセット時間 7-24
時差 7-20

システムメニュー 7-2
 Wi-Fi状況 7-29
 Wi-Fi設定 7-12
 Wi-Fiダイレクト 7-30
 Wi-Fiダイレクト設定 7-12
 印刷設定 7-9
 オプション機能 7-28
 オプションネットワーク 7-19
 オプションネットワークステータス 7-29
 管理者 7-27
 セキュリティ 7-25
 操作方法 7-2
 ソフトウェア 7-28
 調整/メンテナンス 7-28
 デバイス全般 7-20
 ネットワーク設定 7-15
 ユーザー/部門管理 7-27
 有線状況 7-28
 有線ネットワーク 7-14
 用紙の設定 7-6
 レポート印刷 7-4
自動改ページ待ち時間 10-32
自動用紙選択機能 10-32
自動両面機能について 1-9
仕様 10-18
 プリンター機能 10-20
 ペーパーフィーダー(500枚×1) 10-20
 本体 10-18
状況/履歴の表示 7-23
商標について 1-5
使用枚数の集計
 カウンター 2-38
 不明なジョブの処理 8-20
 部門管理リストの印刷 8-18
 部門別集計 8-17
ジョブボックス 10-32
 クイックコピー 4-13
 クイックコピーの個数 4-17
 削除 4-17
 ジョブ保留 4-11
 試し刷り後保留 4-15
 パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する 4-8
 プライベートプリント 4-9
 保存先 4-17

す

ステータスページ 10-33
スリープ時間 7-24
スリープレベル 2-27

せ

静音モード 6-3, 7-28
清掃 9-2
 搬送ユニット 9-2
セキュリティ 7-25
セキュリティキット 10-5
セキュリティデータ消去 7-27
セキュリティレベル 7-25

接続

- USBケーブル 2-8
- 電源コード 2-8
- ネットワークケーブル 2-7

接続方法 2-6

設置環境について 1-3

そ

- 操作パネル 2-2
- ソフトウェア 7-28

ち

- 注意表示 1-2
- 調整/メンテナンス 7-28

つ

- 通信
- ネットワーク設定 7-15

て

- データセキュリティー 7-27
- 定着カバー 2-3
- 手差しトレイ 2-3, 10-33
 - 用紙サイズと用紙種類 3-12
- デバイス全般 7-20
 - RAMディスクモード 7-21
 - SDカード 7-22
 - SSD 7-21
 - エラー処理 7-22
 - カラートナーなし時印刷 7-22
 - 時間 7-24
 - 状況/履歴の表示 7-23
 - スリープレベル設定 7-23
 - トナー残量少の通知 7-23
 - 日時設定 7-20
 - 表示言語 7-20
 - ブザー 7-21
- デフォルトゲートウェイ 10-33
 - 設定 7-13
- 電源コード
 - 接続 2-8
- 電源スイッチ 2-2
- 電源を入れる 2-9
- 電源を切る 2-9
- 電波の種類と干渉距離 1-10
- 電力管理 1-9

と

- 盗難防止ロック用スロット 2-2
- トナーコンテナ(イエロー) 2-4
- トナーコンテナ(シアン) 2-4
- トナーコンテナ(ブラック) 2-4
- トナーコンテナ(マゼンタ) 2-4
- トナーコンテナの交換 9-3
- トナーコンテナロックレバー 2-4
- トナー残量少の通知 7-23
- 取り扱い上のご注意 1-4

に

- 日時(年/月/日) 7-20
- 日時設定
 - サマータイム 7-20
 - 時刻(時:分:秒) 7-20
 - 時差 7-20
 - 日時(年/月/日) 7-20
 - 日付形式 7-20
- 日常のお手入れ 9-2
 - トナーコンテナの交換 9-3
 - 廃棄トナーボックスの交換 9-7

ね

- ネットワーク
 - 準備 2-16
 - ネットワークの再起動 7-14
- ネットワークインターフェイス 2-6
- ネットワークインターフェイスキット 10-3
- ネットワークインターフェイスコネクタ 2-3
- ネットワークケーブル 2-6
 - 接続 2-7
- ネットワーク設定 7-15
 - Wi-Fi ダイレクトの設定 2-23
 - 有線の設定 2-16
 - ワイヤレスネットワークの設定 2-18

は

- 廃棄トナーカバー 2-4
- 廃棄トナーボックス 2-4
- 廃棄トナーボックスの交換 9-7
- 排紙ストッパー 2-2, 3-13
- 廃棄 10-28
- パネルリセット時間 7-24
- 搬送カバー 2-3
- 搬送用取手 2-2

ひ

- 日付形式 7-20
- 日付と時刻の設定 2-14
- 表示言語 7-20

ふ

- ファーストプリントタイム 10-20
- ブザー 7-21
- 付属マニュアルの紹介 viii
- 部門管理 8-6
 - 印刷 8-14
 - 削除 8-13
 - 使用制限 8-10
 - 使用枚数の集計 8-17
 - 新規登録 8-9
 - 制限超過時設定 8-16
 - 部門管理について 8-6
 - 部門管理方式 8-8
 - 部門管理リスト 8-18
 - 編集 8-12
 - 有効 8-7
 - ログアウト 8-19
 - ログイン 8-19

プリスクライプコマンド 10-33

プリンター

印刷設定 4-5

プリンタードライバー 10-33

初期値設定値の変更 4-6

ヘルプ 4-6

文書ボックス

外部メモリーボックス 5-4

ジョブボックス 4-8, 5-3

文書ボックスとは 5-3

ユーザーボックス 5-3, 5-5

へ

ペーパーフィーダー 10-3

ヘルプ画面について 2-12

ほ

法律上のご注意 1-5

補修用性能部品 10-28

本書の読みかた x

本製品の省エネ制御機能について 1-9

本製品の使用限定 1-11

む

無線LAN使用時のご注意 1-10

無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意 1-10

め

メール設定 2-46

ゆ

ユーザー/部門管理 7-27

ID不明ジョブ処理 8-20

部門管理設定 8-6

ユーザー管理設定 8-2

ユーザー管理 8-2

キーログイン 8-4

ユーザー管理について 8-2

有効 8-3

ログアウト 2-13

ログイン 2-13

ユーザーボックス 10-33

印刷 5-6

文書の削除 5-7

文書の編集 5-6

文書の保存 5-5

ボックスの作成 5-5

ボックスの変更と削除 5-5

有線状況 7-28

有線ネットワーク 7-14

ユニバーサル 10-33

よ

用語集 10-29

用紙

重さ 7-8

カセットへの補給 3-4

サイズと種類 3-10, 7-6, 10-9

仕様 10-9

注意 3-3

適正な用紙 10-10

手差しトレイへの補給 3-7

特殊な用紙 10-13

はがきの補給 3-9

封筒の補給 3-9

用紙のセット 3-2

用紙長さガイド 2-3, 3-5

用紙の設定 7-6

用紙の取り扱い上の注意 3-3

用紙幅ガイド 2-3, 3-4

ら

ラスタライズ 10-33

ラベル紙 10-15

れ

レポート印刷 7-4

RAMディスクファイル リストの印刷 7-5

SDカードファイル リストの印刷 7-5

ステータスページの印刷 7-5

フォントサンプルの印刷 7-5

メニューマップの印刷 7-4

ろ

ログアウト 2-13

ログイン 2-13

わ

ワイヤレスインターフェイスキット 10-3

ワイヤレスネットワーク

設定 2-18

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。



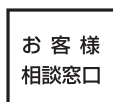
お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号

<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>



0570-046562

市内通話料金でOK
ナビダイヤル® 市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間

● 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土曜、日曜、祝日および当社指定休日は除く)